

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾学科

2年次（2025年度生）

日本服飾文化史

梅谷 知世

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

アジアの東端に位置する日本は、古くから中国をはじめとする諸外国の影響をうけながら、独自の美意識に基づく豊かな服飾文化を作りだし成熟させてきました。この授業では、服飾・染織品の実物資料、文献資料、図像資料などを用いて原始・古代から近代にいたる日本服飾の移り変わりを概説します。さらに、各時代の服飾の特質を政治や社会との関係、造形性、美意識、同時代の演劇・美術・文芸との関連性、外国文化の影響などさまざまな視点から捉え、服飾の多様なあり方について考えます。講義形式で進めますが、授業中に取り上げるテーマについてグループでのディスカッションも行います。

到達目標（学修成果）

- ・原始・古代から近代までの日本服飾の移り変わりを理解し、説明することができる。
- ・各時代の服飾の特質について、同時代の資料に基づいて理解し説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門必修科目の卒業要件科目です。学芸員課程必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の課題（授業内容の復習）について、次回授業時にフィードバックを行います。質問は随時受け付けます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しません。授業の進行にあわせてプリントを配布します。

参考文献

増田美子編『図説日本服飾史事典』（東京堂出版） 増田美子監修『ビジュアル日本の服装の歴史① ③』（ゆまに書房）
その他の参考文献は授業中に紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

博物館や美術館に積極的に足を運び、服飾・染織の実物遺品や絵画作品など図像資料を見学する機会を持つよう心がけて下さい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	日本服飾文化史の視点	シラバスを読み授業概要を理解する。	30分
2回 梅谷	縄文・弥生時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
3回 梅谷	古墳時代の服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
4回 梅谷	飛鳥時代の服飾：服制のはじまりと唐風摂取	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
5回 梅谷	奈良時代の服飾：衣服令と唐風服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
6回 梅谷	正倉院の服飾・染織	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
7回 梅谷	平安時代の服飾（1）：和様の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
8回 梅谷	平安時代の服飾（2）：重ね色目	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
9回 梅谷	鎌倉・室町時代の服飾：武家服飾の成立と発展	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
10回 梅谷	小袖服飾の確立	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
11回 梅谷	安土桃山時代の服飾：武家服飾の変容と南蛮服飾	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
12回 梅谷	江戸時代の服飾（1）：武家服制の確立と町人服飾の充実	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
13回 梅谷	江戸時代の服飾（2）：小袖の開花	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
14回 梅谷	近代の服飾：洋服の浸透と和装の近代化	授業内容の振り返りを行い課題に取り組む。	90分
15回 梅谷	まとめ	これまでの授業内容の振り返りを行い、十分理解する。	120分

アパレル素材論

田口 雅子、徳田 貴美江

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

アパレルに使用される布に焦点を当て、基本的な知識、専門用語を理解するために説明する。応用力を育成するために、実物サンプルを提示しながら解説し、理解を深める。素材に関する知識と素材そのものが持つ手触りや布の表情など、服飾造形を作り出す素材に関心を寄せ、布の種類や構造を理解し、アパレル素材の基本的な知識を修得することを方針とする。

到達目標(学修成果)

基本的な素材の名称や性質、専門用語、織物やニット生地に関する知識を修得することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は専門選択科目で、全コース卒業要件科目となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回授業終了時に小テストを行い、翌週答え合わせをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

「アパレル素材の基本」織研新聞社

参考文献

「テキスタイル用語辞典」テキスタイル・ツリー 成田典子著

オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室(3011)

初回授業で提示

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 徳田	ガイダンス ビデオ視聴	(予習) 衣服材料学で学んだ内容を復習する	30分
2回 徳田	何を着ているのか 素材について 繊維 糸 布の製造プロセス	(復習) 自分の着ている衣服の素材を調べる	30分
3回 徳田	布の分類 織物とは 織物の三原組織	(復習) 身の回りにある布製品から、織物でできているものを見つける。	30分
4回 徳田	織物の種類と織物組織 規格、物性について	(復習) 衣服に使われている織物の組織を確認する。	30分
5回 徳田	綿について 綿織物	(復習) 衣服の市場調査をし、綿織物の手触りや風合いを観察する。	60分
6回 徳田	綿織物	(復習) 綿の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	60分
7回 徳田	ウールについて ビデオ視聴 毛織物	(復習) 衣服の市場調査をし、毛織物の手触りや風合いを観察する。	60分
8回 徳田	毛織物	(復習) 毛の繊維や生地の特徴が製品にどのように活かされているのか考察する。	60分
9回 徳田	絹と化合織について 化合織織物	(復習) 絹や化合織織物を市場調査し、手触りや風合い、アイテムを確認する。	30分
10回 徳田	ニット 緯編	(復習) ニット製品を市場調査し、特徴を理解する。	30分
11回 徳田	ニット 経編・レース	(復習) 経編の製品を調査し、その特徴やアイテムを確認する。	30分
12回 徳田	不織布・皮革	(復習) 革製品(含む人工皮革等)を観察し、特徴や用途を捉える。	30分
13回 徳田	染色・加工	(復習) 授業内で聞いた内容に該当する衣服を探し、改めてその特徴を理解する。	30分
14回 徳田	産地・復習	(復習) 全国にある産地を復習する。	30分
15回 徳田	まとめ 課題(試験やレポート等)のフィードバックを行う	(復習) 授業内容を振り返り、まとめをする。	30分

色材演習

土屋 純一

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

素材の色彩と材質感についての観察、発見、収集、分類、検証、構成を行う。具体的には布素材のみならず、ひろく身の回りの「モノ・コト」に眼を向けたフィールドワークから「オリジナルな色と質の資料」を制作し、平面、立体デザインへと応用する。そして将来「素材からのデザインの提案～展開」が出来る視点や可能性を準備する。

到達目標(学修成果)

造形を行う際の素材の選択や、その特徴を生かした表現方法など色彩と質の構造について理解し、今後の服飾造形表現に応用する素材活用ができるようになる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目である。造形表現における素材の色彩と材質に対する知識と発想力を高める為の授業である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

各課題終了後に講評を行う。最終作品ファイルは個別講評、採点后に返却する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

進行に合わせて授業内で紹介し、プリントを配布する。

オフィスアワー・研究室

月曜日、火曜日(12時10分～12時50分) 連絡研究室 大学表現演習研究室(第三校舎1階)

備考

毎回、授業で説明した「フィールドワーク」を通して、日頃から素材に対する幅広い考察を行うこと。授業準備を怠ると課題演習ができない。すべての配布プリント及び作品はファイルにまとめて毎回授業に持参すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 土屋	導入/授業概要。「フィールドワーク」の目的、方法。イメージと素材との関係について。	予習: シラバスの確認 復習: フィールドワークの準備。	30分
2回 土屋	講義/「視覚と触覚/素材と表現」、フィールドワークの確認。	予習: フィールドワークによる素材調査と収集。 復習: 紹介した事柄や作家について。	90分
3回 土屋	演習「サンプリング～資料制作」/収集、分類。素材分析についてのディスカッション。	予習: フィールドワークによる素材収集と分類。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
4回 土屋	” /色と材質感。素材分析についてのディスカッション。	予習: フィールドワークによる素材収集と分類。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
5回 土屋	” /素材の分類。素材分析についてのディスカッション。	予習: 素材と言葉のイメージの収集。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
6回 土屋	” /色とイメージの分類。素材分析についてのディスカッション。	予習: 素材と言葉のイメージの収集。 復習: 色彩と質感の分析。	60分
7回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～イメージからの展開」/構造と構成。演習 講評。	予習: 色彩と質感のリサーチ及びフィールドワークによる素材収集。復習: 作家研究。	60分
8回 土屋	” /イメージからの素材の選択、色彩と材質感についての分析。	予習: フィールドワークによる素材収集。復習: 集合体による色彩と質感について。	45分
9回 土屋	” /織りによる平面構成。集合体による色彩と材質感。	予習: フィールドワークによる素材収集。復習: 織の構造について分析。	45分
10回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～立体への展開」/イメージの立体構成・質の変化。演習 講評。	予習: フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習: 準備課題「質の変化」。	45分
11回 土屋	” /重層構造による立体表現。独自の素材表現方法について。	予習: フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習: 素材加工の技法について。	45分
12回 土屋	” /立体的な視点からのデザイン構成について。	予習: フィールドワークによる素材とイメージ画像の収集。復習: 立体構成について。	45分
13回 土屋	演習「サンプリング&リミックス～質のデザイン」/色と材質感の提案。オリジナルな素材表現。演習 講評。	予習: フィールドワークによる素材収集、スクラップ作成。復習: 素材の加工方法について。	60分
14回 土屋	” /デザインのトリミング。重層構造による色彩と質感。	予習: フィールドワークによる素材収集。復習: スクラップ作成。	60分
15回 土屋	まとめ「イメージファイル」/色と質感イメージ。総合講評。	予習: 色彩と質感に関するイメージファイルの完成。復習: 講評を踏まえての自己分析。	45分

マーケティング・データサイエンス論

田中 康寛

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

現在企業は、経営をはじめ、すべての業務をデータから得られることで、次フェーズに進んでいると言っても過言ではありません。それは事業の予見精度向上、新たな事業への展開の支援など様々なことに使っています。そのような環境の中で、社会を歩んでいくためには、データをいかに利活用するか、はたまた生成AIが登場してから、瞬く間にデータ利活用の主役になっていて、その生成AIを理解していくことは、ビジネスに関係する以上は必須となります。データサイエンスとAIを理解し、自分でどのように利活用できるかなど考えることは必須です。それらを体感できることを目指します。

到達目標(学修成果)

データサイエンス、AIなどに関して、自分の言葉で説明できるようになること。そして企業経営にどのように役立つのかを考えていきます。その中から自分のアイデアを整理します。そのプロセスがいかに重要かを感ぜられるようにします。重要なことは自分の考えで、自分の言葉でそのアイデアを説明できることです。そのためには各種ツールなどが使えることが目的でなく、いかに利活用するか、そして、仮にAIが出してきた事項も、すべて人間が判断し決着していくという最も重要な点も体感します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

当講義は、必須科目となります。内容は暗記中心ではなく「考える」を中心に行っていきます。そのためディスカッションや講義の中での発言など、自分の言葉で考えていくことが重要です。その延長線にテストも存在します。テストも、自分の考えを表現してもらおう形態となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

テストに関しては各自に添削して返却をします。もちろん全体の解説を行います

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	15%
外部評価・検定試験結果	5%

教科書

データ思考が未来を変える 織研新聞社 基礎的なことは、この教科書を予習復習に活用してください。適宜資料を配布します。

参考文献

必要に応じて、紹介をしていきます

オフィスアワー・研究室

講師控室に在籍します

備考

この講義で学ぶことは、とても変化が激しいです。常に、自分のアンテナを張り情報を取得するようにしてください、予習復習の時間はそれほど長い時間としていませんが、アンテナをはり情報を得るということ意識してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	オリエンテーション 講義の進め方を説明します データサイエンスとは何を説明します	講義の進め方は意識できるように理解、データサイエンスは何かを自分で説明できるように。	40分
2回 田中	データサイエンスのビジネス上での重要性を説明します	事例も含めて説明されたことを整理し、自分であればアイデアを創出してみます	50分
3回 田中	DX(データサイエンスが中核)を説明します。DXにおいてデータサイエンスが重要かを考えていきます	DXとは何かを説明できるようにします	50分
4回 田中	統計について学びます 基礎的な内容になりますが、データを見るスタート地点煮立てることを目標とします	統計の基本を思い出します	45分
5回 田中	AIとは何かを説明します。さらにその使い方を説明します	AIの使い方を整理し、AIを使うアイデアを考えます	55分
6回 田中	AIの活用事例を説明します	前週考えたアイデアをもとに加えていきます	45分
7回 田中	実習: 統計概論 基本的なことをExcelを使いながら理解します	学んだ事項を整理します	40分
8回 田中	実習: Excelを使って回分析などを行います	回帰分析の意味を理解します	50分
9回 田中	実習: AIの基本的な使い方を学びます	どのようことができたかを確認します	50分
10回 田中	実習: AIを使います。実際に企業で使っているような例題を行います	AIが出してきた結果をどのように考えたかを整理します	45分
11回 田中	アパレルメーカーの販売データを見ながら、グループディスカッションを行います。	内容を整理りします	55分
12回 田中	11回で使ったデータをもとに、さらに必要なデータ項目などディスカッションし発表をします	ディスカッションで出てきたデータ項目や意見を整理します	40分
13回 田中	データの種類と収集の方法をIoTなどを中心に説明します 2回目テスト	各種データを整理します。何に使えるのかも含め整理します	60分
14回 田中	データサイエンス、AIを利活用する上で、気をつけるべきこと	気をつけるべきことを整理します。当校でのAIを使う場合の倫理規定を熟読します	50分
15回 田中	まとめ 必ず覚えてほしいことを再度話します	全体を通じて覚えるべきことを復習します	60分

現代ファッション論

鈴木 桜子

服飾学科 モード系コース

2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「ファッションとは何か？」この問いに答えるのは容易ではありません。ファッションは私たちにとって最も身近な存在でありながら、個人と社会、歴史、文化、思想等のあらゆる領域と複雑に絡み合いながら現在に至っています。

本授業では、衣服と直接的な身体との関係、社会現象としての流行とメディアとの関係、様々な視点からファッションの現在の意味を問う展覧会に焦点をあて、「ファッション」について深く考えて行くことを方針としています。本授業は、ディスカッション、学生同士の相互評価、プレゼンテーションによるアクティブラーニングを重視します。

到達目標(学修成果)

「ファッション」について、ディスカッションを通して自らのファッション論を導き出すことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は2年次の必修科目であり、卒業要件科目です。ファッションに関する多角的な視点を持ちながら専門性を高めていくための科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッション時のレポート、プレゼンテーションは、受講者同士で評価をし、フィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回プリントを配布します。

参考文献

授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

沢山の服飾関連の授業を受講している皆さんにとって大事なことは、時に立ち止まり、物事を深く考える時間を持つことです。現在、ファッションについて社会学や哲学の立場から論じられている書物が数多く出版されています。それらをヒントに日頃からファッションについて深く考えてみましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	「ファッション」を考える なぜ衣服を着るのか	予習：シラバスの確認	30分
2回 鈴木	・ファッションと身体 コルセット	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
3回 鈴木	化粧	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
4回 鈴木	女性の服・男性の服	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
5回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
6回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振返り	30分
7回 鈴木	・ファッションとメディア ファッション写真	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
8回 鈴木	ファッション雑誌	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
9回 鈴木	かわいい世界	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
10回 鈴木	ディスカッション	予習：ディスカッションの準備	100分
11回 鈴木	レポートの評価	復習：レポート評価の振返り	30分
12回 鈴木	・ファッションと展覧会 「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
13回 鈴木	「SUKIN+BONES:1980年代以降の建築とファッション」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
14回 鈴木	「○○○○○」展	復習：授業ノート確認+関連事項の調査	40分
15回 鈴木	プレゼンテーションと評価	予習：プレゼンテーションの準備	100分

CADパターンメイキング

高橋 芽衣

服飾学科 モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコース

2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

CAD(Computer Aided Design)の基本操作を学び、平面パターン設計を学修することを方針とします。CADの簡単な操作方法から学び、パターン設計 アパレルでの流れも学修します。

到達目標(学修成果)

CADの基本操作とアパレルに必要な総合的なCADシステムの使用方法を修得することを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については、モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコース・服飾文化学科の必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の後半に、その回学んだことを復習の意味で小テストします。小テストは教員が添削し、次週返却し学生はそのデータの確認を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

配布プリント

参考文献

パターンメイキングの原理 (大野順之助 著)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。研究室：3211教室(第3校舎2F)

備考

CADは自宅では使用できないコンピュータソフトのため、授業時間内に行うことをしっかり覚えていくこと、また欠席しないことをお奨めします。また進度により日程及び内容を変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	オリエンテーション、CADの基本説明	予習：シラバスを読んでおくこと パソコンによる手慣らし	30分
2回 高橋	CADの基本操作	予習：パソコンによる手慣らし	30分
3回 高橋	ダーツ展開1(基本) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
4回 高橋	ダーツ展開2(応用) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
5回 高橋	袖 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
6回 高橋	ギャザー(身頃) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
7回 高橋	ギャザー(スカート)1 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
8回 高橋	ギャザー(スカート)2 ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
9回 高橋	前半の復習	予習：前半の整理、再確認しておく	30分
10回 高橋	キュロットスカート ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
11回 高橋	工業パターン1(パーツ化) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
12回 高橋	工業パターン2(縫い代付け)・小テスト マーキング(グループワーク)	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
13回 高橋	グレーディング(スカート) ・小テスト	終わらなかったところは終わらせておく (小テスト等)	30分
14回 高橋	まとめ1	予習：全体を整理、再確認しておく	30分
15回 高橋	まとめ2(テスト)	予習：全体を整理、再確認しておく	30分

モードクリエーション

川中子 貴雄、野中 知世

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 前期 必修 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

服飾造形基礎、で修得した基礎的な知識と技術を基に、ワンピースドレスとパンツを制作しさらに必要な基礎を身に着ける。またワンピースドレスでは、マーケティングリサーチを行い、その時代の流行や市場の動向を感知し、各自がイメージすることを服の造形で表現できるようにデザインの考案、工業用パターン作成を行いオリジナルデザインの作品を制作する事を方針とする。

到達目標 (学修成果)

ワンピースドレスとパンツのパターンメイキング、縫製方法を学び、作品制作を通して制作過程の理解と表現方法を身に付けることが出来る。さらに作品発表を通して、プレゼンテーション能力を高めることが出来るようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目である。専門科目、服飾関係科目のモードクリエーションコース必修の実習科目である。卒業制作にあたり修得しておかなければならない知識や技術を含んでいる。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題により授業内で解説、返却を行う。試験、レポート返却については別途日程を伝達する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING、SEWING、SEWING

電子教材

参考文献

図解服飾用語事典 その他

オフィスアワー・研究室

第1回目の授業に指示。研究室 大学服飾造形研究室

備考

特別授業「工場見学(期日未定)」を含む。

進度により、日程および内容を変更する場合もある。

準備学修の時間はあくまで目安であり、各自の状況に合わせて増減すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	オリエンテーション、基礎課題 (ワンピースドレス各種) 製図、著作権について	予習: シラバスを読む 復習: PATTERN MAKING テキストの製図を見直す	60分
2回 各自	基礎課題 (ワンピースドレス各種) 製図	予習: 1年次に学んだ内容を再確認する、デザイン考案 復習: 遅滞作業を行う	60分
3回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) 製図	予習: PATTERN MAKING テキストの製図を確認する、市場調査まとめ 復習: 遅滞作業を行う	90分
4回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) 製図、トワル作成、マーケティングリサーチ発表	予習: PATTERN MAKING テキストの製図を確認する、縫製手順を考える	90分
5回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) トワル作成・点検、製図訂正、小テスト	復習: 遅滞作業を行う	90分
6回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) 型紙作成、裁断、印付け	予習: SEWING テキストの裁断図、縫い代について確認する、各種手縫いの方法を再確認する	90分
7回 各自	基礎課題 (ワンピースドレスの縫製方法について) 部分縫い 応用課題 (ワンピースドレス制作) 身頃縫製	予習: SEWING テキストの身頃の縫製を確認する 復習: 遅滞作業を行う	90分
8回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) スカート縫製、あきの始末	予習: SEWING テキストのあきの始末を確認する 復習: 遅滞作業を行う	90分
9回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) 衿、袖縫製	予習: SEWING テキストの衿、袖を確認する 復習: 遅滞作業を行う	90分
10回 各自	応用課題 (ワンピースドレス制作) 仕上げ・提出 基礎課題 (パンツ各種) 製図	復習: 遅滞作業を行う、PATTERN MAKING テキストの製図を見直す	90分
11回 各自	基礎課題 (パンツ実物大) 製図	予習: PATTERN MAKING テキストの製図を確認する 復習: 遅滞作業を行う	90分
12回 各自	基礎課題 (パンツ実物大) 縫製	予習: SEWING テキストのパンツについて確認する 復習: 遅滞作業を行う	90分
13回 各自	基礎課題 (パンツ実物大) 縫製	予習: SEWING テキストのパンツについて確認する 復習: 遅滞作業を行う	90分
14回 各自	基礎課題 (パンツ実物大) 縫製、ワンピースドレスプレゼンテーション・講評、縫製仕様書について	予習: プレゼンテーション準備 復習: 遅滞作業を行う、縫製仕様書を確認する	90分
15回 各自	応用課題 大学祭グループワーク 小テスト、まとめ	復習: 前期の課題を振り返り確認する	60分

モードクリエーション

川中子 貴雄、野中 知世

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 後期 必修 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

服飾造形基礎 ・ 、モードクリエーション で修得したパターンメイキングを基に、工業用パターンを学び、総裏付きジャケットの構成を理解する。素材に合わせたパターン修正、展開方法などを学ぶ事を方針とする。

到達目標 (学修成果)

ジャケットのパターンメイキング、縫製方法を学び、作品制作を通して制作過程を理解し表現方法を身に付けることが出来る。さらに作品発表を通して、プレゼンテーション能力を高めることが出来るようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定科目である。専門科目、服飾関係科目のモードクリエーションコース必修の実習科目である。前期モードクリエーションに続き、卒業制作にあたり修得しておかなければならない知識や技術を含んでいる。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題により授業内で解説、返却を行う。試験、レポート返却については別途日程を伝達する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

ドレメ式原型、基礎テキスト、PATTERN MAKING 、SEWING (購買部で各自購入しておくこと)

電子教材

参考文献

図解服飾用語事典 その他

オフィスアワー・研究室

第1回目の授業に指示。研究室 大学服飾造形研究室

備考

進度により日程および内容を変更する場合もある。準備学修の時間は目安であり、各自の状況に合わせて増減すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	オリエンテーション、著作権について、基礎課題 (ジャケット各種) 製図、マーケティングリサーチ報告	予習：シラバスを読む 復習：PATTERN MAKING テキストの製図を見直す、市場調査	60分
2回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 製図	予習：PATTERN MAKING テキストのテーラードジャケットの製図を確認する	60分
3回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 製図、トワル作成	予習：グループ発表準備、トワル作成の手順を確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
4回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) トワル作成・点検、製図訂正、応用課題 大学祭グループワーク	復習：遅滞作業を行う	90分
5回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 型紙作成、裁断、小テスト、応用課題 大学祭グループワーク発表・講評	復習：SEWING テキストの展開図、縫い代付けについて見直す、遅滞作業を行う	90分
6回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 表地縫製準備、基礎課題 部分縫い	予習：SEWING テキストの接着芯について確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
7回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 表地縫製準備、型紙作成 (裏地)、基礎課題 部分縫い	予習：SEWING テキストの印付けについて確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
8回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 表地縫製準備、衿作り、裁断 (裏地)	復習：遅滞作業を行う	90分
9回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 身頃縫製、裏地縫製準備、ポケット縫製	予習：SEWING テキストのポケットについて確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
10回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) ポケット縫製、裏地縫製	予習：SEWING テキストの裏地について確認する 復習：遅滞作業を行う	90分
11回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 袖作り、衿付け	復習：遅滞作業を行う	90分
12回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 身頃の合わせ、袖付け	復習：遅滞作業を行う	90分
13回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) 裾始末、中とじ	復習：遅滞作業を行う	90分
14回 各自	応用課題 (テーラードジャケット制作) ボタン付け・ホール、仕上げ、縫製仕様書について	予習：SEWING テキストのボタン付け・ホールを確認する 復習：縫製仕様書を確認する	90分
15回 各自	ジャケットプレゼンテーション・講評小テスト、まとめ	予習：プレゼンテーション準備、ファイルまとめ 復習：後期の課題を振り返り確認する	60分

ドレーピング&パターンメイキング

高橋 彩香 服飾学科 モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコース

2年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

将来ファッション業界でデザイナー、パターンメーカー、マーチャндаイザー、バイヤー等の仕事をする上で、最も大切な基本理論を学ぶ。パターンメーカーとしての実務経験を活かして、服作りの現場で応用できる基礎の考え方、服の見方に軸を置いた授業を展開する。

服作りの基礎となる原型からの展開方法・パターン操作を学び、実際にトワルを組むことで立体と平面との兼ね合いを掴む訓練をする事を方針とする。

到達目標(学修成果)

婦人服におけるパターン操作の基本理論を習得できる。またトワル縫製の速度向上を目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコースの卒業認定に必要な必修科目であり、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『立体裁断 基本理論』 小山千暁他著 (有)cfk1991

参考文献

『工業用パターンガイドブック』 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ

オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00~14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室(第3校舎1階3106教室)

備考

授業に必要なテキスト、道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	立体裁断とは 人台・天竺の扱い	予習(準備):身頃用天竺の用意(50cm×90cm) 天竺サイズは縦×横で表記	30分
2回 高橋	【実習】原型のトレース	復習:授業内容・授業内課題の完了	30分
3回 高橋	【実習】原型作成	復習:授業内容・授業内課題の完了	30分
4回 高橋	【実習】原型の展開 ダーツ移動・分散	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(50cm×45cm×2枚)	30分
5回 高橋	【実習】原型の展開 ギャザー展開	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(50cm×45cm丈×2枚)	30分
6回 高橋	【実習】原型の展開 ストレートヨーク	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(60cm×45cm×2枚)	45分
7回 高橋	【実習】原型の展開 ラウンドヨーク	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(60cm×45cm×2枚)	45分
8回 高橋	【実習】原型の展開 ストレートヨーク、ウエストギャザー	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺の用意(60cm×45cm×2枚)	60分
9回 高橋	【実習】袖の考え方 1枚袖の製図 イセの入れ方	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺の用意(70cm×45cm×1枚)	30分
10回 高橋	【実習】袖の展開 袖山ギャザー・袖口ギャザー	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(40cm×90cm×1枚)	30分
11回 高橋	【実習】袖の展開 マトンスリーブ 衿のパターンメイキング フラットカラー	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(70cm×45cm×1枚)	30分
12回 高橋	【実習】袖の展開 マトンスリーブ 衿のパターンメイキング シャツカラー	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(80cm×90cm×1枚)	30分
13回 高橋	【実習】衿のドレーピング フラットカラー	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(30cm×30cm×1枚)	30分
14回 高橋	【実習】衿のドレーピング シャツカラー	復習:授業内容・授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意(30cm×30cm×1枚)	30分
15回 高橋	【まとめ】復習・まとめ	復習:授業内容・授業内課題の完了	30分

ドレーピング&パターンメイキング

高橋 彩香 服飾学科 モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコース

2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

将来ファッション業界でデザイナー、パターンメーカー、マーチャндаイザー、バイヤー等の仕事をする上で、最も大切な基本理論を学ぶ。パターンメーカーとしての実務経験を活かして、服作りの現場で応用できる基礎の考え方、服の見方に軸を置いた授業を展開する。

前期に使用した基本原型を製作する。ドレーピングでユルミのない原型をつくり、そこに着る人の体型を考慮した運動量を加えていく。必要なユルミの分量を人体の動きに応じて配分した、動きやすい服づくりの基本を学ぶことを方針とする。

到達目標(学修成果)

ドレーピングの基本であるピンの打ち方・基本原型に必要なユルミの位置や分量が理解できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコースの卒業認定に必要な必修科目であり、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場で学生に対して個別指導を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- 『立体裁断 基本理論』 小山千暁他著 (有)cfk1991
- 『立体裁断 基本理論から応用』 小山千暁他著 (有)cfk1991

参考文献

- 『工業用パターンガイドブック』 小山千暁他著 (株)アミコファッションズ

オフィスアワー・研究室

第2校舎2402教室 金曜日 13:00~14:30

【研究室】ドレーピング&パターンメイキング研究室(第3校舎1階3106教室)

備考

授業に必要なテキスト、道具・組立などの準備は必ず時間前に用意すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	【実習】天竺の用意 前身頃のドレーピング	予習(準備):天竺の裁断・地直し	30分
2回 高橋	【実習】後身頃のドレーピング	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習:スカート用天竺の用意	30分
3回 高橋	【実習】前後スカートのドレーピング	復習:授業内容、授業内課題の完了	30分
4回 高橋	【実習】上下接ぎ・パターン作成	復習:授業内容、授業内課題の完了	40分
5回 高橋	【実習】パターンの長さ合わせ・修正・トワル縫い	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):組み立て用天竺用意	30分
6回 高橋	【実習】トワル・パターン修正	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):ユルミなし原型のトレース	30分
7回 高橋	【実習】原型のユルミ入れ・前身頃	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):身頃用天竺用意	30分
8回 高橋	【実習】原型のユルミ入れ・後身頃 前後スカート	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):スカート用天竺用意	30分
9回 高橋	【実習】原型の修正	復習:授業内容、授業内課題の完了	30分
10回 高橋	【実習】袖の製図	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):袖用天竺用意	30分
11回 高橋	【実習】袖付け	復習:授業内容、授業内課題の完了	30分
12回 高橋	【実習】袖付け・修正	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):袖用天竺用意	30分
13回 高橋	【実習】テーパードスリーブ	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):衿の天竺用意	30分
14回 高橋	【実習】プリンセスライン原型の作り方	復習:授業内容、授業内課題の完了 予習(準備):天竺用意	30分
15回 高橋	【まとめ】	復習:まとめ	30分

モードデザイン

白木 ゆみ香

服飾学科 モードクリエイションコース 2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

モードデザインは、モードクリエイションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を養う授業です。1年時に学んだ基礎的なファッションデザイン画の技術や2年前期のデザイン概論の知識を元に、更に向上させるべく自分のイメージするデザイン画が自由に描けるようになるための技術や手法を学びます。

大学図書館やネットなども活用し、デザインの情報や資料収集がすぐ出来る環境の中、オリジナルのデザインを発想できる力を養えるよう指導、訓練をしていく事を方針とします。

到達目標(学修成果)

自分のイメージするデザインを、自由に描ける力を養うこと。また、デザインを発想するための基礎を身に付けることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、モードクリエイションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室(研究棟1F)に、指定された日時までに提出のこと。
- ・作品課題の返却は、採点または手直し後、教室にて返却。期末試験はなし。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じてプリント配布。

教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

参考文献

MODE Et MODE、建築等各種専門誌。

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室(研究棟1F)

備考

進捗により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 白木	オリエンテーション ブランドコレクション(レディース)	予習: シラバスを読む。	30分
2回 白木	ブランドコレクション (ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
3回 白木	ブランドコレクション(メンズ)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
4回 白木	ブランドコレクション(メンズ) (ブランド分析、デザインポイント、ターゲット層、ハンガーイラスト、オリジナル)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
5回 白木	ポーズのバリエーション4~5体	復習: 作品課題を完成させる。	60分
6回 白木	素材研究 マテリアル各種7~10、各種画材での表現	復習: 作品課題を完成させる。	60分
7回 白木	マテリアルのファッション画 デザイン画1体+ハンガーイラスト、またはデザイン画2体	復習: 作品課題を完成させる。	60分
8回 白木	マテリアルのファッション画 着色、仕上げ	復習: 作品課題を完成させる。	60分
9回 白木	デザイン発想 テーマ: 人体 (アイデアスケッチ、)	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	60分
10回 白木	デザイン発想 テーマ: 人体 (デザイン画)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
11回 白木	デザイン発想 テーマ: 素材からの発想 素材研究 10センチ角程度で、素材サンプルを作成	予習: 素材の準備	60分
12回 白木	デザイン発想 テーマ: 素材からの発想 (コンセプトシート、デザイン画)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
13回 白木	デザイン発想 テーマ: 建築 (アイデアスケッチ、)	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	60分
14回 白木	デザイン発想 テーマ: 建築 (デザイン画)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
15回 白木	特別講義 外部の講師をお招きして、講義を行う	復習: 講義内容をレポートにまとめる。	60分

服飾デザイン概論

鈴木 桜子

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

「デザイン」は、単に「もの」(服飾)のイメージに合わせて色や形にしていくことではなく、最も重要な目的の一つとして、「もの」を通して人と社会をコーディネートしていくことがあげられます。そのためには時代を知り、人と社会に関心を持つ姿勢が求められ、どのようなプロセスを通して最終的な素材や色や形にしていくかが問われます。

本授業の方針として、服飾デザインを多角的な視点から捉え、自らの服飾デザイン観が社会とどのように結びついていくのか、理論的・実践的思考を高めてプレゼンテーション、ディスカッションを行っていくアクティブラーニングを重視します。

到達目標 (学修成果)

服飾デザインについて、自らの見識を持ち、デザインコンセプトを構築していく姿勢が持てるようになることを到達目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目はモードクリエーションコースの専門必修科目です。服のデザイン・考え方・プレゼンに必要な技術等が修得できます。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

ディスカッション、プレゼンテーションについては受講生双方で評価を行い、フィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

毎回プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

進度により、日程及び内容は変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション デザインとは何か?なぜ、服をデザインするのか?	予習: シラバスの確認	30分
2回 鈴木	身近なものをデザインする	復習: 身近なものをデザインする	30分
3回 鈴木	衣服をデザインする	復習: 衣服デザインについて考える	30分
4回 鈴木	. 時代と社会に向き合うデザイン	復習: 時代・社会に向けた衣服の在り方を考える	30分
5回 鈴木	"	復習: 時代・社会に向けた衣服の在り方を考える	30分
6回 鈴木	. 歴史と文化に向き合うデザイン	復習: 歴史の衣服に目を向けてみる	30分
7回 鈴木	"	復習: 歴史の衣服に目を向けてみる	30分
8回 鈴木	. デザイナーの仕事	復習: デザイン の仕事を考える	30分
9回 鈴木	ディスカッション	予習: これまでの授業を振り返り、ディスカッションに備える	30分
10回 鈴木	プレゼン+ポートフォリオ課題に向けて	復習: プレゼン、ポートフォリオの準備を始める	30分
11回 鈴木	. 装飾の功罪	復習: 装飾の在り方について考える	30分
12回 鈴木	. 構造とフォルム	復習: 構造とフォルムの関係を調べる	30分
13回 鈴木	. 色彩・素材・技術	復習: デザイン要素を総合的に捉える	30分
14回 鈴木	プレゼンテーションとディスカッション (ポートフォリオ提出)	予習: プレゼンの準備	60分
15回 鈴木	まとめと評価	復習: 講評を受けて自分の作品を振り返る	30分

装飾技法

野中 知世、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

装飾技法の歴史は古く、服飾の世界では様々な技法を用いた服作りが行われている。この授業においては、服作りの幅を広げるヒントとなる装飾技法の基礎的手法を学ぶ事を方針とする。

到達目標（学修成果）

この科目を履修することにより、装飾技法の基礎的技法を習得することが出来るようになる。また服飾造形に活かすことを目標とし、更に基礎的技法を発展させ作品に付加価値をつけたり、新たにデザインを発想したりするなど、応用力を身につけることも目指す。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目である。モードクリエーションコース学生の必修で、モードクリエーション、や卒業制作での服飾造形表現に必要とする技法技術の向上に資する科目。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題により授業内で解説、返却を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜プリントを配布。

参考文献

必要に応じて授業内に紹介。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：初回授業で指示。

連絡研究室：服飾造形研究室（研究棟内）、造形教室

備考

日程及び内容は、進捗状況により変更する場合もある。

必要材料を授業内で配布する為、材料費として1,500円程集金する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	オリエンテーション、ギャザー作品制作	予習：シラバスを読む。復習：ギャザーについて学んだ内容を確認する。	30分
2回 各自	シャーリング作品制作	復習：シャーリングについて学んだ内容を確認する。	30分
3回 各自	フリル作品制作	復習：フリルについて学んだ内容を確認する。	30分
4回 各自	プリーツ・タック作品制作、グループワーク：コレクションブランドに使用されている技法について（著作権など）	復習：プリーツ、タックについて学んだ内容を確認する。グループワーク準備	30分
5回 各自	ニードルパンチ作品制作	復習：ニードルパンチについて学んだ内容を確認する。	30分
6回 各自	フリーレース作品制作 グループワーク	復習：フリーレースについて学んだ内容を確認する。グループワーク準備	30分
7回 各自	スラッシュキルト作品制作	復習：スラッシュキルトについて学んだ内容を確認する。	30分
8回 各自	キルティング作品制作	復習：キルティングについて学んだ内容を確認する。	30分
9回 各自	フランス刺繍作品制作	復習：フランス刺繍について学んだ内容を確認する。	30分
10回 各自	ビーズ刺繍作品制作 グループワーク	復習：ビーズ刺繍について学んだ内容を確認する。グループワーク準備	30分
11回 各自	リボン刺繍作品制作	復習：リボン刺繍について学んだ内容を確認する。	30分
12回 各自	スモッキング作品制作	復習：スモッキングについて学んだ内容を確認する。	30分
13回 各自	パイピング作品制作	復習：パイピングについて学んだ内容を確認する。	30分
14回 各自	その他技法について グループワーク	復習：グループワークまとめ、プレゼンテーション準備を行う。	30分
15回 合同	その他技法について グループプレゼンテーション・講評	予習：その他装飾技法について調べる。 復習：配布した資料と自身の作品を振り返る。	60分

ファッション史

鈴木 桜子

服飾学科 モードクリエイションコース 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

私たちがいま着ている現代衣服の源流は、およそ100年前に遡ります。その間、多くの革新的なデザイナーが誕生し、流行のファッションが繰り広げられてきました。しかし、一見、一過性の流行と思われるがちなその現象の背後には、政治的・社会問題や同時代の芸術・デザイン運動との関連性が見受けられます。

上記より本授業の方針として、近現代を中心に、芸術・デザイン諸領域の動向を理解しながら、服飾デザインの理論とその歴史性を探っていく視点を重視していきます。

到達目標(学修成果)

時代の造形思考を学ぶことによって、学生一人ひとりが衣服に対する、デザインに対する考え方が持てるようになること、尚且つこれからの衣服の在り方について、多様な視点で見据えていこうとするきっかけが持てるようになることが本授業の到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

必修であり卒業要件科目です。1年次の必修科目「西洋服飾文化史」と合わせて服飾史として通史が完成される内容になっています。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の進行状況にあわせて、授業ノートの評価を行い、授業内でフィードバックをしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

杉野服飾大学オープン教育リソース グラフィック年表「現代ファッションの100年」

本学掲載P <https://www.sugino-fc.ac.jp/about/resources/>

参考文献

授業内容に応じて紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせします。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 現代ファッションの100年	シラバスの確認	30分
2回 鈴木	. デザイン運動とファッション ジャポニスム	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
3回 鈴木	改良服運動	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
4回 鈴木	アール・ヌーヴォー	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
5回 鈴木	ウィーン工房	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
6回 鈴木	デ・スタイルとロシア構成主義	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
7回 鈴木	バウハウス	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
8回 鈴木	. モードの革新者たち マドレーヌ・ヴィオネ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
9回 鈴木	ガブリエル・シャネル	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
10回 鈴木	エルザ・スカパレリ	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
11回 鈴木	戦後のモード -ディオールからサンローランまで-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
12回 鈴木	モードの多様化 アンチ・モード-	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
13回 鈴木	日本人デザイナーたち	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
14回 鈴木	北欧デザインとファッション	復習: 前回ノートの確認+復習テスト	30分
15回 鈴木	まとめ	予習: 総復習テストの準備	40分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣 服飾学科 モードクリエイションコース・インダストリアルパターンコース

2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッション業界でCGを利用した3Dモデリングの活用が増えている。クロスシミュレーションソフト(CLO)を使ったファッション3Dモデリングの基礎的な知識や技術を学修します。ファッション3Dモデリストという新しいクリエイターの育成に向け、デジタルでのファッション造形・表現が可能になるように指導していきます。

到達目標(学修成果)

CLOの基本操作を身に着け、軽衣料(シャツ、スカート)のモデリングができるようになります。フィジカル(現実世界)との違いを理解し、デジタルでのファッション表現の可能性を広げることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布プリント

参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級(CLO編) 織研新聞社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室(第3校舎2F)

備考

3DCGソフトは授業の教室内でしか使えない為、欠席しないようにしてください。日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作 画面操作、パターン配置練習 ネットの著作権等について	予習：シラバスを読む 復習：授業で学んだネット情報を確認	30分
2回 羽・高	モデリング基本操作 縫い合わせ設定練習	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	モデリング基本操作 着せ付け、生地操作	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ギャザースカート	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
7回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
8回 羽・高	モデリング プリーツスカート(折り曲げ表現)	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	ディテール(ファスナー、ステッチ)	予習：副資材について調べる	30分
10回 羽・高	パターン編集(デザイン変更・パターン展開)	予習：パターン展開について調べる	30分
11回 羽・高	コーディネート(レイヤー設定、配色)	予習：着用時の服の重なりについて調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
13回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	予習：ポージングやレイアウトについて調べる	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションを行い、アクティブラーニングでお互いに意見交換を行う。講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

インダストリアルパターン

笹部 小百合

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 前期 必修 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

アパレル企業での実務経験を取り入れ、下衣および上衣の製作を通して、パタンナーに必須となる基本的な知識と技能を修得する。産学連携協定を締結した企業と連携し、服飾衣料資材については企業による特別授業を通して、資材の検査方法や選定について学ぶ。また、提携企業で開発された最新素材や環境に配慮したリサイクル素材を使用する。状況に応じて、CAD&3D と連携した授業を行う。

到達目標（学修成果）

平面と立体を関連付けながら、パンツおよびブラウスの形状を分析・考察することができる。
 ポケット付き衣服の構造や、ポリエステル素材の縫製方法および芯地とのマッチングを理解する。
 パンツおよびブラウスの工業用パターンと縫製工程を理解し、必要な技術を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目はインダストリアルパターンコースの必修科目であり、卒業認定および学位授与に関わる科目である。企業における服飾造形分野の基礎力向上に資する。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題の点検や指導を授業内添削やポータルサイトを利用し行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、SEWING (杉野学園)
 パターンメイキング技術検定試験3級試験問題解答・解説集、配付プリント

参考文献

ドレメ式原型 (杉野学園) 基礎テキスト(杉野学園) 電子教材

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。
 研究室：インダストリアルパターン研究室（第3校舎2階 3211）

備考

日程および予定は、企業による特別授業、授業進度、外部見学の日程などにより、変更することもある。
 準備学修の必要時間は個人差があるため、課題の進捗状況にあわせ必要な時間を各自対応すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション パターン検定について	予習：シラバスを読んでおく	45分
1回	身頃について（グループワーク） パンツの構造理論	復習：遅滞箇所を行う	
2回	パンツの基礎	予習 制作パンツとブラウスのリサーチ	45分
2回	既製服の基礎知識1（グループワーク）	復習 遅滞箇所を行う	
3回	パンツのあきについて	予習 制作パンツとブラウスのデザイン	45分
3回	既製服の基礎知識2（グループワーク）	復習 遅滞箇所を行う	
4回	ポケットについて	予習 製図・縫製方法の確認	45分
4回	上衣製図とトワル制作	復習 遅滞箇所を行う	
5回	企業による特別授業（服飾資材について）	予習 製図・縫製方法の確認	45分
5回	基本パンツ制作と展開 上衣の製図とトワル制作2	復習 遅滞箇所を行う	
6回	デザイン上衣・下衣 製図と型紙	予習 製図・縫製方法の確認	45分
6回		復習 遅滞箇所を行う	
7回	デザイン上衣・下衣 型紙・縫製仕様書き込み	予習 製図・縫製方法の確認	45分
7回		復習 遅滞箇所を行う	
8回	デザイン上衣・下衣 型紙 縫製仕様書 縫製	予習 製図・縫製方法の確認	45分
8回		復習 遅滞箇所を行う	
9回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習 製図・縫製方法の確認	45分
9回		復習 遅滞箇所を行う	
10回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習 製図・縫製方法の確認	45分
10回		復習 遅滞箇所を行う	
11回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習 製図・縫製方法の確認	45分
11回		復習 遅滞箇所を行う	
12回	デザイン上衣・下衣 縫製	予習 製図・縫製方法の確認	45分
12回		復習 遅滞箇所を行う	
13回	まとめ1 デザイン上衣・下衣	予習 製図・縫製方法の確認	45分
13回		復習 遅滞箇所を行う	
14回	まとめ2 デザイン上衣・下衣	予習 予習：プレゼンテーションの準備	45分
14回		復習 遅滞箇所を行う	
15回	アクティブラーニング（プレゼンテーション）	予習 プレゼンテーション準備	45分
15回		復習 返却課題の見直し、夏期休業中の課題	

インダストリアルパターン

笹部 小百合

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 後期 必修 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

アパレル企業における新規製品開発の流れに沿い、産学連携協定を締結した服飾衣料資材企業と連携し、当該シーズンで使用されている素材や最新資材を用いて上衣の先上げ製作を行う。1stトワルサンプルの精度および作業スピードの向上を図り、検定に備える。服飾衣料資材を用いた衣服構造や、生地と芯地のマッチングについては、企業による特別授業を通して学ぶ。状況に応じて、CAD&3D と連携した授業を行う。

到達目標 (学修成果)

- 一枚仕立ての多様なアイテムおよび素材に対応した製図・縫製技術を身に付ける。
- 服飾資材および縫製仕様について、自ら考え判断することができる。
- テーラードカラーの製図および縫製方法を理解する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目はインダストリアルパターンコースの必修科目であり、卒業認定および学位授与に関わる科目である。企業における服飾造形分野の基礎力向上に資する。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題の点検や指導を授業内添削やポータルサイトを利用し行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、SEWING、SEWING (杉野学園)
 パターンメイキング技術検定試験3級試験問題解答・解説集、配付プリント

参考文献

ドレメ式原型 (杉野学園) 基礎テキスト (杉野学園) 電子教材

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示する。
 研究室：インダストリアルパターン研究室 (第3校舎2階 3211)

備考

日程および予定は、企業による特別授業、授業進度、外部見学の日程などにより、変更することもある。
 準備学修の必要時間は個人差があるため、課題の進捗状況にあわせ必要な時間を各自対応すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション パターン検定について 基本JKTの製図	予習：シラバスを読んでおく 復習：遅滞箇所を行う	45分
2回 2回	企業による特別授業 (服飾資材について) 基本JKTの製図トワル	予習 製作上衣のリサーチ・デザイン 復習 特別授業の復習	45分
3回 3回	上衣1 製図	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
4回 4回	上衣1 製図 1STサンプル	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
5回 5回	上衣1 トワル 2NDサンプル	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
6回 6回	上衣1 型紙 縫製仕様書	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
7回 7回	上衣1 裁断 芯貼り	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
8回 8回	上衣1 縫製1	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
9回 9回	上衣1 縫製2	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
10回 10回	上衣1 縫製3	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
11回 11回	上衣1 仕上げ	予習 製図・縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
12回 12回	上衣2 裁断 縫製仕様書 縫製1	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
13回 13回	上衣2 縫製2	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
14回 14回	上衣2 縫製3	予習 縫製方法の確認 復習 遅滞箇所を行う	45分
15回 15回	まとめ アクティブラーニング (プレゼンテーション)	予習 プレゼンテーション準備 復習 返却課題の見直し	45分

CGデザイン

水越 綾

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

初年次で修得したアプリケーション操作、ファッション画、色彩基礎知識を実践的課題の中で活用する。本授業では、色彩を主観的感覚ではなく客観的根拠に基づいて扱うため、「色の見え」に関わる光・視覚・心理の仕組みを講義と演習を通して理解する。理論と制作を往還しながら、配色分析、パーソナルカラー提案、ファッションイメージ制作等に取り組み、目的や条件に応じた配色設計と色彩提案を行う。ファッション色彩能力検定2級の内容にも対応する。

到達目標(学修成果)

1. 色の三属性および配色理論を活用し、意図したイメージをデジタルツールで可視化し、その配色根拠を説明できる。
2. 環境的・心理的要因が色の見えに与える影響を踏まえ、課題の目的に沿った配色設計および調整ができる。
3. 制作物を客観的に分析し、改善点と制作意図を言語化しながら修正・発展させることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本授業はインダストリアルパターンコース必修科目として、服飾造形における色彩設計力および論理的思考力を養い、専門分野における総合的判断力の向上に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題は基本的にキャンパスマジックに提出してもらう。プレゼンテーション時の学生間のフィードバックもキャンパスマジックを通じて行なう。また提出作品へのコメント等も基本的にキャンパスマジックで行なう。また、面談によるフィードバックもあり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション色彩[]、ファッション色彩能力検定試験2級問題集(財団法人 日本ファッション教育振興協会)

参考文献

日本のファッションカラー100 流行色とファッショントレンド 1945～2013(一般社団法人 日本流行色協会発行)、デザイン・アートの基礎課程(ルシーアルカンダ、ティモシー著、BNN) カラーエッセンスデザイン(カラーエッセンスデザイン機構)

オフィスアワー・研究室

初回授業時にアナウンスする・研究室 研究棟1階6012B

備考

色彩のテキスト、カラーペーパー等を使用する事があるので用意しておくように、また、授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスする。USB等を用意しておくが良い。また課題によっては材料費(1000円前後)を徴収することもあるが、その際は事前に周知する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 水越	ガイダンス/色彩基礎の確認/色彩を価値として扱う視点/ファッション産業と色彩/マンセル色相環とトーン一覧の作成	予習:教科書P178に目を通しておく 課題:色相環・トーン整理	30分
2回 水越	配色と色彩調和(流行配色と調和の技術)コレクションを配色の視点から見る /Illustrator操作基礎の確認	予習:教科書P122～137に目を通す。 課題:配色分析を進める	45分
3回 水越	配色と色彩調和(流行配色と調和の技術)コレクションの写真を配色の視点から見る 配色資料の作成	課題:配色資料を作成する	45分
4回 水越	配色理論と調和:ファッションイメージとカラーコーディネーション イメージを色で表現する/Photoshop操作基礎の確認	予習:教科書158～169に目を通す 課題:色彩表現案を整理	45分
5回 水越	配色理論と調和:ファッションイメージとカラーコーディネーション イメージを色で表現する/アプリケーションの連携	課題:イメージ配色案作成	45分
6回 水越	ファッション産業における色彩計画:パーソナルカラーコーディネーションと色彩概論と実践(グループワーク)	予習:教科書P256～267に目を通す 課題:診断内容を整理	45分
7回 水越	ファッション産業における色彩計画:パーソナルカラーコーディネーションと色彩クライアント提案制作(イメージ制作)	課題:コラージュ制作継続	45分
8回 水越	ファッション産業における色彩計画:パーソナルカラーコーディネーションと色彩クライアント提案制作(イメージ制作)	課題:コラージュ案改善	45分
9回 水越	ファッション産業における色彩計画:パーソナルカラーコーディネーションと色彩クライアント提案制作(ファッションイメージ制作)	予習:ファッションイメージ画(手描き線画)を作成しておく/課題:配色計画を整理	45分
10回 水越	ファッション産業における色彩計画:パーソナルカラーコーディネーションと色彩クライアント提案制作(プレゼンボード制作)	課題:プレゼンボード制作	45分
11回 水越	ファッション産業における色彩計画:パーソナルカラーコーディネーションと色彩クライアント提案制作プレゼンとピアフィードバック	予習:発表の準備・練習をしておく 課題:提案内容を振り返る	45分
12回 水越	光と照明:光現象と分光反射曲線を学び、照度・色温度・演色性が色の見えに及ぼす影響を理解する。	予習:教科書P46～65に目を通す 課題:照明条件を整理	45分
13回 水越	色覚とCUD:視覚の仕組みと色覚説を整理し、色覚特性とカラーユニバーサルデザインを学ぶ。	予習:教科書P66～79に目を通す 課題:色覚配慮点整理	45分
14回 水越	色彩の心理効果:視認性・誘目性および知覚効果を理解し、色と形・記憶色の関係を考察する。	予習:教科書P80～89に目を通す 課題:心理効果を整理	45分
15回 水越	色彩の体系的理解と応用 コミュニケーションツールとしての色彩と言語化	予習:教科書P94～101に目を通す	45分

CGデザイン

水越 綾

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

基礎課程で修得したアプリケーション操作、ファッション画、色彩理論を発展的に活用し、色彩を戦略的に設計する力を養う。既存ブランドの色彩傾向分析、テキスタイル配色設計、次期コレクション提案を通して、色彩を「情報」および「商品価値」として扱う視点を強化する。分析結果をもとにカラーコンセプトを立案し、パレット設計、ハンガーイラスト制作、プレゼンテーションへと展開する。対面授業を基本とし、フィードバック等はキャンパスマジックを活用して双方向的に行う。

到達目標(学修成果)

1. ブランドの色彩傾向を分析し、色相・トーン・イメージの観点からその特徴を論理的に説明できる。
2. 分析結果に基づきカラーコンセプトおよびカラーパレットを設計し、その妥当性を説明できる。
3. 制作物を客観的に検証し、他者のフィードバックを踏まえて改善案を構築し、その修正意図を論理的に説明できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位である。ディプロマポリシー(学位授与)については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力及び、総合的な判断力の向上に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題は基本的にキャンパスマジックに提出してもらおう。プレゼンテーション時の学生間のフィードバックや、提出作品へのコメント等も基本的にキャンパスマジックで行なう。もちろん授業内において、面談によるフィードバックもあり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション色彩[]、ファッション色彩能力検定試験2級問題集(財団法人 日本ファッション教育振興協会)

参考文献

新しい模様・柄・パターンのデザイン(BNN)、幾何学パターンづくりの全て(ポール・ジャコブ著、BNN)、伝わるデザインの基本(技術評論社)なるほどデザイン(Mdn)、デザインを学ぶすべての人に贈る カラーと配色の基本BOOK 大里浩二

オフィスアワー・研究室

初回授業時にアナウンスする・研究室 研究棟1階6012B

備考

1年次の色彩テキストを使用する事があるので用意しておくこと。授業内容は進行具合により、前後する可能性がある。その場合は事前にアナウンスする。また、内容によっては材料費(1000円前後)が必要となるが、その際は事前に周知する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 水越	ガイダンス/既習内容の確認(色彩知識・アプリ操作)/第4章03色彩調和理論	予習:教科書P148~157に目を通しておく。これまでの学びについて確認をしておく	45分
2回 水越	第5章01・02を踏まえ、色彩をデータとして扱う(過去コレクション分析)	予習:教科書P178~201に目を通す。課題:分析に必要な情報を収集し、課題を進める	45分
3回 水越	過去コレクションの配色傾向分析(色相・トーン分類)	課題:分析に必要な情報を収集し、課題を進める	45分
4回 水越	過去コレクションの配色傾向分析(分析整理・発表準備)	課題:分析に必要な情報を収集し、課題を進める	45分
5回 水越	配色傾向分析(分析結果の発表・相互評価・振り返り)	予習:発表の準備を進める 課題:振り返り	45分
6回 水越	第5章03 商品企画における色彩計画:過去データと社会状況を踏まえカラーコンセプトおよびカラーパレット設計	予習:教科書P202~215に目を通す。課題:次課題に活用する為のコンセプト案・パレット案検討	45分
7回 水越	デザインにおける色彩計画 / テキスタイル制作のためのアプリ操作演習	課題:課題を進めておく	45分
8回 水越	デザインにおける色彩計画 / テキスタイル制作(オリジナル柄作成)	課題:課題を進めておく	45分
9回 水越	デザインにおける色彩計画 / テキスタイル制作(配色展開)	課題:課題を進めておく	45分
10回 水越	デザインにおける色彩計画 / テキスタイル制作(移調によるカラーバリエーション制作)	課題:課題を進めておく	45分
11回 水越	デザインにおける色彩計画 / テキスタイル発表・講評・相互評価・改善整理	予習:発表の準備をしておく。 課題:発表に対する振り返りの記録	45分
12回 水越	第5章04 生産段階の色彩(素材・色彩管理)/第5章05 販売における色彩計画	予習:教科書P216~225に目を通す。課題:次期提案を意識したハンガーイラスト(手描き)作成	45分
13回 水越	VMDに基づく店舗色彩計画の立案(売場構成・色構成の設計/次期コレクション提案への展開検討)	課題:ハンガーイラスト(手描き)を作成する/必要な素材・情報を集めておく	45分
14回 水越	店舗展開計画(アイテム設計/ハンガーイラスト制作)	課題:課題を進めておく	45分
15回 水越	店舗展開計画(店舗構成とアイテム提案の発表・ピアフィードバック・振り返り)	予習:発表の準備をしておく。 課題:発表に対する振り返りの記録	45分

CAD & 3D演習

羽賀 友美

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

CADでのパターンメイキングと3Dフィッティングの基本を学ぶことを方針とします。服作りは人体を考えることにより、機能的で美しいシルエットを作り出すことができます。基本的なCAD操作を習得し、平面パターン設計を学修します。CADと連動した3Dフィッティングを使って面やダーツ位置の確認をしながら、立体の組み立てを行います。状況に応じてインダストリアルパターン と連携します。

到達目標(学修成果)

CADを使った平面製図 3Dを連動して服の形状を学んでいきます。ダーツ展開・身頃・衿・袖・ワンピースの基本を学び、パターンを立体として組み立て検証し、パターン力を向上させます。手引きの製図からトレースしデータ化できるようになります。課題はポートフォリオとしてまとめ、学生の自己点検と教員との意見交換も行います。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

製図は教員が添削して後日学生に返却する。3Dフィッティングは教員と共にその場でシルエット確認する。CADデータはPowerPointでまとめて学生ポータルへ提出する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、配布プリント

参考文献

被服構成の基礎(奥田有希著)、ドレメ式原型(杉野学園)

オフィスアワー・研究室

- ・オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。
- ・インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

- ・進度により日程及び内容を変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 羽賀	オリエンテーション ワンピース Aライン	予習: シラバスの確認、ワンピースの製図について 復習: 遅滞箇所の完了	30分
2回 羽賀	ワンピース タイトワンピース	予習: ワンピースの製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
3回 羽賀	ダーツ展開 タック、ヨーク	予習: ダーツ展開の製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
4回 羽賀	ダーツ展開 横切替、パネルライン	予習: ダーツ展開の製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
5回 羽賀	まとめ	予習: 今まで行った製図の確認をしておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
6回 羽賀	デザインブラウス	予習: ブラウスの製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
7回 羽賀	デザインブラウス	予習: ブラウスの製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
8回 羽賀	デザインブラウス	予習: ブラウスの製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
9回 羽賀	デザインブラウス	予習: ブラウスの製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
10回 羽賀	デザインブラウス アクティブラーニング、グループワーク(市場調査)	予習: ブラウスの製図について教科書を読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
11回 羽賀	スキャニング、トレース ブラウス	予習: 自分の手引きパターンを確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
12回 羽賀	スキャニング、トレース パンツ	予習: 自分の手引きパターンを確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
13回 羽賀	スキャニング、トレース パンツ	予習: 自分の手引きパターンを確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
14回 羽賀	まとめ	予習: 全体を整理、再確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
15回 羽賀	まとめ 学生ポータル提出	予習: 全体を整理、再確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分

CAD & 3D演習

羽賀 友美

服飾学科 インダストリアルパターンコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

前期のCAD&3D演習を基礎にCADでのパターンメイキングと3Dフィッティングを行います。デザインを読み取ってサイズ設定を行い、パターン作成や展開方法を学修することを方針とします。状況に応じてインダストリアルパターンと連携します。

到達目標(学修成果)

CADを使った平面製図 3Dを連動して服の形状を学んでいきます。各アイテムのパターンを作成し3Dフィッティングで組み立て検証し、自分のイメージを具現化できる力を養うことを目標とします。基本的なグレーディングとマーキングができるようになります。課題はポートフォリオとしてまとめ、学生の自己点検と教員との意見交換も行います。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については、インダストリアルパターンコース必修科目であり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

製図は教員が添削して後日学生に返却する。3Dフィッティングは教員と共にその場でシルエット確認する。CADデータはPowerPointでまとめて提出し教員は講評を返信する(学生ポータル利用)。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

PATTERN MAKING (杉野学園)、配布プリント

参考文献

基礎テキスト(杉野学園)

オフィスアワー・研究室

- ・オフィスアワーの日時は初回の授業時にお知らせします。
- ・インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

- ・進度により日程及び内容を変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 羽賀	オリエンテーション ブルゾン	予習: シラバスの確認、ブルゾンのデザインについて調査 復習: 遅滞箇所の完了	30分
2回 羽賀	ブルゾン	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
3回 羽賀	ブルゾン	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
4回 羽賀	ブルゾン	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
5回 羽賀	グレーディング基礎	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
6回 羽賀	グレーディング基礎	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
7回 羽賀	グレーディング基礎	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
8回 羽賀	マーキング	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
9回 羽賀	ブルゾン 工業用パターン	予習: 自分のパターンを確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
10回 羽賀	まとめ	予習: 今までやったことを整理、再確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分
11回 羽賀	ボトムス アクティブラーニング、グループワーク(市場調査)	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
12回 羽賀	スキャニング、トレース ロングジレ	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
13回 羽賀	スキャニング、トレース ロングジレ	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
14回 羽賀	スキャニング、トレース ロングジレ	予習: 配布プリントを読む 復習: 遅滞箇所の完了	30分
15回 羽賀	まとめ 学生ポータル提出	予習: 全体を整理、再確認しておく 復習: 遅滞箇所の完了	30分

テキスタイルデザイン

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

この授業は主に「織物」に関するデザイン、表現技法などの基礎的なことから学び、専門用語、用具、制作工程を理解し、作品制作することによって修得する入門的な内容で授業構成している。自由な発想で「織物」を考えることができる基本的な基礎知識、技術を修得することを方針とする。

到達目標（学修成果）

基本的な制作技術を使って小作品が自立して制作できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションを行う。課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・オリジナルテキスト配布

参考文献

- ・適宜資料配布

オフィスアワー・研究室

水曜日 第2校舎 2104教室（時間など詳細は初回の授業でお伝えします）

備考

- ・ダイニングテクニック に関連した授業展開である。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 山川	織物組織 経系の準備	(予習)身の回りの「布」を意識的に見る	60分
2回 山川	織物組織 織布準備	(予習)織機・組織の仕組みを理解する	60分
3回 山川	織物組織 織布	(予習)三原組織の生地について調査する	60分
4回 山川	織物組織 織布	(復習)系配列と組織の関係を理解し、先染めのバリエーションを観察する	60分
5回 山川	織物組織 織布	(復習)身の回りの「三原組織」各種の製品を見つけ、違いについて考える	60分
6回 山川	織物組織 織布 測定・まとめ	(復習)織物組織の専門用語や作業方法など復習をしまとめる	60分
7回 山川	織物組織 経系の準備織布準備	(復習)変化組織について調査を行う	30分
8回 山川	織物組織 経系の準備織布準備・織布	(予習)組織ヘリンボーンについてテキストを確認してくる	30分
9回 山川	織物組織 織布準備・織布	(予習)組織バスケットについてテキストを確認してくる	30分
10回 山川	織物組織 織布準備・織布	(予習)組織ジュエルについてテキストを確認してくる	30分
11回 山川	織物組織 織布 測定・まとめ	(予習)マフラーのデザインについて市場調査する(組織など)	60分
12回 山川	マフラーの制作(市販の系からの設計、織布)織布準備	(復習)デザインについて市場調査する	30分
13回 山川	マフラーの制作(市販の系からの設計、織布)	(予習)織機の使い方とその意味を再考する	30分
14回 山川	マフラーの制作(市販の系からの設計、織布)織布 始末	(復習)設計に対し、再度検討し系の形状や太さと織の関係について考える	30分
15回 山川	まとめ・プレゼンテーション 課題の提出	(復習)課題を提出できるように用意する	60分

テキスタイルデザイン

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

テキスタイルデザイン の延長上に位置する科目である。基礎的な要素を持ちつつ、応用力を身につける内容で進める。高機手織機を使用し、「織物」の用途を意識した設計・制作できる能力の育成を方針とする。

到達目標（学修成果）

イメージを織物として色彩と関連づけて表現する力を養うとともに、制作・製造プロセスを理解し、自立した制作ができ、産業との関連を考察できるようになることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーションもしくはレポート、作品課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

オリジナルテキスト配布

参考文献

適宜配布

オフィスアワー・研究室

水曜日（16：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

備考

- ・博物館、美術館および関連した展示会などの見学を積極的に行うこと
- ・ダイイングテクニク に関連した授業展開である
- ・ダイイングテクニク ・テキスタイルデザイン の単位を取得していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田口	ウール織物の作成 デザイン・設計	(予習) 目的に合ったデザインを考案する	30分
2回 田口	ウール織物の作成 織物準備1	(復習) 設計方法の確認をする	30分
3回 田口	ウール織物の作成 織物準備2	(復習) 設計方法の確認をする	30分
4回 田口	ウール織物の作成 織布	(復習) 柄と織物の歴史について調査する	30分
5回 田口	ウール織物の作成 織布	(復習) 織物と用途について考察する	30分
6回 田口	ウール織物の作成 織布	(予習) 毛糸の染法について確認する	30分
7回 田口	ウール織物の作成 織布	(予習) 織布	60分
8回 田口	ウール織物の作成 織布	(予習) 織布	60分
9回 田口	ウール織物の作成 織布	(復習) 縮充の効果についてまとめる	30分
10回 田口	織の表現 綴織の制作 デザイン 経糸準備	(予習) 絵画的な織物表現、色や糸の使い方を調査する	30分
11回 田口	織の表現 綴織の制作 織布	(復習) 設計と表現の違いについて確認	30分
12回 田口	織の表現 綴織の制作 織布	(復習) 撚りの強さと生地表面の効果について確認する	30分
13回 田口	織の表現 綴織の制作 織布	(復習) 綴れ織の歴史やその他作品を調査しまとめる	30分
14回 田口	織の表現 ノッティング 織布	(復習) 点描の表現について調査する	30分
15回 田口	織の表現 ノッティング 織布	(予習) 使用した糸とその効果についてまとめる	60分

ダイイングテクニック

山川 智子、鎌田 美恵

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

作を通して「糸・布染め」を基本とする、糸・布準備、精練、染料と染め方、染料による色彩の特徴などを学修する。実践的な染色方法の基本を、ウール・綿素材を使って学修し、染色の基礎力を身につけることを方針とする。

到達目標 (学修成果)

染色工程の基礎として、染料と助剤、染法を学修し、目指す色彩に染色できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

オリジナルテキスト配布

参考文献

適宜資料配布

オフィスアワー・研究室

水曜日 2104教室 山川 (時間など詳細は初回の授業でお伝えします)

水曜日 (16:00~17:00) テキスタイルデザイン研究室 (3011) 鎌田

備考

・テキスタイルデザインに関連した授業展開である

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 山川	染色基礎ガイダンス 染色と染法基礎	(復習) 繊維に応じた様々な染色方法を理解する	30分
2回 山川	ウール系染め染色見本の作成準備	(復習) 染色方法を顧みる	30分
3回 山川	ウール系染め・まとめ	(復習) 色の表現を理解する	30分
4回 山川	カラー織見本の作成 織布準備	(復習) 経緯糸の交錯による色彩変化について観察する	30分
5回 山川	カラー織見本の作成 織布	(復習) 色、濃度、糸の交錯による変化を整理する	30分
6回 山川	フェルト制作 デザイン 準備	(予習) フェルトを基布として様々な表情になる方法を調査する	45分
7回 山川	フェルト制作 フェルティング	(予習) 柄と手の力との関係、様々な表現を整理する	45分
8回 山川	フェルト制作 始末	(予習) 細かいデテールについてどのように仕上げるか考え、必要な材料を用意する	30分
9回 鎌田	ろうけつ染め カラーサンプル作成	(復習) ろうけつ染めについて調べレポート作成	60分
10回 鎌田	絞り染め(基礎) 糸入れ・絞り・染色・糸解き	(復習) 絞り染めについて調べレポート作成	60分
11回 鎌田	絞り染め(応用作品制作1) デザイン・糸入れ・絞り	(予習) 修得した技法を活かしたデザイン考案	60分
12回 鎌田	絞り染め(応用作品制作1) 染色・後処理・ディスカッション・講評	(予習) 絞りの実践 (復習) レポート作成	90分
13回 鎌田	絞り染め(応用作品制作2) デザイン・糸入れ・絞り	(予習) デザイン考案	60分
14回 鎌田	絞り染め(応用作品制作2) 染色・後処理・糸解き	(予習) 絞りの実践	90分
15回 鎌田	絞り染め(応用作品制作2) ディスカッション・講評	(予習) ディスカッション準備・レポート作成	60分

ダイイングテクニック

田口 雅子、鎌田 美恵

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

ダイイングテクニック の延長上に位置する科目である。異なる素材を使用した制作を行い、素材と染料・助剤の関係性、濃度の調整や、道具の扱い方を学び、糸の染色技法を修得するだけでなく、布の染色技法と表現方法を学ぶことで、テキスタイル表現の視野を広げていく。

到達目標 (学修成果)

綿・ウールなど素材の違いによる染色方法の差異を理解し、イメージした色を自立して染められる基礎的知識と技術を修得するとともに、伝統的な布染め技法を学び、今後の作品制作につなげることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

プレゼンテーションもしくはレポート、作品課題返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

オリジナルテキスト配布

参考文献

適宜配布

オフィスアワー・研究室

水曜日 (16 : 00 ~ 17 : 00) テキスタイルデザイン研究室 (3011)

備考

- ・テキスタイルデザイン に関連した授業展開である
- ・テキスタイルデザイン ・ダイイングテクニック の単位を修得していること
- ・「色彩能力検定3級」検定試験を受検する

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 田口	ウール織物の作成 紡毛糸の染色準備・精練	(予習) 糸取りおよび、毛糸の精練の方法について確認する	30分
2回 鎌田	型紙捺染(一型) デザイン・型彫り・紗張り・地染・試染	(予習) デザイン考案 (復習) 型染について調べレポート作成	90分
3回 田口	ウール織物の作成 紡毛糸の染色	(予習) 毛糸の染法について確認する	30分
4回 鎌田	型紙捺染(一型) 色糊調整・捺染・蒸し・水洗・藍染	(予習) 藍染について調べレポート作成	60分
5回 田口	ウール織物の制作 紡毛糸の染色	(復習) 濃度による色の表現について確認する	30分
6回 鎌田	型紙捺染(一型) 藍染抜染 ソーピング	(復習) 作品のレポート作成	60分
7回 田口	綿織物の制作 デザイン・設計	(復習) 立体物の設計について理解する	30分
8回 鎌田	型紙捺染(複数型) 生地精練・型彫り・試染	(予習) デザイン考案 色彩計画	60分
9回 田口	綿織物の制作 染色	(復習) 素材による染色法について理解し、まとめる	40分
10回 鎌田	型紙捺染(複数型) 地張り・色糊調整・捺染	(予習) 型彫りの実践	60分
11回 田口	原毛の扱いについて 原毛の精練・染色	(復習) 羊毛繊維の性質と扱い方についてまとめる	30分
12回 鎌田	型紙捺染(複数型) 蒸し・水洗・後処理	(復習) 作品提出準備・レポート作成	60分
13回 田口	原毛の扱いについて ほぐし	(復習) 染色方法の確認をする	30分
14回 鎌田	型紙捺染 ディスカッション 講評	(予習) ディスカッション準備	45分
15回 田口	まとめ 講評	(復習) 後期作品を振り返り、技法における表現の特徴を理解する	50分

素材設計論

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

織物設計の基礎である繊維、糸、その構造を示す組織について詳しく解説する。組織図が理解でき、糸の太さや形状が布の風合いや着心地に与える影響を学び、その知識を活かして設計できる基礎能力を養うことを授業の方針とする。

到達目標 (学修成果)

テキスタイルデザイン・ダイニングテクニック の課題に即した設計を理解し自立して設計できる力と、糸量・染料を算出する力を養うとともに、テキスタイルの概念を主体的に探究し、その魅力を今後の作品制作へつなげる力を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内小テストを行い理解の確認を行う

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

オリジナルテキスト (テキスタイルデザイン・ダイニングテクニック共有)

参考文献

適宜配布

オフィスアワー・研究室

水曜日 (15 : 00 ~ 17 : 00) テキスタイルデザイン研究室 (3011)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 田口	導入 テキスタイルとは	(予習) 身近に使われる布のリサーチ・考察する	45分
2回 田口	設計1「組織」組織図36種類の作成 順通しによる基本的な組織図の表現と設計、糸量の算出	(予習) 配布したオリジナルテキスト「組織」とは何か考える	30分
3回 田口	設計2「組織」組織図5種類の作成 乱通しによる基本的な組織図の表現と設計、糸量の算出	(予習) 身の回りにある糸配列や組織による織表現についてリサーチする	30分
4回 田口	組織図の仕組み・書き方について 設計3「マフラー」の設計 市販糸の長さからの設計	(復習) 身の回りの繊維製品について糸と織物組織の関係でリサーチする	30分
5回 田口	染色理論	(予習) 染色計算・道具について確認する	30分
6回 田口	染色理論	(予習) 繊維による染料の違いと助剤、濃度の確認をする	30分
7回 田口	染色・織物道具の名称と使用方法 中間テスト	(復習) 制作に必要な道具類の名称と操作方法について確認する	30分
8回 田口	PCによる織物作成「組織」「組織」	(予習) PC上でのテキスタイル表現について理解する	30分
9回 田口	4DboxでのCG織物表現	(予習) ボーダー柄の効果と商品デザインについてリサーチする	30分
10回 田口	素材とテキスタイル1	(復習) 身近にある布を再度リサーチし、何に気づきがあるか確認する	45分
11回 田口	素材とテキスタイル1 プレゼンテーション1	(予習) 繊維の特徴と糸形状、生地の風合いを確認し、レポートを作成する	45分
12回 田口	素材とテキスタイル1 プレゼンテーション2	(予習) 繊維の特徴と糸形状、生地の風合いを確認しレポートを作成する	45分
13回 田口	素材とテキスタイル2 調査	(復習) 調査内容のまとめ・考察	45分
14回 田口	素材とテキスタイル2 プレゼンテーション	(復習) プレゼンテーションの確認	45分
15回 田口	講評、解説、まとめ 小テスト	(復習) 学修した内容をまとめる	45分

素材設計論

土岐 千春

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

素材設計論 で学んだことにデザイン展開の要素を加え、デザインをおこすための基礎となる描画力と商品企画の基礎を学修する。講師の企業実務に基づき、業界におけるテキスタイルプランナーの役割と業務の現状について解説する。

到達目標 (学修成果)

ファッションテキスタイルの基礎を修得し、アイデアからデザインへの展開と情報収集に裏付けされた素材設計、商品企画、プレゼンテーションが行えるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題作品は採点后、返却します。授業内、または返却時に講評します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

適宜プリント資料配布

参考文献

図書館内資料等

オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室 (3011) 後期：木曜日 (9:00~12:10)

備考

素材設計論 を修得していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 土岐	授業の内容と計画の説明 ・テキスタイルプランナーの役割と業界の現状を解説	テキスタイルプランナーの業務についてリサーチする	30分
2回 土岐	先染め、後染め、ジャカード、プリント、レースなどの素材とデザインの位置づけ	各素材について調査しサンプルを集める	60分
3回 土岐	描画の基礎： デッサンを通して写実的描画を学ぶ	デッサンの方法、作品をリサーチする	60分
4回 土岐	描画の基礎： 水彩画を通して写実的描画を学ぶ	水彩描画の方法、作品をリサーチする	60分
5回 土岐	プリント柄デザインへの展開 写実的な表現からデザインに展開する	対象物の特徴をいかしてデザイン化が出来たか確認する	30分
6回 土岐	カラーバリエーションや柄レンジの作成 バリエーション作成のポイント解説	プリント柄のカラーバリエーションについてリサーチする	60分
7回 土岐	トレンド分析と市場調査 トレンド情報を分析し企画に反映させる方法	コレクション雑誌(GAP)やトレンド資料を見て概要を理解する	60分
8回 土岐	企画におけるコンセプト、テーマのたて方 デザインと言葉による表現の関係性	コンセプトやプレゼンテーションに使われる言葉をリサーチする	60分
9回 土岐	素材の特徴と適した用途について ・服に使われる素材を確認し特徴を解説	服の素材・取扱い表示を確認して使われる素材をリサーチする	60分
10回 土岐	デザインにおける構図とリピート ・リピートの必要性と作り方を学ぶ	プリント柄のリピートを讀みとり送りを確認する	30分
11回 土岐	リピートのついた図案の作成 ・絵とプリント図案の違い	身の回りのプリント柄の資料を集める	30分
12回 土岐	商品企画におけるコンセプトマップの作成 ・プレゼンテーションにおけるビジュアルの重要性	トレンドを意識した商品企画になるようトレンド分析を行う	60分
13回 土岐	コンセプトに合わせたデザインの作成 ・カラーバリエーションやカラーイメージの作成ポイント	ビジュアル作成のための資料集め	60分
14回 土岐	プレゼンテーションを通してデザインの表現方法を学ぶ 相互評価を行う	プレゼンテーションのシナリオ作成等の準備	60分
15回 土岐	まとめ ・課題内容の振り返りと修得内容のまとめ	学習内容の振り返りと改善点の確認	60分

3Dテキスタイル (テクスチャー)

山川 智子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

この授業では主にテキスタイル制作の知識を活かし、3DCGでのテキスタイルの表現を学びます。3DCGでの専門用語、専門的なアプリケーションソフトの使用方法などを課題制作を行うことで修得し、テキスタイルを3D空間でリアルな表現を行うための基本的な知識と技術を修得することを方針としている。

授業評価アンケートより改善：テキストは適宜配布。デモをみながら自分でわかるノートづくり。(受け身ではなく能動的な取り組みの学習として)提出物に関しては単元ごとに完結しながらファイルにまとめ進める。

到達目標 (学修成果)

テキスタイルを3DCGで表現をする上でフィジカルとの違いを理解し、CGでリアルなテキスタイルの表現する基礎知識及び専門的なアプリケーションソフトの使用法の習得を目的とします。専門的なアプリケーションを駆使して表現することでテキスタイル表現の幅を広げることができます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコースの専門科目で卒業要件科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

・ポートフォリオを提出してもらい添削をして返却。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

オリジナルテキスト配布

参考文献

授業内でインフォメーションします。

オフィスアワー・研究室

水曜日 第2校舎 2104教室 ニットCAD室 (時間など詳細は初回の授業でお伝えします)

備考

保存用 USBまたはSSDを用意してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 山川	2DCGと3DCGの概要及びCGテキスタイル作成ソフトについて Adobe Photoshopツールの復習とノートの取り方について	(予習) Adobe Photoshop ツールなどの使い方を思い出す	60分
2回 山川	スキャニングからの3Dテキスタイルの作成 修正・タイリング (Photoshop使用)	(予習) 1回目授業で初めて使用したツールなどの仕様方法をノートにまとめる	60分
3回 山川	スキャニングからの3Dテキスタイルの作成 修正・タイリング (Photoshop使用)	(予習) 柄のリPEATについて他の授業で学修してきている内容の復習	60分
4回 山川	スキャニングからの3Dテキスタイルの作成 Substance Designer	(予習) Substance Designerの復習を行う	60分
5回 山川	スキャニングからの3Dテキスタイルの作成 Substance Designer	予習) Substance Designerの復習を行う	60分
6回 山川	Substance Designerを使用したテキスタイルのまとめ CLOを使用し、レンダリング	(予習) 照明があたった時の影について (復習) 操作方法のノート作成	60分
7回 山川	CLO Fabric kidを使用した物理物性の測定 試料作成、測定、CLO Emulatorの入力	(予習) 織物とはどのようなものかをリサーチを行う	30分
8回 山川	CLOを使用した物性比較 素材、組織が違う物性の比較	(復習) 生地に使用される素材や糸についてリサーチを行う	60分
9回 山川	CLOを使用した物性比較 素材、組織が違う物性の比較	(予習) 6回目で行ったCLOでのレンダリング操作方法の復習を行う	30分
10回 山川	APEX Fizでのテキスタイル作成 織物 柄、組織	(予習) 糸の太さ、生地ドレープ性、剛軟度など生地物性についてのリサーチ	40分
11回 山川	APEX Fizでのテキスタイル作成 織物 ジャカード	(予習) 素材それぞれの特徴をリサーチ (復習) 操作方法のノートを作成	60分
12回 山川	3Dでのテキスタイル表現 APEX Fizを使用したテキスタイルのまとめ (CLO使用)	(予習) 素材それぞれの特徴をリサーチ (復習) 操作方法のノートを作成	90分
13回 山川	オリジナルテキスタイルの制作	(予習) オリジナルテキスタイルを作成するためのリサーチ	60分
14回 山川	オリジナルテキスタイルの制作	(予習) 課題のクオリティーチェック	30分
15回 山川	3DCGオリジナルテキスタイルの発表及び講評 (アクティブラーニングによる意見交換を含む) 課題のまとめ・課題提出	(予習) 発表のための用意 課題提出のための用意	60分

ファッションプロダクトデザイン論

肉丸 美香子

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインの世界を、企業(製造業・販売、流通業)の現状と消費者の視点にたち、外部企業の現役の担当者により講義を行う。学生にとり自身の将来にどのような職域や職種が存在するのか、又現在の学びがそれらとどのような繋がりがあるのか数多くの疑問点や関心事があると思われる。更に企業サイドではどのような人材を必要としているのかを企画、制作、製造、販売などの部門ごとに実際の仕事の内容を具体的に学修する事を方針とする。

到達目標(学修成果)

自身の特性や能力を生かし今後の学修をより効果的な学びに繋げることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法
4回、7回、11回、14回目にレポートを提出する。15回目に課題のフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考文献

ブランディングの基本(安原智樹著)、マーケティングの基本(安原智樹著)、ジャルフックトレンド情報誌

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日11:00~12:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介を

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス、ファッションプロダクトデザイン論の概要	予習：シラバスを読む	30分
2回 大場	アイデアから商品レベルまでのプロセスについて<帽子>	予習：好きなファッションプロダクトとその理由を調べてくる	60分
3回 伊藤	(1)ファッションプロダクトデザインを支える発想とマインド	復習：授業の内容を理解できるようにする	30分
4回 伊藤	(2)目標(ゴール)設定が創造性や成果に与える影響	復習：自身独自性を考える	30分
5回 伊藤	3)ファッションビジネスにおける消費者マインドの読み解き方(ディスカッション)	復習：マーチャンダイザーになったつもりで、改良点を見出す習慣をつける	30分
6回 小山	プロダクト製品の写真の役割と必要性	復習：ファッション雑誌、広告につてリサーチをする	30分
7回 小山	プロダクト製品の撮影の仕方について(ディスカッション)	復習：ファッション雑誌の写真の撮り方を研究する	30分
8回 津曲	「マーケティングとは」3要素・マーケティングプロセス・抑えておこうこのマーケティング	復習：授業の内容を理解できるようにする	30分
9回 津曲	「マーケティングの実例」直接的マーケティングとは?・Coquitteのマーケティングあれこれ(ディスカッション)	予習：授業の内容を理解できるようにする	30分
10回 依田	ファッションのための雑貨、デザインと生活のための雑貨デザインの違いについて(ディスカッション)	予習：ファッション軸と生活軸のデザインの違いについて考えてくる	30分
11回 佐藤	「皮革業界の構造について紹介」バッグ製造 小物製造について	復習：授業の内容を理解できるようにする	30分
12回 池田	情報収集の目的と方法・イタリア展示会取材・ストリートスナップ・ファッション誌キーワードチェック	復習：情報収集の方法の確認をする	30分
13回 池田	商品企画とデザイン 製造 販売の流れについて・商品企画から商品開発までのフロー・店頭イメージの立案	復習：商品企画のフローチャートの確認をする	30分
14回 池田	トレンド情報とファッションプロダクト・シーズントレンド情報・マーケットトレンド情報	復習：シーズントレンド・マーケットトレンドとは何かを理解する	30分
15回 肉丸	まとめ 課題(レポート等)のフィードバックを行う	復習：フィードバックされたものをもう一度確認する	30分

ファッションプロダクトデザイン

高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながる基礎科目である。「ファッション」や「プロダクトデザイン」とは何か。デザインするとはどのようなことを指しているのか。これらの言葉の意味、内容を正しく理解しなければならない。その上で、実際にデザイン考案を行いモノ作りの楽しさ、厳しさを体験することに重点を置く。その後、段階的にデザイン条件をより複雑に設定し、課題制作を行っていく。ファッションアイテムの中でも、特にバッグや靴は構造、機能、素材、色彩などの諸要素が直接デザインと強く結びついている。このことを強く意識し、デザイン能力を鍛え、物作りを行う内容である事を方針とする。

到達目標 (学修成果)

初期のデザインイメージを、プロセスを通し発展させ、最終案に至るまでの流れを確認し、デザインの役割とモノ作りの意味を認識できる能力を修得する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法
プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

『鞆・ハンドバッグ・小物』(社団法人日本皮革産業連合会)

参考文献

新かばん・バッグの商品知識(エフ・ワークス)
工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00~14:00【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	ガイダンス ファッションプロダクトデザイン についての概要	予習：シラバスを確認	30分
2回 高橋	バッグの仕様、サンプル制作 紙モックアップ制作	予習：使用道具の確認 復習：サンプルを完成させる	30分
3回 高橋	バッグの仕様、サンプル制作 不織布モックアップ制作	予習：ミシン使用方法の確認 復習：サンプルを完成させる	60分
4回 高橋	革用機械のトレーニング 平ミシン・腕ミシン・革漉き機の使い方	復習：使用方法の復習	60分
5回 高橋	革用機械のトレーニング 加工、部分縫い 皮革の取り扱い方、ヘリ返し	復習：加工法の復習、加工箇所見直し	60分
6回 高橋	【学外見学-(1)】 東京レザーフェア(TLF)、革問屋のフィールドリサーチ	復習：東京レザーフェアの見学レポートを提出	60分
7回 高橋	革用特殊ミシンのトレーニング 加工、部分縫い 金具類の取り付け、芯材サンプル制作	復習：各自ミシンの使い方の復習、 加工箇所見直し	60分
8回 高橋	革の縫製方法 職業用ミシンで道具入れを制作する	予習：革を購入しておく	60分
9回 高橋	【学外見学-(2)】世界のカバン博物館 浅草、蔵前 革屋、 金具屋のフィールドリサーチ	復習：見学レポートを提出	60分
10回 高橋	【学外見学-(3)】 YKKものづくり館見学 YKKのプロダクト製品について	復習：YKKものづくり館見学レポートを提出	60分
11回 高橋	革の縫製方法 手縫いで革小物を制作する	復習：手縫い加工の復習	60分
12回 高橋	革の縫製方法 手縫いで革小物を制作する	復習：手縫い加工の復習	60分
13回 高橋	バッグの製図(1) 通しマチ (2)横マチ	復習：通しマチ、横マチ製図の確認	60分
14回 高橋	バッグの製図(3)底マチ	復習：底マチ、製図の確認	60分
15回 高橋	革用機械使用のテスト、 前期課題のフィードバック、ファイル提出	予習：ミシン、革漉き機の使用法、ファイルまとめ	60分

ファッションプロダクトデザイン

高橋 大夢、大場 有希子

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながる基礎科目である。

対象となるアイテムは多岐に渡る。特にバッグ・帽子・シューズ等のファッショングッズの果たす役割はとても重要である。それぞれの持つ基本的な機能・構造をよく理解し、バッグに加えて靴・帽子のデザインと制作を行う。バッグ・靴・帽子には多くの作業工程があり、デザイン画から制作までの基本的な流れを把握し、実物の完成までを学ぶ。徹底的なリサーチを行い、自らが所有し使ってみたいと感じると同時に一般ユーザーを更に満足させることを心がけデザインを考案する事を方針とする。

到達目標 (学修成果)

初期のデザインイメージを、プロセスを通し発展させ、最終案に至るまでの流れを確認し、デザインの役割と物作りの意味を認識できる能力を修得する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法
プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

『鞆・ハンドバッグ・小物』(社団法人日本皮革産業連合会)

『レザーソムリエ資格試験公式テキスト』(日本革類卸売事業協同組合)

参考文献

BAG DESIGN -A HANDBOOK FOR ACCESSORIES DESIGNERS (FASHIONARY)

工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00~14:00 【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

1~10回はバッグ制作、色彩講座(担当教員：高橋)11~15回は帽子制作(担当教員：大場)である。

ファッション色彩検定3級を受験する。

東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 デザイン考案、紙モック	予習：バッグのデザイン画を描く	60分
2回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 デザイン考案、紙モック、製図	復習：デザイン画、紙モックを完成させる	60分
3回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 製図、型紙、裁断	復習：時間内に終了できなかったものを次回までに完成させておく	60分
4回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 裁断、組み立て	予習：革、生地を準備する	60分
5回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 組み立て、縫製	復習：裁断した生地の確認、組み立て方、縫製の確認	60分
6回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 組み立て、縫製	復習：組み立て方、縫製の確認	60分
7回 高橋	ファッション色彩検定試験対策講座	予習：試験対策としてテキストを熟読する	60分
8回 高橋	ファッション色彩検定試験対策講座	予習：試験対策としてテキストを熟読する	60分
9回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 組み立て、縫製	復習：組み立て方、縫製の確認	60分
10回 高橋	芯材を使用するバッグ制作 組み立て、縫製、仕上げ	復習：完成した作品の写真を撮る	60分
11回 大場	ガイダンス(帽子) 種類・素材・歴史について	復習：種類や素材・歴史について確認する	60分
12回 大場	パターン作成 1枚の紙から帽子らしい立体の形を作成	復習：時間内に終了できなかった物を次回までに完成	60分
13回 大場	パターン作成 立体になった紙からパターン作成縫製 生地を裁断	復習：帽子のパターンを完成	60分
14回 大場	縫製 仕上げ	復習：遅れている作業をすすめ帽子を完成 予習：プレゼンテーションの準備	60分
15回 大場	プレゼンテーション 帽子、レザートートバッグの作品 講評	復習：修正の確認	60分

デザインプロセス

肉丸 美香子

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

デザインするということはアイデアやその概念を視覚可能な具体的な用途を持った形にするプロセスである。デザインは色や形により視覚的な美しさや魅力を追求すると共に、ユーザーのニーズや欲求を満たす機能的な要素を考慮することは極めて重要である。その為には、創造性、派生するさまざまな問題を解決する能力なども必要となる。ここではファッションプロダクト製品の中からアイテムを決めムードボードの作成など、より高いレベルのデザインを生み出す方法を学ぶ。まずはアイデアスケッチやワイヤーフレームなどを作成しながらデザインの方向性を確認する。各段階を踏まえ効率的にデザインプロセスを進めていく。

到達目標 (学修成果)

プロセスを踏まえてデザインしていくことにより、計画的なデザインを考えていく力が可能になる。そして自らの考えを他者に伝えるコミュニケーション能力、プレゼンテーション力が大きく飛躍する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で必ずフィードバックを行う

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜プリントを配布

参考文献

授業内で紹介する

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日 13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

東京レザフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス デザインプロセスの概要と重要性について デザイン画の描き方 (バッグ)	(復習)バッグのデザインスケッチ	30分
2回 肉丸	<テーマとコンセプトについて> デザイン画の描き方 (帽子)	(復習)帽子のデザインスケッチ	30分
3回 肉丸	テーマとコンセプトの設定について ディスカッション ・テーマの選定(ファッショングッズの中から)	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
4回 肉丸	コンセプトの作成(テーマをもとに自由にアイデア出す) ディスカッション	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
5回 肉丸	コンセプトの作成(テーマをもとに自由にアイデア出す) ディスカッション	(予習)店頭リサーチをしてくる	60分
6回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ デザインスケッチ ディスカッション	(予習)スケッチ案を進めてくる	60分
7回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ デザインスケッチ ディスカッション	(予習)モデル作成を進めてくる	60分
8回 肉丸	コンセプトをわかりやすく伝えるためのスケッチ デザインスケッチ ディスカッション	(復習)時間内に終わらなかったモデルを作成する	60分
9回 肉丸	プレゼンテーションの準備 PowerPoint	(予習)プレゼンテーション案を考えてくる	60分
10回 肉丸	プレゼンテーションの準備 PowerPoint	(予習)プレゼンテーションの作成	60分
11回 肉丸	プレゼンテーション PowerPoint フィードバック	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
12回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成 テーマ・コンセプト ディスカッション	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
13回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成 テーマ・コンセプト ディスカッション	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
14回 肉丸	自由課題 ポートフォリオの作成	(予習)自由課題のテーマ・コンセプトを進めてくる	60分
15回 肉丸	プレゼンテーション ポートフォリオの提出 フィードバック PowerPoint	(復習)作品を振り返る	60分

アクセサリデザイン

土方 祥典

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

本授業では、ロストワックス製法を用いて、オリジナルデザインのアクセサリ制作、発表までを行う。授業はジュエリーメーカーで行われる製品開発に近い形で行い、デザイン、立体造形、製品開発の視点を学習する。シルバーアクセサリの加工、研磨から金属素材への理解を深め、ワックス制作では直感敵に立体造形を学びながらモノづくりの魅力を探求することで、アクセサリ制作についての知識と技術を習得する。

到達目標 (学修成果)

「ふわっとした」「すっきりした」など造形物を表現する上でよく使われる抽象的表現を、実際に手を動かしながら考え、学ぶことで、動画などでは得られない、ロストワックス製法によるアクセサリ制作の“知識”“技術”“感覚”を身に着けることが出来る。また、製品開発の中で実際の製品がどう出来上がってくるのか、製品の意図を読み取る力を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業要件単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品発表及びプレゼンテーションに対して、講評という形でフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業資料を作成する。

参考文献

授業時に適宜指示する。

オフィスアワー・研究室

初回の授業でお知らせいたします。

備考

成績表について 提出課題、プレゼンテーション、授業姿勢(欠席、遅行を含む)を重要視する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 土方	ガイダンス 1.WAXの特徴と作業工程説明 2.デザイン面談	予習：デザイン案を描いてくる。	60分
2回 土方	実物制作a WAXでの原型制作(ペンダントヘッド) ○切り出し 荒削り(大まかなフォルムを作る)	予習：WAX加工の資料を確認する。	30分
3回 土方	実物制作a WAXでの原型制作(ペンダントヘッド) ○荒削り 中削り(細かいディテールを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
4回 土方	実物制作a WAXでの原型制作(ペンダントヘッド) ○中削り 仕上げ(表面を滑らかにする)	予習：金属加工の資料を確認する。	30分
5回 土方	実物制作a シルバー磨き工程(ペンダントヘッド) ○鑄造されたペンダントヘッドを磨く	予習：リングデザイン案を描いてくる。	60分
6回 土方	デザイン面談 ○リングデザイン画作成、リングデザインを決める。	予習：ペンダントヘッドのWAX加工を振り返る。	30分
7回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○粗削り(大まかなフォルムを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
8回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○粗削り(大まかなフォルムを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
9回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○中削り(細かいディテールを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
10回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○中削り(細かいディテールを作る)	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
11回 土方	実物制作b WAXでの原型制作(リング) ○仕上げ(表面を滑らかにする)	予習：ペンダントヘッドの金属加工を振り返る。	30分
12回 土方	実物制作b シルバー加工工程(リング) ○サイズ調整 各自必要な細工を施す。	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
13回 土方	実物制作b シルバー磨き工程(リング) ○リングを磨く	復習：前回までの振り返りと、この先の工程を確認する。	30分
14回 土方	実物制作b シルバー磨き工程(リング) ○リングを磨く	予習：プレゼンテーションの準備を行う。	90分
15回 土方	プレゼンテーション(フィードバック) 課題作品における講評を行う。	復習：プレゼンテーションの振り返りを行う。	30分

デジタルデザインワーク

金井 学

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

一般にコンピュータのソフトウェアは、対象データを特定の論理に従って処理する機能を提供する「道具」として設計されています。それゆえ、この道具の使い方を学ぶことは、同時に道具や機能がそのように設計されるに至った「ものごとの考え方」を学ぶことでもあるはずですが。この授業では、グラフィカルなデザイン表現（画像の描画や編集）を行うための一般的なソフトウェアであるAdobe Illustrator、Photoshop及びLightroomの使い方を学ぶことを通して、それらのソフトウェアが立脚している「デザイン」という行為を支える「ものごとの考え方」を理解し、自ら実践していくための力を身につけることを目指します。

到達目標（学修成果）

- (1) Adobe Illustrator、Photoshop、Lightroomの基本的な操作方法を習得すること。
 - (2) 上記のソフトウェアの操作方法を学ぶことを通して、「デザイン」という行為の意味と論理を理解すること。
 - (3) (2) の理解に基づき、身の回りのデザインされたもの（レイアウトされたもの/設計されたもの）の意味や意図を読み取れるようになると同時に、自ら意味や意図を視覚的にデザインする（レイアウトする/設計する）ための基礎的な力を身につけること
- 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

備考

履修者の人数、興味関心、理解度によって授業計画を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 金井	前期ガイダンス（前期授業内容の確認、自己紹介など）	復習：授業内容の確認	30分
2回 金井	メディア・リテラシー1（Webツールの使い方について）	復習：各種サービスの使い方、自分に合ったツールを見つける	60分
3回 金井	Adobe IllustratorとPhotoshopの基本概念	復習：各ソフトウェアの考え方の復習	60分
4回 金井	写真の基礎知識	復習：写真とカメラの技術と仕組みの復習	60分
5回 金井	写真の基礎演習1	復習：RAW現像、レタッチの操作方法の復習	60分
6回 金井	写真の基礎演習2	復習：レイヤーマスクと画像の合成方法の復習	60分
7回 金井	素材を加工する4：レイアウトの基礎知識	復習：Illustratorの基本操作	60分
8回 金井	素材を加工する5：文字と文字組み	復習：Illustratorの基本操作	60分
9回 金井	レイアウト演習1	復習：Illustratorの基本操作	60分
10回 金井	レイアウト演習2	復習：Illustratorの基本操作	60分
11回 金井	前期末制作1 [課題発表/制作]	復習：課題に対して各自テーマを考える/エスキス（下図）を作る	60分
12回 金井	前期末制作2 [制作]	復習：素材を作る/素材を集める	120分
13回 金井	前期末制作3 [制作]	復習：制作を進める	120分
14回 金井	前期末制作4 [制作]	復習：制作を進める/作品提出の準備	120分
15回 金井	前期末課題提出・発表と講評	予習：発表の準備	30分

デジタルデザインワーク

金井 学

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

この授業では、前期の「デジタルデザインワーク」で学習した内容の発展として、Adobe Illustratorの発展的/応用的な操作方法（図形描画）を学びます。その上で、Adobe InDesignの操作方法を学ぶことを通してエディトリアル・デザインの考え方を理解し、実践するための力を身につけることを目指します。

到達目標（学修成果）

- (1) Adobe Illustratorの応用的な操作方法、及びInDesignの基本的な操作方法を習得すること。
 - (2) 上記のソフトウェアの操作方法を学ぶことを通して、エディトリアル・デザインの意味と論理を理解すること。
 - (3) (2)の理解に基づき、身の回りのデザインされたもの（レイアウトされたもの/設計されたもの）の意味や意図を読み取れるようになると同時に、自ら意味や意図を視覚的にデザインする（レイアウトする/設計する）ための基礎的な力を身につけること
- 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

備考

履修者の人数、興味関心、理解度によって授業計画を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 金井	後期ガイダンス（前期の復習）	復習：前期の授業何用の復習/後期授業内容の確認	30分
2回 金井	連続模様/パターンをつくる	復習：反復するパターンの制作/Illustratorの応用	60分
3回 金井	ロゴをつくる1	復習：ロゴ制作の考え方/Illustratorの応用	60分
4回 金井	ロゴをつくる2	復習：ロゴ制作の考え方/Illustratorの応用	60分
5回 金井	ロゴをつくる3	復習：ロゴ制作の考え方/Illustratorの応用	60分
6回 金井	ZINEを作る1：ZINEとは？（何のZINEを作るか考える）	復習：ZINEのテーマを考える	120分
7回 金井	ZINEを作る2：どんな素材が必要か？（ページの計画）	復習：台割表をつくる	120分
8回 金井	ZINEを作る3：素材をつくる（原稿・画像の制作と加工）	復習：原稿を書く・写真を撮る・イラストを描く	120分
9回 金井	ZINEを作る4：ルールをつくる（フォーマットをつくる）	復習：ページを設計する	120分
10回 金井	ZINEを作る5：レイアウトする	復習：InDesign上で素材を配置する	120分
11回 金井	ZINEを作る6：各自制作	復習：制作を進める	120分
12回 金井	ZINEを作る7：各自制作	復習：制作を進める	120分
13回 金井	ZINEを作る8：各自制作	復習：制作を進める	120分
14回 金井	ZINEを作る9：印刷と製本	復習：印刷して製本する	120分
15回 金井	前期末課題提出・発表と講評	予習：発表の準備	30分

プロダクトデザイン演習

大塚 武司

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコース専門課程につながるデザイン基礎科目です。3年前期のプロダクトデザイン演習 と通じて、平面 / 立体デザイン作品の制作演習を行います。この授業では企業でのプロダクトデザイン、商品企画、店頭展示企画、自身の作品制作・発表などの業務実績のある担当教員の経験を活かし、デザインの方法（発想・展開・定着・表現・伝達）を演習を通じて習得します。またアイデア発想の訓練をワークショップ形式で行います。

到達目標（学修成果）

学生はこの科目を履修し目標を達成すれば、発想の柔軟性、オリジナル性高いデザイン力を身に付けることができ、プレゼンテーション力、コミュニケーション力も鍛えられ、プロダクトデザインにおいて必要な知識が身につきます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目です。プロダクトデザインコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題ごとに作品を採点・講評会を実施。

講評会にて各自のコンセプトを発表してもらい学生間でディスカッション、講師のコメントをフィードバックします。

授業時間外の質問は、Eメールにて受け付けます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布

参考文献

適宜紹介

オフィスアワー・研究室

授業前後は3 4 1 3または講師控室。それ以外は教務課まで連絡してください。

備考

制作に必要な画材、制作用具、筆記用具などはガイダンスにて指示しますので、各自で準備してください。

進度により課題内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 大塚	授業ガイダンス / デザインの基礎的考察と著作権の解説。小課題の実施。	予習：本授業内容の確認 復習：著作に関する注意事項の復習	30分
2回 大塚	デザイン基礎プログラム オリジナルフォントとDVDジャケットデザイン演習 / 提出	予習：課題内容の確認 復習：オリジナルアイデアについての再考	30分
3回 大塚	デザイン基礎プログラム 缶飲料のラベルデザイン演習 / 提出	予習：課題内容の確認 復習：構造上のデザイン特性の再考	30分
4回 大塚	デザイン基礎プログラム 立体カードの制作 / 提出	予習：課題内容の確認 復習：立体構造について再考	30分
5回 大塚	デザイン基礎プログラム講評 提出作品のプレゼンテーション。 ディスカッションと教員の講評を行う。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
6回 大塚	発想力強化プログラム 個人で行う発想法の学習と演習。	予習：課題内容の確認 復習：発想法についての再考	30分
7回 大塚	発想力強化プログラム グループで行う発想法の学習と演習。	予習：課題内容の確認 復習：発想法についての再考	30分
8回 大塚	デザイン基礎プログラム ケント紙による多面体立体造形の制作。	予習：課題内容の確認 復習：多面体構造の再考	30分
9回 大塚	デザイン基礎プログラム 多面体立体造形のプレゼンテーションとディスカッション。教員による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
10回 大塚	デザイン実践プログラム - 包装紙をイメージしたコラージュ作品の制作。	予習：課題内容の確認 復習：制作作品についての再考	30分
11回 大塚	デザイン実践プログラム - コラージュ作品を包装紙に見立て梱包の検証・プレゼンテーション。教員による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容についての再考	30分
12回 大塚	デザイン実践プログラム - ランプシェードの制作。アイデア検討。	予習：課題内容の確認 復習：ランプシェードについての再考	30分
13回 大塚	デザイン実践プログラム - ランプシェードの制作（ブラッシュアップ）。	予習：制作中のアイデアの見直し 復習：制作作品の構造とデザインの確認	30分
14回 大塚	デザイン実践プログラム - 作品提出とディスカッション。および講評。	予習：制作中の作品のブラッシュアップ 復習：提出作品について再考	30分
15回 大塚	プロダクトデザイン演習 総評まとめ。 小課題と解説	復習：講評内容の復習と、今期提出作品の振り返り。 今後の活かし方の考察を行う。	30分

3DCADプロダクト

白木 ゆみ香

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

この授業では、立体物をデザイン(プロダクトデザイン)するにあたり必要不可欠な、3次元CADによる形状の作成やモデリング、その表現法を学びます。まずは3D空間でのオブジェクトの位置関係を理解するところからはじめ、三面図作成とその立体化を研究します。3Dデータをモデリングすることにより、360度どの角度からでも形状を確認でき、素材感や背景等もよりリアルに表現することが出来ます。

使用ソフトはRhinceros, Key Shot ,Photoshop, Power Point 等。

到達目標(学修成果)

3DCADによる基本操作の理解と、デザインしたものを図面化し立体の造形物を作成、それをモデリングができるまでの力を身につけ、構想力を強化します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションプロダクトコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッションやプロダクト業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

作品課題の提出は、デスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。

期末試験はなし。プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じてプリント配布。

参考文献

Rhino6入門 是枝靖久著 ラトルズ発行。

Rhinceros 逆引きコマンドリファレンス 中島淳雄監修 株式会社アブリクラフト著 ラトルズ発行

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室(研究棟1F)

備考

進捗により、日程および内容の変更あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 白木	3次元CADとは?どんなものが作れるか? <Rhinceros>基本的な画面操作。	予習:シラパスを読む。	30分
2回 白木	座標入力による三面図作成と、その立体化。オブジェクトの選択と移動。	復習:ノートの整理。	30分
3回 白木	曲線、コーナー指定、ソリッド、平面曲線を押し出し、エッジをフィレット。	復習:ノートの整理。	30分
4回 白木	制御点指定、スナップ、回転サーフェス等。	復習:ノートの整理。	30分
5回 白木	ブール演算、正確な距離の移動、インポート、グループ化。	復習:ノートの整理。	30分
6回 白木	ロフトサーフェスの作成、曲線を使ったサーフェスのトリム。	復習:ノートの整理。	30分
7回 白木	パイプ形状、平面曲線によるサーフェス、1ルールスイープ等。	復習:ノートの整理。	30分
8回 白木	ミラー、結合、サーフェスのオフセット、ブレンド、2ルールスイープ	復習:ノートの整理。	30分
9回 白木	シンプルな椅子のモデリング。	復習:ノートの整理。	30分
10回 白木	デザイン作成~三面図作成~3DCADによるモデリングまでの一連の動作を実践して作品を製作	予習:デザイン案のラフスケッチ用意。	60分
11回 白木	デザイン作成~三面図作成~3DCADによるモデリングまでの一連の動作を実践して作品を製作	予習:デザイン案のラフ図面用意。	60分
12回 白木	デザイン作成~三面図作成~3DCADによるモデリングまでの一連の動作を実践して作品を製作	予習:はめ込み用素材画像の準備	60分
13回 白木	デザインした立体物をKey Shotにてモデリング。プレゼン資料の作成。	予習:素材画像、プレゼンテーション資料の準備。	60分
14回 白木	デザインした立体物をKey Shotにてモデリング。プレゼン資料の作成。	予習:素材画像、プレゼンテーション資料の準備。	60分
15回 白木	作品のプレゼンテーション。講評。ポートフォリオの提出。	予習:プレゼン準備	60分

消費者行動論

山中 健

服飾学科 マネジメントコース・イノベーションコース 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

消費者行動に関わる基本的な概念を紹介するとともに、消費者行動の諸理論をマーケティング活動へ展開する実践方法について講師が具体的に示します。それらの手法を理解し、活用できるようになることを本講義の方針とします。

到達目標 (学修成果)

消費者行動の基本的な概念を把握 (消費者ニーズ・買い物行動・購買意思決定等)
消費者行動に基づくマーケティング活動への展開方法を把握

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目の単位となります。ファッションビジネス系学生の共通必修で、ファッションビジネスを理解し、応用する理論の基礎力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内試験については、解説付きの正答を配布します。最終プレゼンテーションについては口頭フィードバックを致します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

配布PDF

参考文献

なし。

オフィスアワー・研究室

研究室での待機はしておりませんので、ご質問・ご相談はメールにてご連絡ください。

備考

なし。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 山中	ガイダンス・ファッションと消費者行動の概要	資料を読み復習する	30分
2回 山中	ファッション消費における自己表現とアイデンティティ	資料を読み復習する	30分
3回 山中	トレンド発生モデルと事例	資料を読み復習する	30分
4回 山中	日本における消費者意識と変化	資料を読み復習する	30分
5回 山中	ウェルビーイングと消費者行動の変化	資料を読み復習する	30分
6回 山中	DXと消費者意識の変化	資料を読み復習する	30分
7回 山中	グローバル分断と消費者意識の変化	資料を読み復習する	30分
8回 山中	ラグジュアリーマーケットでの事例研究	資料を読み復習する	30分
9回 山中	ミッドマーケットでの事例研究	資料を読み復習する	30分
10回 山中	スリフトマーケットでの事例研究	資料を読み復習する	30分
11回 山中	事例研究まとめ	資料を読み復習する	30分
12回 山中	ワークショップ 自世代インサイト マイクロトレンド	グループ別プレゼンテーションに向けた準備	50分
13回 山中	ワークショップ 自世代インサイト ウェルビーイング	グループ別プレゼンテーションに向けた準備	60分
14回 山中	ワークショップ 自世代インサイト DX	グループ別プレゼンテーションに向けた準備	50分
15回 山中	グループ別プレゼンテーション	講師のフィードバックを確認する	30分

ビジネスプレゼンテーション技法

水越 綾

服飾学科 マネジメントコース・イノベーションコース 2年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

企画、MD（製品・商品計画）、マーケティング等のビジネス分野において、意図を的確に伝えるプレゼンテーション能力は重要です。本授業では、企画立案から資料作成、発表、フィードバック、再構築までの一連のプロセスを通して、実践的なプレゼンテーション技法を学びます。1年次の情報演習 で修得した基礎的なアプリケーションスキルを基盤とし、論理性と視認性を備えた資料構成力の向上を図ります。加えて、生成AIを発想支援の補助的ツールとして活用し、人・AI・自己という複数の視点から企画を検討することで、批判的思考力と伝える力の育成を目指します。

到達目標（学修成果）

本授業を通じて、履修者は以下の能力を身につける。1.1年次に修得したアプリケーションスキルを活用し、目的やターゲットに応じたプレゼンテーション資料を作成できる。2.企画内容を論理的に整理し、情報を視覚的に分かりやすく可視化できる。3.他者および生成AIからのフィードバックを批判的に検討し、企画内容や表現の改善に反映できる。4.著作権や情報倫理に配慮し、デジタルツールを適切に活用しながら、意図を的確に伝えるプレゼンテーションを実践できる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目はビジネスコースの必修科目であり、卒業要件科目として位置づけられている。企画内容を的確に伝える表現力や、情報を批判的に扱い判断する力を養うことで、本学の卒業認定・学位授与の方針に掲げる主体性、創造力、課題解決力の育成に資する科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

フィードバックは授業内口頭（個別・全体）・学内システム（キャンパスマジック）を使用して行なう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

参考文献：伝わるデザインの基本（技術評論社） なるほどデザイン（Mdn）、1年次の情報演習 で配布した資料を持参する事を勧める。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては、第1回目の授業で指示する。研究室：研究棟1階6012B

備考

データ保存用のUSBメモリまたはクラウドストレージを各自用意しておくこと。授業内容は進行状況により前後する可能性があるが、その際は事前に周知する。連絡事項はキャンパスマジックを通じて行うため、常に確認すること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 水越	オリエンテーション、課題スケジュール確認、Photoshop基本操作、プロジェクトルーブリックの理解	予習：1年次の学修内容の整理（PC操作・ファッション・ビジネス全般）	90分
2回 水越	Photoshop基本操作、Illustrator基本操作、企画案提出	課題：企画書作成、ターゲットインタビュー実施	90分
3回 水越	Illustrator基本操作、生成AIの仕組みと利点・リスク、著作権と倫理、白書を基にした国内外の活用状況理解	予習：提示資料の確認、課題：AIガイドライン理解、ターゲットインタビュー実施	90分
4回 水越	生成AI活用（プロンプト設計・対話・修正）、ターゲットインタビューおよびAIフィードバックを踏まえた企画案の再構築	課題：素材収集、企画案の見直し	90分
5回 水越	企画のための制作（ビジュアル構築） イメージコラージュ（Photoshop）	課題：制作を進める、ファッション画（手描き・線画）準備	90分
6回 水越	企画のための制作（ビジュアル構築） イメージコラージュ（Photoshop）	課題：制作を進める、ファッション画（手描き・線画）準備	90分
7回 水越	企画のための制作（アイテム表現） ファッションイメージ（Photoshop）	課題：制作を進める、ハンガーイラスト（手描き・線画）準備	90分
8回 水越	企画のための制作（アイテム表現） ファッションイメージ（Photoshop）	課題：制作を進める、ハンガーイラスト（手描き・線画）準備	90分
9回 水越	企画のための制作（アイテム可視化） ハンガーイラスト（Illustrator）	課題：制作を進める、ブランドロゴ（手描き・線画）準備	90分
10回 水越	企画のための制作（アイテム可視化） ハンガーイラスト（Illustrator）	課題：制作を進める、ブランドロゴ（手描き・線画）準備	90分
11回 水越	企画のための制作（ブランド表現） ブランドロゴ（Illustrator）	課題：制作を進める	90分
12回 水越	企画のための制作（ブランド表現） ブランドロゴ（Illustrator）	課題：制作を進める	90分
13回 水越	プレゼンテーションルーブリック理解、「伝わる」プレゼンテーションの要点、プレゼン資料制作（PowerPoint）	予習：指定資料の確認 課題：プレゼン資料制作	90分
14回 水越	プレゼン資料制作（PowerPoint）	課題：資料完成および発表準備	90分
15回 水越	課題発表と振り返り（ピアフィードバック実施、自己省察と改善点整理）	予習：発表準備 課題：リフレクションシート作成	90分

グローバルマネジメント論

田中 康寛

服飾学科 マネジメントコース・イノベーションコース 2年 後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

この講座では、グローバル経営を「データを意思決定の設計問題」として、捉えて進めていきます。なぜならば国内経営との最大の違いは不確実性の大きさと考えているからです。そのために、AIとデータがいかに必要か、どのように活用するかを説明していきます。

到達目標 (学修成果)

グローバル経営、国内経営を加えて考えをまとめていきます。そして、未来の経営像を各自が想定することを目標にします。各自の言葉で作り上げるようにします

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この講座は、新たな考え方も含め、斬新な考え方を多く含めながら、学んでいきます。そのため、講義内で発言をすることで理解の深める、復習に多くの時間を割き、理解を深めることが重要です。平常時試験もその延長線上に存在します。特に自分の言葉で説明できることを常に意識していきます。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

試験に関して全体でのレクチャーと個人へのレクチャーを行います

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

毎回資料を送付します。それをもとに講義を行います。

参考文献

国際経営 第5版 有斐閣アルマ
 ホワイトカーの人材育成 東洋経済
 オフィスアワー・研究室
 講師控室に在籍

備考

常に学んだことを自分の言葉で説明できるようにします。暗記すべき事項もありますが、各自の言葉で説明する、そのための理解を行うことを第一に予習復習などを行うようにします。また、講義内のみならず、普段の経済記事なども意識してみるようにします。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 田中	グローバル経営とは何か	今国内経営ではダメかを整理	85分
2回 田中	世界市場の構造	経済圏を整理	50分
3回 田中	多国籍企業のビジネスモデル UNIQLO、Apple、AMAZONを例とします	講義での3社のビジネスモデルを整理	60分
4回 田中	文化と組織の違い	日本企業が海外で失敗する要素を理解	50分
5回 田中	グローバル戦略の基本	集中 VS分散、標準化VS現地化などを軸に整理 各自レポートを作成、提出	70分
6回 田中	グローバル競争優位の作り方	価格、ブランド、技術、データなどを軸に整理	60分
7回 田中	AIが変えるグローバル経営	なぜAIが武器になるかを整理します	70分
8回 田中	データサイエンスの役割	AIも一部であるデータサイエンスの役割を整理 します	60分
9回 田中	AIによる市場予測と需要予測	Amazonなどの事例を使い整理します	80分
10回 田中	AIによる顧客理解	CDP、レコメンドなどから整理します	80分
11回 田中	グローバルSCMとAI	Apple、トヨタの事例から整理します	80分
12回 田中	AI時代の組織マネジメント	人がどのように活動する企業が求められるか整理 します	80分
13回 田中	日本企業のグローバル敗因 テスト2回目	グローバル化が成功しなかった例をもとにその 要因を考えます	75分
14回 田中	AIを活用したグローバル戦略	事例をもとに整理します	80分
15回 田中	未来のグローバル経営	未来に向けて各自の考えを整理します	80分

流通イノベーション論

山中 健

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業は、メディアを構築し、ファッション分野の学びや実践を社会に発信する演習科目です。想定読者に向けて、企画・取材・ライティング・編集を行う。「メゾンAI」を活用しながら、AI時代に求められる編集力と発信力を実践的に身につけます。Shopifyを用いて段階的に公開し、制作から発信までを体験的に学んでいきます。

到達目標 (学修成果)

AIを活用したコンテンツ制作手法とShopifyの立ち上げ方法を習得し、新たなスタイルのデジタルメディアを開発及び運営を行うことを目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で個人、チームごとに口頭でフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特になし

参考文献

授業内で提示します

オフィスアワー・研究室

メールにて対応します。

備考

PCを使用します

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	レクチャー プロジェクトスケジュール説明	配布資料を確認する	30分
2回 山中	ユーザーペルソナ作成 AIを使用してペルソナを作成する	配布資料を確認する	30分
3回 山中	コンセプトワーク サイトマップ作成・競合サイトの事例研究	ピッチ用資料を作成する	60分
4回 山中	作成したサイトマップをピッチ形式で発表	フィードバックを確認する	30分
5回 山中	Shopifyの構造理解	資料を読んで復習する	30分
6回 山中	取材設計	取材テーマを考える	30分
7回 山中	Shopify構造設計実装 記事をアップロードする	記事テーマを考える	45分
8回 山中	記事制作 初稿執筆、AIによる推敲	記事テーマを考える	45分
9回 山中	記事制作	記事テーマを考える	45分
10回 山中	SNS運用について	資料を読んで復習する	30分
11回 山中	記事制作・入稿・SNS投稿	次の記事テーマを考える	45分
12回 山中	記事制作・入稿・SNS投稿	次の記事テーマを考える	45分
13回 山中	記事制作・入稿・SNS投稿	次の記事テーマを考える	45分
14回 山中	記事制作・入稿・SNS投稿	レビューを作成する	100分
15回 五月女	総括 レビューおよび今後の提案発表	フィードバックを確認する	30分

ファッションエディトリアル

千代崎 寛

服飾学科 マネジメントコース・イノベーションコース 2年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションビジネスの場において情報を伝達するための方法、考え方を「エディトリアル(編集)デザイン」の視点から学んでいく。イメージを得るための撮影から編集を経て最終プロセスまでを段階ごとに確認・検証しながら進めていく。ルックブックやカタログなどの制作を編集デザインのワークフローから学び、他のメディアへの応用を通じてコミュニケーションとメッセージ表現のアプローチと方法を探る。編集段階での知的財産権(引用・クレジットなど)の考え方をグラフィックデザインの技術(レイアウト)から実践していく。

到達目標(学修成果)

1. ビジュアルイメージを具体化するための基礎的な「表現能力」を身に付けることが可能となる
2. 制作とプレゼンテーションを通して「つたえる・つたわる」関係の重要性について考察や理解ができる
3. デジタル制作環境・ネットワーク環境の基礎的な理解と活用する「術」を身に付けることが可能となる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門必修科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「ファッションエディトリアル」はファッションビジネスの企画・提案や流通の場において活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

グループごとのディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布する。

オフィスアワー・研究室

第1回目の授業で指示する。研究室：先端ファッション表現研究室(目黒校舎研究棟3F)

備考

表出されるイメージは過去にみた「もの・こと」からのみ産み出される。イメージをOutputし続けるためには常にInputし続ける必要がある。その円環する環境・システムを自分の中に構築して欲しい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・授業概説と導入 エディトリアルデザインについて～(メディアリテラシー)	復習：カリキュラム表・プリントの内容を熟読しておく。	30分
2回 千代崎	エディトリアルデザイン(編集デザイン) DTP演習 「DTPのワークフロー」レイアウトと出力	予習：リサーチや進行に必要なリソースの収集・準備など	60分
3回 千代崎	DTP演習 データ管理における配慮について レイヤー、チャンネル、パスのテクニック	予習：画像撮影のための準備、スタイリングとロケーションプランの準備	90分
4回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編 (ロケ屋内・外) 撮影現場における配慮について	予習：撮影後のコンタクトシートによる選定とスタジオ撮影プランの準備	60分
5回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編 編集における配慮について	予習：撮影後のコンタクトシートによる選定とスタジオ撮影プランの準備	30分
6回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編 (ロケ屋内・外) プライバシー・肖像権について	予習：レイアウト資料の作成と準備	60分
7回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編 知的財産権の考え方・著作権の表記について	予習：中間プレゼンテーションをもとにプランを練り上げる	60分
8回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編 (ロケ屋内・外) 中間プレゼンテーション	予習：中間プレゼンテーションをもとにプランを練り上げる	30分
9回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編 【テーマ2】制作	予習：プランに沿った制作と確認・検証	30分
10回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 編集編	予習：プランに沿った制作と確認・検証	30分
11回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 撮影編(予備) 完成データ出力と製本	予習：様々なメディア表現のリサーチ	60分
12回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 メディア表現・デザインのワークフロー	予習：プランに沿ったメディア表現の制作と確認・検証	60分
13回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 【テーマ2】制作	予習：テーマ1・2プレゼンテーションのための準備	30分
14回 千代崎	【テーマ1】ルックブック制作 表現・公開・出版 【テーマ2】制作	予習：制作ノート提出のための準備	120分
15回 千代崎	まとめ・展開 テーマ1・2プレゼンテーションと講評	復習：まとめと考察	60分

ファッションマーケティング論

岩佐 彰則

服飾学科 マネジメントコース・イノベーションコース 2年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

モノが売れないといわれる現代において、マーケティングの重要性は一層増しています。アパレル業界において、大小様々な企業で事業を立ち上げ、経営に携わってきた実務家の視点で、ファッションビジネスにおけるマーケティングを論理的、かつ実践的に学んでいきます

到達目標 (学修成果)

マーケティングの面白さを知ってもらい、常に経営視点でのマーケティング思考を身につけることで、変化の激しいファッション業界をリードし、アントレプレナーとして、新たな市場を創造できるようになることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス系コースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

講義毎にレポートを提出していただきます。フィードバックはmanabaで個別に回答させていただきます。講義は毎週、グループ討議でディスカッションしながら、理解を深めていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

石井淳蔵、他(2020)『1からのマーケティング<第4版>』碩学舎

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

講師控室 詳細は初回授業に連絡します

備考

日程及び内容は授業の進行具合に合わせて変更する事もあります

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 岩佐	イントロダクション：マーケティングとは？	課題【レポート提出】	30分
2回 岩佐	マーケティングのマネジメント__セグメント・ターゲティング	課題【レポート提出】	30分
3回 岩佐	マーケティングのマネジメント__ポジショニング	課題【レポート提出】	30分
4回 岩佐	マーケティングのマネジメント__製品	課題【レポート提出】	30分
5回 岩佐	マーケティングのマネジメント__価格	課題【レポート提出】	30分
6回 岩佐	マーケティングのマネジメント__広告	課題【レポート提出】	30分
7回 岩佐	マーケティングのマネジメント__チャンネル	課題【レポート提出】	30分
8回 岩佐	マーケティングのマネジメント__サプライチェーン、営業	課題【レポート提出】	30分
9回 岩佐	関係のマネジメント__顧客関係	課題【レポート提出】	30分
10回 岩佐	関係のマネジメント__ビジネスモデル	課題【レポート提出】	30分
11回 岩佐	関係のマネジメント__顧客理解	課題【レポート提出】	30分
12回 岩佐	関係のマネジメント__社会責任	課題【レポート提出】	30分
13回 岩佐	関係のマネジメント__ブランド組織	課題【レポート提出】	30分
14回 岩佐	関係のマネジメント__社会責任	課題【レポート提出】	30分
15回 岩佐	まとめ	なし	30分

プレゼミ (マネジメント)

鈴木 康久、長瀬 泰典、大極 勝、田中 康寛

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 2年 通年(前期) 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

本科目は3年次以降における専門性の高い科目受講に向けた基盤作りとしてファッションビジネスやマーチャンダイジングの基礎を修得出来ます。前期フェーズでは生活者の消費行動からマーチャンダイジングに至る過程を中心に学習していきます。授業内でグループによるディスカッションやディベート等のアクティブラーニングを活用した理解浸透を図っていきます。本科目運営は長年にわたる実務経験者である3人の教員のそれぞれの専門分野に即して、ファッションビジネスを川上～川下までの広域な学習領域を対象とした授業運営となります。(長瀬・生産関連、大極・アパレル企画、鈴木・リテール・生活者)

到達目標 (学修成果)

ファッション産業を取り巻く広範な分野について企業・団体・職種に対して体系的に知識習得が出来ます。業界実企業訪問や実務経験者のゲスト講師の来校等、臨場感があり、かつ実践的な業界理解を得られます。アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。上位学年で活用されるマーチャンダイジング関連の基礎知識の習得とプレゼン資料作りの一端が早期に習得できます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業要件科目の単位となります。この科目は総合的な学習基礎能力の醸成を目指し、加えてICT基礎学習やキャリアプラン学習を含めて実施します。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題に関しては、次回授業時の始めにフィードバックを行います。課題に対してグループワーク、ディベート等のアクティブラーニングを行い、グループ及び個人による発表があります。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

関係資料を毎回の授業時に配布

参考文献

尾原蓉子著グロ バライゼーションとデジタル革命から読み解くFashion Business 創造する未来

その他、授業進行に合わせて関連する参考文献を紹介しします

オフィスアワー・研究室

FBマネジメント教室〔3402教室〕にて授業前30分前待機

備考

- ・FB関連の実企業の実務者を通じ、その業界、企業ならではの視点で話をいただく予定です。
- ・毎回、配布する学習資料を持参してください。
- ・本科目運営は3人の講師によるオムニバス形式のカリキュラムとなります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴/田	全体ガイダンス、グループワーク キャリアプラン&自発的学習プラン策定	予習：シラバスの確認 復習：授業課題と配布資料振り返り	30分
2回 鈴/田	ファッションビジネス業界理解 川上～川下、職種理解、グループワーク	予習：職種調査 復習：配布プリントの振り返り	30分
3回 鈴/田	ICTの基礎学習 Googleプラットフォームのビジネスへの活用	予習：Googleアカウント確認 復習：フォーム作成と学習内容振り返り	40分
4回 鈴/田	CEM (Customer Experience Management) について CRMとCEMの違い	予習：前回は提示 復習：配布プリント振り返り	40分
5回 鈴/田	アパレル業界でCEMが重要な理由 CEM業務の具体的内容、AIを説明	予習：前回は展示 復習：配布プリント振り返り	30分
6回 長瀬	ECプラットフォームビジネスの仕組み (ZOZO 事業部長)	予習：シラバスの6～15回の確認 復習：仕組みを理解しプラットフォームの仕組みの違いを検証	40分
7回 長瀬	テレビショッピングビジネスの流れ (QVCビジネス関係者)	予習：業界関連企業と放映内容の確認 復習：仕組みを理解し、課題や対策を検証	40分
8回 長瀬	ファンマーケティングとグッズ販売の可能性 (ノベルティー作成会社)	予習：ファンマーケティングを考える 復習：グッズ販売の可能性をシュミレーション	40分
9回 長瀬	無人レジ・デジタルマーケティング技術の進化 (エブリデイデニソン (RFID) マネージャー)	予習：身近な無人レジの確認 復習：デジタル技術の進化と顧客目線の利便性を再考する	40分
10回 長瀬	海外貿易 (輸出入) の仕組みと業界との関係 (アリスベッドジャパン部長)	予習：身近な輸入商品の確認 復習：洋服がどのような仕組みで店頭までを到着したか検証	40分
11回 長瀬	商社の機能と海外マーケットの可能性 (元三菱商事繊維本部長)	予習：商社の事前学習 復習：業界全体を調査し、各商社の特徴や違いを検証する	40分
12回 長瀬	NPO・NGOビジネスからみたコットン業界 (コットンイニシアチブ協会)	予習：身近なコットン製品の確認 復習：コットン業界の課題や解決方法を考え整理する	40分
13回 長瀬	検品業界からみた二次流通業界の成長 (ファッションクロスフルシマ)	予習：身近な二次流通製品の確認 復習：成長する二次販売業界の変化を検証する	40分
14回 長瀬	欧州で進化するサーキュラーファッション (COVEROSフィンランド社)	予習：身近なサーキュラー製品の確認 復習：欧州と日本の違いを調査する	40分
15回 長瀬	SPA業界の成長と変化 (大手SPAアパレル事業部長)	予習：身近なSPA商品の確認 復習：SPAのメリットとデメリットを検証し、整理する	40分

プレゼミ (マネジメント)

鈴木 康久、長瀬 泰典、大極 勝、田中 康寛

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 2年 通年(後期) 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

本科目は3年次以降における専門性の高い科目受講に向けた基盤作りとしてファッションビジネスやマーチャンダイジングの基礎を修得出来ます。後期フェーズではファッションビジネスをキーワードに業界研究や企業訪問を通じた体験型学習を主に実施していき、更に授業内でグループによるディスカッションやディベート等のアクティブラーニングを活用した理解浸透を図っていきます。本科目運営は長年にわたる実務経験者である3人の教員のそれぞれの専門分野に即して、ファッションビジネスを川上～川下までの広域な学習による授業運営となります。(長瀬・生産関連、大極・アパレル企画、鈴木・リテール・生活者)

到達目標 (学修成果)

ファッション産業を取り巻く広範な分野について企業・団体・職種に対して体系的に知識習得が出来ます。業界実企業訪問や実務経験者のゲスト講師の来校等、臨場感があり、かつ実践的な業界理解を得られます。アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。上位学年で活用されるマーチャンダイジング関連の基礎知識の習得とプレゼン資料作成のポイントが習得できます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目であり、また卒業要件科目の単位となります。この科目は総合的な学習基礎能力の醸成を目指し、加えてICT基礎学習やキャリアプラン学習を含めて行います。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各回の企業訪問時間内に振り返りレポート提出。期末レポート提出後に掲示板にて総評によるフィードバック。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書なし。各回で担当企業ごとの参考資料を配布します。

参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

FBマネジメント教室〔3402教室〕にて授業前30分前待機

備考

- ・学外への企業訪問時は開始時刻が遅くなるために終了時刻が遅くなる可能性がありますのでご注意ください。
- ・授業の進行状況により、スケジュール及び授業順番や内容が変更される場合があります。
- ・科目運営は3人の講師によるオムニバス形式のカリキュラムとなります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴/田	後期ガイダンス、生活者変化考察・新顧客創造 市場調査、顧客ターゲット、ブランディング	予習：前期配布資料の読み込み 復習：配布プリントの振り返り	30分
2回 鈴/田	生活者変化考察・新顧客創造 グループワーク、ディベート、企画作り	予習：提示課題の取組み 復習：作成した企画プランの読み込み	40分
3回 鈴/田	CEMが生み出すキャリアパス CEM人材に求められる能力	予習：前回は配布 復習：配布プリントの振り返り	30分
4回 鈴/田	CEMと企業戦略の接続	予習：前回は配布 復習：配布プリントの振り返り	40分
5回 鈴/田	CEMと企業戦略の接続	予習：前回は配布 復習：配布プリントの振り返り	30分
6回 大極	教室：オリエンテーション=実社会で必要な知識のまとめ 第18回～22回の講座内容の総合学習	予習：シラバスの確認 復習：学内外を問わず、人との関わりや倫理観等について考える	40分
7回 大極	品質検査業務研究 (レリアン品質管理) 今日の品質検査のあり方について学ぶ	予習：品質管理を検索する 復習：品質検査業務とファッション産業の関連性を考える	40分
8回 大極	企画・制作業務研究 (ジャパンスコープ) 布帛製品からニットまで、その製作工程全般を学ぶ	予習：OEM・ODMを検索する 復習：アパレル産業の企画～製造を考える	40分
9回 大極	企画・制作業務研究 (トゥモローランド) 企画担当社によるアパレルマップ作成実習指導	予習：企業の事前学習 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 大極	化粧品業界研究 (企業訪問・Lebel化粧品) モードとヘアメイクの関係について	予習：企業研究 復習：化粧品業界とモードの関わりを考える	40分
11回 大極	内装、マネキン、什器業界研究(小田急百貨店) 業態としての百貨店業	予習：企業研究 復習：百貨店の歴史から今を考える	40分
12回 大極	リペア業務研究 (外資系企業訪問・パタゴニア)	予習：訪問企業の事前研究 復習：外資系アパレル産業の業務全般と環境保護を考える	40分
13回 大極	ニット・カットソー工房研究(小倉メリヤス) オリジナルカットソー制作実習	予習：身近なニット製品の確認 復習：ニットアパレル産業の業務全般を考える	40分
14回 大極	染色技術と商品差別化(内田染工) 染色の歴史とファッション製品への応用について学ぶ	予習：染色の種類の確認 復習：染色技術とファッションの関わりを考える	40分
15回 大極	教室：第8回～13回の復習と期末レポート指導	予習：該当回のレジュメ確認 復習：ファッション業界の今と未来の考察	40分

プレゼミ (イノベーション)

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 2年 通年(前期) 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

流通イノベーションコースの導入ゼミの位置づけです。株式会社ワールドとの産学連携プロジェクトを実施し、タケオキクチtkブランドのEC運営を実践的に学びます。前期はワールド社の実務担当者による講義とワークショップにより、ECの基本を理解します。オムニチャネル戦略、SNS運営、市場分析から、ブランドの成長余地(伸びしろ)の具体的な改善案と提案を目標とし、後期のサンプル作りとEC販売に繋がります。ECに必須のSNS運営、TikTok投稿などデジタルマーケティングも学修します。平行して、コース専門の技術として生成AI「Maison AI」の使い方の基礎を修得し、コース3年間で活用できるようにします。

到達目標 (学修成果)

アパレル企業で今後さらに成長するEC運営を、アパレル業界のプロから学び基礎を固めることができます。ファッションビジネスのECやAI、デジタルマーケティングの理解、3年からのEC実践授業に繋がります。リアルとデジタル双方でのオムニチャネル販売を理解できる成果として「ファッション販売能力検定」に合格するための知識を習得します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス・流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作成データは学内のポートフォリオに提出します。株式会社ワールドとの産学連携により、ワークショップのグループ活動、個人の取り組みを企業側からフィードバックしてもらいます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

特になし

参考文献

「ファッション販売3・ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」日本ファッション教育振興協会

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(第3校舎3207教室)ファッションビジネス・流通イノベーション研究室(第3校舎3300室)

備考

外部講師の予定により、授業内容の順番変更があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	オリエンテーション 自己紹介 流通イノベーションコースの説明、興味関心の情報共有	予習: シラバスを読む。	30分
2回 五月女	昨今のファッションECとオムニチャネル 1年ファッションビジネス概論の復習と自分の消費行動まとめ	復習: 授業について振り返る	30分
3回 五月女	生成AIの知識 Maison AIの基礎を学ぶ ログインから各サービスの理解をする	復習: スマホでも使えるようにする	60分
4回 五月女	産学連携 アパレルECの市場と産学連携の目的説明、TKのブランド紹介	復習: 授業について振り返る	60分
5回 五月女	SNS運営の実践 TikTok 「服飾学生の日常」動画制作と投稿	予習: 動画を撮る準備をする 復習: 動画投稿をする	60分
6回 五月女	産学連携 アパレル市場分析、tkのブランド調査	復習: 授業の課題を提出する	60分
7回 五月女	SNS運営の実践 クリエーターズプラットフォーム「note」 杉野生のファッションと日常』の投稿	復習: 授業の課題を提出する	60分
8回 五月女	産学連携 tkのSWOT分析 ワークショップ	復習: 授業の課題を提出する	60分
9回 五月女	SNS運営の実践 TikTok 「服飾学生の日常」動画制作と投稿	予習: 動画を撮る準備をする 復習: 動画投稿をする	60分
10回 五月女	SNS運営の実践 クリエーターズプラットフォーム「note」 杉野生のファッションと日常』の投稿	復習: 課題を投稿する	60分
11回 五月女	産学連携 tkのオムニチャネル戦略(店舗とEC) ワークショップ	復習: 授業の課題を提出する	60分
12回 五月女	生成AIの知識 Maison AIのスキルアップ 画像生成、ブランドコンセプト作りなど	復習: 授業の課題を提出する	30分
13回 五月女	SNS運営の実践 TikTok チーム別インサイト分析 発信後の視聴者数とフォロワー数の確認	復習: 考察事案について振り返る	30分
14回 五月女	産学連携 tkブランドへの提案 前期プレゼンテーション	予習: 授業の課題を提出する	60分
15回 五月女	前期 まとめ 後期の産学連携に向けてサンプル計画 (Maison AI画像生成)	復習: 授業の課題を提出する	60分

プレゼミ (イノベーション)

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 2年 通年(後期) 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

流通イノベーションコースの導入ゼミの位置づけです。後期は前期の産学連携プロジェクトの課題から実際にサンプル生産とEC販売を実施します。SNS投稿やEC実務をプロから学び、学生自らが実施するというアクティブラーニングとなります。EC売上結果からデータ分析をすることで、ファッション業界のEC職における基本知識の習得を目指します。平行して生成AI (MaisonAI) を使用して画像生成や企画案作りなどの技術も修得します。

到達目標 (学修成果)

アパレル企業で必要とされているEC職の実務とデジタルマーケティング運用の基礎を固めることができます。生成AIのデジタル手法を修得し、3年ゼミでのEC販売の基礎知識と実践準備ができます。リアルとデジタル双方でのオムニチャネル販売を理解できる成果として、「ファッション販売能力検定」に合格するための知識を習得します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。ファッションビジネス・流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

産学連携プロジェクトでは、途中経過や最終発表について、企業からのフィードバックを行います。課題や制作物についてもポートフォリオに提出後し、教員からのフィードバックも行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

特になし

参考文献

「ファッション販売3・ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」日本ファッション教育振興協会

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 (第3校舎3207教室) ファッションビジネス・流通イノベーション研究室 (第3校舎3300室)

備考

外部講師の予定により、授業内容の順番変更があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 五月女	前期の授業について振り返り tkブランドのサンプル制作に向けて MaisonAI使用	復習：課題提出をする	30分
2回 五月女	tkブランドの提案に向けてイメージ画像制作 MaisonAI使用	復習：課題提出をする	60分
3回 五月女	産学連携 tkブランド・サンプル案の提案 企業へのプレゼンテーション	復習：課題提出をする	60分
4回 五月女	産学連携 tkブランド提案に向けてサンプル案の修正と決定	復習：授業について振り返る	60分
5回 五月女	SNS運営の実践 TikTok 「服飾学生の日常」産学連携に関する動画制作と投稿	予習：動画を撮る準備をする 復習：動画投稿をする	60分
6回 五月女	産学連携 EC業務の基礎「ささげ(撮影・採寸・原稿)業務」見学	復習：授業について振り返る	60分
7回 五月女	SNS運営の実践 クリエーターズプラットフォーム「note」 杉野生のファッションと日常』産学連携の投稿	復習：課題提出をする	60分
8回 五月女	産学連携 サンプル完成とチェック、販売開始に向けて	復習：授業について振り返る	60分
9回 五月女	産学連携 インフルエンサーによるSNS発信を学ぶ	復習：課題提出をする	60分
10回 五月女	産学連携 tkブランド、ECプラットフォームの販売状況の確認	復習：課題提出をする	60分
11回 五月女	SNS運営の実践 TikTok 「服飾学生の日常」産学連携に関する動画制作と投稿	予習：動画を撮る準備をする 復習：動画投稿をする	60分
12回 五月女	産学連携 tkブランド、EC売上のGoogleアナリティクス分析	復習：課題提出をする	60分
13回 五月女	産学連携 売上結果から振り返りのプレゼンテーション作成	復習：課題提出をする	60分
14回 五月女	産学連携 まとめの発表とフィードバック	復習：授業について振り返る	60分
15回 五月女	2年のまとめ 3年のEC販売に向けての準備	復習：授業について振り返る	60分

画像設計演習

白木 ゆみ香

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

画像設計演習での使用ソフトは、Photoshop、4D-BOX (素材設計)、Power Pointの計3つです。それぞれのソフトの基本操作や特徴を学び、実際に作品を制作しながら技法を習得し、表現力の拡大を図ります。

到達目標 (学修成果)

それぞれのソフトを活用し、連動させながら、デザイン考案やプレゼンテーションが出来る技術を身につけることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。専門コースに拘らず選択することが出来、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

- ・ 作品課題の提出は、PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・ 指定された日時までに提出のこと。元データは各自で保存しているため、返却はなし。
- ・ 試験はなし。・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

必要に応じてデジタルテキストや資料配布。
Fashion Ruler (教材) は各自購買部にて購入してください。

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室 (研究棟1F)

備考

進度により、日程および内容の変更あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 白木	オリエンテーション 4D-BOX (素材設計) ・基本操作 ボルカ	予習: シラバスを読む。 復習: ノートの整理。	30分
2回 白木	4D-BOX (素材設計) 基本操作 ストライプ、MIX	復習: ノートの整理。	30分
3回 白木	4D-BOX (素材設計) 基本操作 織り柄	復習: ノートの整理。	30分
4回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	30分
5回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習: ノートの整理。	30分
6回 白木	ブランド立案に向けてのデザイン出し ハンガーイラスト4体以上。	復習: ノートの整理。	30分
7回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習: ノートの整理。	30分
8回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習: ノートの整理。	30分
9回 白木	Photoshop 作成した絵型に、4D-BOXで作成した柄や素材をのせる	復習: ノートの整理。	30分
10回 白木	Photoshop 絵型の色や柄のバリエーションを作成。	復習: ノートの整理。	30分
11回 白木	Photoshop 絵型の色や柄のバリエーションを作成。	復習: ノートの整理。	30分
12回 白木	Photoshop 絵型のレイアウト、画像作成。	復習: ノートの整理。	30分
13回 白木	Photoshop テキストスタイルのレイアウト、画像作成。	予習: 資料準備。	30分
14回 白木	Power Point プレゼン資料作成。	予習: 資料準備。	30分
15回 白木	Power Point 各自の作品をプレゼンテーション。講評。	予習: プレゼン準備。	30分

ドローイング

瀬古 徹

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

1点ずつ丁寧に「絵」=「作品」を制作していく。テーマは色彩による空間表現である。闇雲に筆を走らせるのではなく、描画の技法やシステムをテーマに作品を制作しながら、徐々に「自分の世界」をつくり上げていく。デザイン画やイラストレーションへ向かうだけでなく、発想や構想などのイメージクリエイションのウォーミングアップに展開することを期待する。

到達目標 (学修成果)

1. 「抽象的」なものの見方 (現象的ではない) を身に付けるきっかけをつくる
2. 型にはまらないフリースタイルな発想法を発見する
3. 1.2.を導き出すための制作の「方法論」、具体化するための「技法」を身に付ける
4. 手ごたえを感じるディテールの集積によって自分の表現の「世界」をつくりあげる実践力を身に付ける

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、選択科目である。服飾における感性の精鋭に活かされる科目として位置づけている。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回の提出作品の採点後、次回課題授業途中に、作品の全体的な評価点、問題点を優秀作品の抜粋により解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業の進行に合わせて、必要な場合プリントを配付する

参考文献

展覧会の案内など、必要に応じて授業時に指示

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの曜日、時間は授業内で指示 連絡研究室 大学表現演習研究室 (第3校舎1階)

備考

[A.L.] = アクティブラーニング

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 瀬古	オリエンテーション カリキュラムの流れとその構造、材料、技法の説明など	予習; シラバス内容の確認 復習; 鉱物系顔料ガッシュ, 細密描画用筆の準備 (提案)	30分
2回 瀬古	「自画像-グラフィティ-」 2トーンによる形態の分析 [技法: ガッシュ, 不透明色の塗り重ね] [A.L.]	予習; 自らの頭部のスタイリング 復習; 鉛筆による頭部のドローイング	60分
3回 瀬古	「ガッシュ (黒) による塗り分け作業 [A.L.]	予習; 頭部の立体形態の確認 復習; ファッション雑誌よりの写真の収集 (モチーフ)	60分
4回 瀬古	「色面による写真の分析」 3トーンによる形態の選択, 強調, 省略 [技法: ガッシュ, 不透明色の塗り重ね] [A.L.]	予習; 色彩理論を基にした色彩プランニング 復習; 画像の転写	90分
5回 瀬古	「前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習; 明部、暗部の作成	90分
6回 瀬古	「 [A.L.]	復習; 作品の完成	90分
7回 瀬古	「オートマティズムによるドローイング」 偶然からの出発 [技法: ガッシュ, “地” づくりと細密表現] [A.L.]	予習; 柔らかい鉛筆の準備 復習; “描画” の進行とその検証	30分
8回 瀬古	「偶然からの出発、選択 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習; “描画” の進行	90分
9回 瀬古	「偶然からの出発、選択、構成 [A.L.]	予習; モチーフとしての雑誌写真の準備 復習; 画面際への意識、完成	90分
10回 瀬古	「ファッションフォトコラージュとそこからの制作」 イメージのsampling & remix [技法: mixed media] [A.L.]	復習; ファンデーション後、モチーフの転写	90分
11回 瀬古	「 [A.L.]	復習; “描画” の進行とその検証	60分
12回 瀬古	「 前回作品の講評、フィードバック [A.L.]	復習; “描画” の進行とその検証	60分
13回 瀬古	「 [A.L.]	復習; 「作品の完成」について	60分
14回 瀬古	「オートマティズムによるドローイング」 “偶然” から作品の発想へ [技法: コラージュ, ガッシュ] [A.L.]	予習; 人体パーツ写真コピー準備 復習; 人体骨格を意識したパーツ配置	45分
15回 瀬古	「まとめ “作品” としての成立, “表現” のありかたに関して。 前回作品の講評, フィードバック [A.L.]	予習; ドライブラシ技法の練習 復習; ドローイングの専門への応用を考える	45分

写真表現演習

中野 希大

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

写真は誰でも撮ることができますが、思い通りの表現をするにはカメラのコントロールができなければなりません。またコンピュータによるフォトタッチの技術は、クリエイターの世界観を具体的にイメージ化することを可能にしました。この授業では撮影とフォトタッチの基本技術を、実践的な演習を通して学びます。

到達目標(学修成果)

カメラの仕組みを理解し、目的に合わせてコントロールして撮影できるようになる。
Photoshop、Illustrator の基本的な操作方法とフォトタッチ技術を修得する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目です。服飾表現において、イメージ発信者の基礎知識として生きる科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の質問については、学内システムやメールを活用します。提出課題については、授業内講評によってコメントを返します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特に指定しない。

参考文献

写真の教科書、Photoshop、Illustratorの入門書など、各自のスキルに合わせて持っているといよい。

オフィスアワー・研究室

授業後30分ほど、表現演習研究室(第3校舎1階)または本校舎1階教務課

備考

カメラを各自で用意してください。ミラーレス一眼レフカメラやデジタル一眼レフカメラを推奨します。標準ズームレンズが望ましいです。この授業では誰かに借りても構いませんが、第2回から必ず使用するの準備しておいてください。カメラ購入についての相談は初回授業時に受け付けます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中野	オリエンテーション	復習: レポートの内容を考える。カメラの準備をする。	60分
2回 中野	テーマ1 焦点距離 1	復習: 焦点距離によるイメージの違いの確認、カメラ操作に慣れておく。	60分
3回 中野	テーマ1 焦点距離 2	復習: 焦点距離を理解して応用課題に取り組む。	60分
4回 中野	テーマ2 シャッター速度、絞り、ISO感度 1	復習: 露出決定メカニズムの理解とカメラ操作に慣れておく。	60分
5回 中野	テーマ2 シャッター速度、絞り、ISO感度 2	復習: 露出を意識した応用課題の撮影に取り組む。	60分
6回 中野	テーマ3 露出補正、ホワイトバランス 1	復習: 光を意識した露出や色の理解、カメラ操作に慣れておく。	60分
7回 中野	テーマ3 露出補正、ホワイトバランス 2	復習: 光と色を意識した応用課題の撮影に取り組む。	60分
8回 中野	テーマ4 スチルライフ 演出された写真 1	予習: スチルライフの課題に必要な素材を準備する。	60分
9回 中野	テーマ4 スチルライフ 演出された写真 2	復習: テーマを決めて応用課題の撮影に取り組む。	60分
10回 中野	テーマ5 レタッチ Photoshop演習 1	予習: 課題に使用する写真素材を準備する。	60分
11回 中野	テーマ5 レタッチ Photoshop演習 2	復習: 各自のイメージに合わせた画像制作に取り組む。	60分
12回 中野	テーマ5 レタッチ Photoshop演習 3	予習: 課題の仕上げに取り組む。	60分
13回 中野	テーマ6 スタジオライティング 1	復習: ライティングによるイメージの変化を確認し、光の効果を理解する。	60分
14回 中野	テーマ6 スタジオライティング 2	復習: 撮影した写真の違いを確認し、レイアウトに取り組む。	60分
15回 中野	まとめ・提出	予習: 全ての課題を整理し、提出の準備をしておく。	60分

立体造形演習

大塚 武司

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッションに関わるクリエイティブな現場では立体造形力が役に立ちます。その力を磨くため自然物の観察と自分なりの美しさを考察します。この授業では金属工芸・彫刻の作品を制作、個展やグループ展で発表、また一般企業でもプロダクトデザイナーや店頭ディスプレイ企画/商品企画などの業務を通じ、立体造形制作の実績のある教員がその経験を生かし授業を実施します。

到達目標 (学修成果)

この科目の目的を達成すれば、立体造形への理解とオリジナル性の高い造形能力を身に付けることができます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー (学位授与の方針) については、ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

講評会にて各々の作品についてディスカッション、講師からのコメントをフィードバックします。講評会終了後に作品を提出/採点。翌週の授業で返却します。ただし最終の課題に関しては翌週返却が出来ないため講評会前に採点をします。授業時間以外の質問にはEメールにて受付ます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します。

参考文献

授業内にて適宜紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業前後は3 4 1 3または講師控室。それ以外の時間は教務まで連絡してください。

備考

必要な材料や筆記用具・制作用具・画材などは各自で用意していただきます。ただし課題の水粘土とそれに使用する用具は講師が用意します。授業内容は進度により変更することがあります。

定員：演習授業につき最大で25名程度とし、大幅に超える場合は調整することもあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 大塚	授業内容についてのガイダンスと小演習。	予習：本授業内容の確認	30分
2回 大塚	課題 ケント紙を用いた美しい陰影のレリーフ作品 / プランニング・制作開始。	予習：課題に向けての準備 復習：造形素材の特性の確認	30分
3回 大塚	課題 作品制作。	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
4回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
5回 大塚	課題 主に紙素材を用いた自然物 (野菜や果物) の立体作品演習。プランニング・制作開始。	予習：課題に向けての準備 復習：モチーフの観察	30分
6回 大塚	課題 作品制作 (大まかな造形の完了)	予習：表現技法とモチーフとの関係の再考 復習：作品制作過程 (段取り) の確認	30分
7回 大塚	課題 作品制作 (完成に向けてのブラッシュアップ)	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
8回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
9回 大塚	課題 スチレンボードの積層による立体造形の演習 / 制作。	予習：課題に向けての準備 復習：アイデアバリエーションの確認	30分
10回 大塚	課題 作品制作 (大まかな造形の完了)	予習：作品制作過程 (段取り) の検討 復習：作品制作過程 (段取り) の確認	30分
11回 大塚	課題 作品制作 (完成に向けてのブラッシュアップ)	予習：作品の問題点の考察 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
12回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容の確認	30分
13回 大塚	課題 アルミ針金を用いた造形演習 / 制作開始。(自然物の観察として一輪の花を制作)	予習：モチーフとなる花の選定 復習：アルミ針金を扱う方法	30分
14回 大塚	課題 作品制作 (自然の造形美の表現や法則性の発見)	予習：観察した内容の復習 復習：完成に向けての改善点の考察	30分
15回 大塚	課題 作品完成 / 講評会。プレゼンテーションと学生間でのディスカッション、講師による講評。立体造形のまとめ。	予習：プレゼンテーションの準備 復習：講評内容と全授業内容の確認	30分

和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾学科 2年 前期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことができる。

到達目標（学修成果）

和服（きもの）の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することができる。
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

やさしい和裁 清水とき著 株式会社 日本ヴォーグ社

参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日 火曜日

備考

実習 は実習（前期の授業）を終了していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	オリエンテーション 和服の基礎と特徴 各名称の説明 大裁ちひとえ長着（ゆかた）の製作についての説明	教科書・裁縫道具の準備（購買部など）	30分
2回 平塚	年間授業計画、裁縫道具の説明 運針についての説明 基礎縫いの準備と実習	ゆかた地の準備（購買部で販売） 教科書 基礎縫いP38～45を読む	30分
3回 平塚	ゆかた地の下準備（水通し・地直し・検品）の説明 教科書・裁縫用具の確認 基礎縫い見本標の製作 次回提出	ゆかたの下準備（水通し・地直し・検品） 基礎縫い見本標の製作	60分
4回 平塚	各自の採寸 寸法表に記入しておく（毎回必ず持参する） ゆかた地の確認と見積もりをする	他者のゆかたなら採寸しておくこと 教科書 寸法P52～53を参照	30分
5回 平塚	各自の寸法で身頃・袖・衿などの確認をし見積もる 後身頃と袖の柄合わせをする 袖の裁断	教科書 裁ち方P54～55を読む そでの作り方はは男女別	30分
6回 平塚	袖の丸みの型を作る 袖のしるし付けの説明 左右の内袖に目印を付ける 袖底の二度縫いをする	教科書 袖の縫い方P56・P60～62 袋縫い・丸みを縫う	30分
7回 平塚	丸みの絞り方と縫い代の綴じ方の説明 袖口の三つ折りぐけをする 両袖の完成 次回両袖提出	両袖を完成させる	60分
8回 平塚	身頃の縫い方の説明 寸法表を基に身頃4枚重ねてしるし 後身頃から前身頃にしっかりしるしをつける	教科書 しるしのつけ方後ろ身頃P79 前身頃P58	30分
9回 平塚	身頃のしるし付けの完成と背縫いの二度縫いの説明 内揚げの説明	背縫い(二度縫い)を完成させる	60分
10回 平塚	背縫い・内揚げの完成を目指す 女物は後ろのみ揚げをするが男物は前後身頃に揚げをする	背縫い・内揚げを完成させる	60分
11回 平塚	脇の縫い方の説明と縫い代のくけ方の説明 縫い代は個人で違うのでくけ方も変わる	教科書 脇縫いP84を読む	30分
12回 平塚	脇縫い・縫い代のくけの完成を目指す	肩当て・いしき当て用の晒を準備する 脇・くけ縫いを完成する	60分
13回 平塚	肩当て・いしき当ての作り方と付け方の説明 次回の確認テストの範囲提示 完成度確認	脇の完成を目指す テストの準備をする ゆかた着付けの準備(予備あり)	60分
14回 平塚	確認テスト ゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう	60分
15回 平塚	前期の纏めとテストの解答と反省 肩当てをつける 衿の柄合わせと衿の部分と切り離す	衿のしるし付けP59を見ておく 夏休み中に遅れを取り戻しておこう	60分

和服構成論・実習

平塚 由美子

服飾学科 2年 後期 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

日本の伝統衣装である和服（平面構成）の形状を理解し、手縫いによる大裁ちひとえ長着であるゆかたの製作過程でその技法を知りTP0を身につけることで、伝統文化の継承力を養うことができる。

到達目標（学修成果）

和服（きもの）の裁縫を学び進めていく為の総ての手縫いを学び正確に美しく縫う技法を習得することができる。
和装のマナーを学び多種類の着物を学ぶ中で素晴らしい日本の伝統工芸に触れることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり卒業要件単位となる。服飾造形の基礎力をもとに和服に関する知識と技術の向上に資する科目である

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

前期授業の感想と、確認テストの解答は最終日に行う。いつでも質問出来るようメールを繋いでいる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

やさしい和裁 清水とき著 株式会社 日本ヴォーグ社

参考文献

作成した詳細の製作手順資料を使用

オフィスアワー・研究室

連絡先：教務課（本館1階） 出講日 火曜日

備考

実習 は実習（前期の授業）を終了していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 平塚	前期に引続き浴衣の製作 おくみの完成	教科書P67	30分
2回 平塚	おくみの完成と衿下から裾の三折りぐけと額縁の説明	教科書P68-69	30分
3回 平塚	おくみと衿下から裾の三折りぐけの完成	実習予定まで終わらせる	60分
4回 平塚	共衿と本衿の柄合わせとしるしつけをする 共衿を本衿に付ける	教科書P70-71	30分
5回 平塚	しるしと寸法の釣り合いを見て衿を付ける 三衿芯を作る	教科書 P72	30分
6回 平塚	衿を縫い付けたら三衿芯を付けて衿先を作る	教科書 P75	30分
7回 平塚	衿先が両方出来たら本ぐけで衿の形にとじていく	P70-73までを良く読む	60分
8回 平塚	袖付けをする 男物の作り方はP118-126参照 かんぬき留めをする	教科書 P74 P75	30分
9回 平塚	肩当ての始末と 居敷当を付ける 総仕上げをする 着物の本だたみを学ぶ	P64-65 P185	60分
10回 平塚	(着物学) 和服の種類を見てさわって学ぶ講義 第一回 寿の和服	資料参照 毎回レポートを書いておく	60分
11回 平塚	第二回 おしゃれ着、遊び着としての和服	資料参照	30分
12回 平塚	第三回 成人式 卒業式に着る和服 苦しくない着付けられ方や着こなしの注意を学ぶ	資料参照	60分
13回 平塚	第四回 特別な着物 貴重な衣装を見てみよう 確認テストの範囲 次回レポートと寸法表の提出	資料参照 レポートを完成させておく	60分
14回 平塚	確認テスト 自作のゆかた着付けの講習 各部位の確認しながら着てみよう	ゆかたの着付けの練習をしよう 自作の着心地を体験しよう 着物遊びの準備	60分
15回 平塚	テストの解答 私の着物遊び	着物を使って楽しく自分らしい着物遊びをしよう	60分

衣服管理

三代 かおる

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

衣服は着用による汚れを回復させること(洗濯)と製品本来の性能を維持すること(手入れ、保管)を繰り返した後、廃棄あるいはリサイクルされるという一生を送る。本講義では衣服を管理するために必要な洗浄理論や適切な保管方法を中心に学ぶ。市販されている洗濯関連商品と衣服により、実生活と結び付けてイメージしやすいように配慮する。

到達目標(学修成果)

市販の衣料用洗剤の種類や成分表示、衣類の取り扱い絵表示、洗濯機や乾燥機の機能に関心を持ち、衣服に適した洗濯や保管を行うことで、最初のきれいで美しい状態を保持し、長く大切に衣類を扱える方法を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目であり、服飾造形関係の基礎を学習する科目。卒業要件科目。教職課程履修者は必修科目となる。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

洗剤プリント、レポートを添削返却、解説、また授業内容課題も適宜行い理解度を確認する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

増子富美ほか著 生活科学テキストシリーズ 被服管理学 朝倉書店 2012

参考文献

授業内で適宜紹介する。

オフィスアワー・研究室

前期 水曜日(10:30~10:40)第2校舎小ホール

後期 水曜日(12:10~12:50)第3校舎講師控室

備考

必ず教科書と配布資料を持ってくる。提出物の期日は守ること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 三代	ガイダンス 衣服管理とは 洗濯に関する知識の確認	予習:シラバスを読む。日常で使用している洗剤の確認をする。	30分
2回 三代	衣服の汚れ 衣服の機能との関係	復習:授業資料の確認をし、衣服の機能を理解する。	30分
3回 三代	水と洗剤 硬度成分の影響	復習:教科書を確認をし、硬度成分の影響を理解する。	30分
4回 三代	衣服の洗浄 洗浄に関わる要因	復習:教科書を確認し、洗浄に重要な要素を理解する。	30分
5回 三代	界面活性剤 分類と構造 洗剤プリント提出	予習:家庭で使用している洗剤成分を調べる。	30分
6回 三代	配合剤 種類と作用	復習:教科書を確認し、界面活性剤と配合剤を理解する。	30分
7回 三代	合成洗剤と環境 現在までの変化	復習:教科書を確認し、合成洗剤の変遷を理解する。総復習する。	120分
8回 三代	中間試験	復習:試験問題を振り返る。	30分
9回 三代	洗浄のメカニズム	復習:教科書、配布プリントを参考にして、洗浄作用を理解する。	30分
10回 三代	実験:界面活性剤の作用 レポート提出	予習:界面活性剤の作用を理解しておく。	30分
11回 三代	家庭洗濯	復習:教科書を確認し、洗濯条件を理解する。	30分
12回 三代	商業洗濯	復習:教科書を確認し理解する。	30分
13回 三代	漂白と増白	復習:教科書を確認し、漂白剤の使用法を理解する。	30分
14回 三代	衣服の仕上げと保管	復習:授業内容すべての総復習をして理解を深める。	120分
15回 三代	まとめ 課題(試験やレポート等)フィードバックを行う	復習:試験問題を振り返る。	30分

染色化学

中村 弥生

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

衣服は染色と加工によって、美しさ、快適さが与えられる。染色化学では、アパレル生産において染色加工がどのように行われるか、その方法としくみを学ぶ。また、消費性能としての染色物の堅牢性、染色加工を含むアパレル生産が地球環境や社会に与える影響について考える。さらに工芸染色の技法等についても学ぶ。

到達目標（学修成果）

アパレル生産の流れを知る。染色や加工も含めた衣服づくり、染色堅牢性などの消費科学的な性能、染色加工による環境への影響などを考慮した衣服作りができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目の卒業要件科目。服飾を専門とする学生として必要な染料、染色加工等に関する基礎的な知識の向上に資する科目。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

LMSを使った授業前後のリアクションペーパーの提出により受講生は授業の予習・復習を行い、教員はコメントを返す。学生の疑問が解決できる内容の授業を展開する形でフィードバックを行う。確認テストの返却および解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

使用しない。各回の資料を前週に配信。（授業前に予習すること。）

参考文献

授業内で提示

オフィスアワー・研究室

授業前後は講師控室（第3校舎1階）。それ以外の時間帯は教務課（本校舎1階）を通じて連絡をして下さい。

出講日：水曜日

備考

第1回目の授業で授業内容や受講に際しての注意などを説明します。必ず出席し、内容を十分理解してから受講して下さい。

授業内試験・課題は全てweb提出となります。情報端末デバイス（PC,スマートフォン等）を用意して下さい。

受講者数、授業進捗状況等により授業内容が多少変更になる場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 中村	オリエンテーション：授業についての概説（資料映像視聴）	予習：シラバスを読み授業の概要を把握 復習：授業内容の確認	30分
2回 中村	アパレル生産における染色加工工程 概要・準備工程	予習：アパレル生産の流れを把握 復習：染色加工前準備工程の確認	30分
3回 中村	アパレル生産における染色加工工程 染色工程・浸染と捺染	予習：浸染と捺染とは何かを把握 復習：浸染と捺染の種類、方法を確認	30分
4回 中村	アパレル生産における染色加工工程 仕上げ工程	予習：仕上げ加工とは何かを把握 復習：仕上げ加工の種類と方法の確認	30分
5回 中村	2～5回授業の確認テスト	予習：2～5回授業の資料をまとめる 復習：確認テストを振り返る	30分
6回 中村	工芸染色	予習：工芸染色の種類を把握 復習：工芸染色の技法を確認	30分
7回 中村	工芸染色（資料映像視聴）	予習：地元周辺地域の工芸染色を調査 復習：工芸染色の現状を確認	30分
8回 中村	色素	予習：色が見えるしくみを把握 復習：異なる色に見える理由を確認	30分
9回 中村	染まるしくみ	予習：染まるしくみを把握 復習：なぜ染まるのかを確認	30分
10回 中村	染色条件	予習：染色条件の種類を把握 復習：各染色条件による染まり具合を確認	30分
11回 中村	染色物の堅牢性	予習：堅牢性とは何かを把握 復習：堅牢性評価の方法と応用を確認	30分
12回 中村	8～11回授業の確認テスト	予習：8～11回授業の資料をまとめる 復習：確認テストを振り返る	40分
13回 中村	染色加工による環境への影響	予習：染色加工の環境への影響を把握 復習：染色加工の環境への影響を確認	30分
14回 中村	染色加工による環境への影響（資料映像視聴）	予習：自分のワードローブを調査 復習：環境への影響の現状を確認	40分
15回 中村	グループワーク、まとめ	予習：2～14回授業の資料をまとめる 復習：授業内容整理	40分

繊維ファッション産業構造論

長瀬 泰典

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目では、繊維ファッション産業を川上・川中・川下までの各機能を理解した上で、最終消費者へ販売していく過程をバリューチェーンとして捉えビジネスモデル全体を俯瞰して学習する。また、この講義では担当教員の実務経験や知見を活かした授業運営を軸としており、繊維ファッション産業の成長過程を通して現代において如何に変化したかを説明するとともに、現在の課題を学生自らが問題意識を持ちどの様に対応していくかを考え、将来を見据え業界自体がどの様に変わっていくべきかについても触れていく。なお、本科目ではポータルサイトを使用しICT活用による授業運営を行っている。

到達目標 (学修成果)

繊維ファッション産業の構造を理解した上で、バリューチェーン全体を把握し、各プロセスの重要性を理解することを到達目標とする。また、時代背景と共に構造自体が変化していることにも触れながら、自らが課題を発見し解決策を導き出せる人材を養うことも目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目であり、専門選択科目の単位となる。専門コースに拘らず選択することが可能であり、繊維ファッション業界で活躍するための専門力向上に資する科目とする。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回授業終了後に振り返りを学内システム (ポータルサイト) にて提出の上、フィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて授業内でレジュメを配布

参考文献

必要に応じて、その都度授業内で提示します

オフィスアワー・研究室

授業時間の前後 30 分間、講義控え室に待機

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 長瀬	イントロダクション：繊維ファッション産業の全体的な流れとバリューチェーンとは何か	予習 パリューチェーンとは何かを調査	30分
2回 長瀬	繊維産業の実例 (川上1)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
3回 長瀬	繊維産業の実例 (川上2)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
4回 長瀬	繊維産業の実例 (川中1)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
5回 長瀬	繊維産業の実例 (川中2)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
6回 長瀬	繊維産業の実例 (川下3)	復習 授業を通して理解したプロセスを整理する	30分
7回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化 (SPAの事例から)	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
8回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化 (ECの事例から)	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
9回 長瀬	データから見る繊維ファッション産業を構成する業界構造	復習 データを参照し業界構造を理解した上で具体的企業を調査する	30分
10回 長瀬	現代社会におけるファッション産業の変化	復習 業界の変化を元に具体的な企業の事例を調査する	30分
11回 長瀬	ファッション産業の今後の展望_1 (現代社会におけるDXの変化から)	復習 業界目線で未来を考えた上で、自分自身で方向性を予測する	45分
12回 長瀬	ファッション産業の今後の展望_2 (現代社会におけるDXの変化から)	復習 業界目線で未来を考えた上で、自分自身で方向性を予測する	45分
13回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_1 (日本繊維ファッション企業の現在地)	復習 現在の日本企業の取り組みから課題を導き出し調査する	45分
14回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_2 (サステナビリティの考え方)	復習 持続可能性とは何かを理解した上で、業界内の課題を把握する	45分
15回 長瀬	ファッション産業の今後の課題と対策_3 (将来へ向けたファッション業界の方向性)	復習 課題を把握した上で、アパレル企業としてどのように対応していくかを考える	60分

映像制作

千代崎 寛

服飾学科 2年 通年(前期) 選択 (1単位 実験実習)

授業の方針・概要

服飾学科と服飾文化学科の2年次以上の学生に開講された3日間(1日=10限)の集中授業です。日野校舎の映像機材とスタジオ環境を最大限に活用したグループワークによる映像作品を制作していきます。制作テーマはフリースタイルですが、事前に CampusMagic を利用したヒアリング・ディスカッションなどで構想を温めていきます。学科やコースなど専門領域を横断した協働制作を通して表現手段としての映像を体験・考察していきます。

到達目標(学修成果)

1. 社会において映像メディアによる表現能力を身に付けることは、どのような領域・分野にも活かせる総合的な能力です
2. 「何を」「どのように」「どうやって」伝えていくのかという命題をたて実証と経過を経験することで有効な情報伝達手段である映像について「知る」ことができます
3. グループワークによる相互の役割とコミュニケーションを通じ映像表現を理解することが可能となります

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

専門選択科目で卒業要件科目の単位となります。ディプロマポリシー(学位授与の方針)については「映像制作」はファッション業界を軸にあらゆる分野で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

ディスカッションとノート、プレゼンテーション時の講評などでフィードバックを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	45%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

授業の進行にあわせて、プリントなどで適宜配布します。

オフィスアワー・研究室

集中授業期間：月～金曜日(17:30～18:30)空間構成研究室(日野校舎GENERAL BLOCK 2F)

備考

集中授業期間(3日間)は日野校舎での実習・制作になります。事前に登下校のための交通手段や時間などをリサーチしておいてください。制作は共同作業になるため他の学生と協力して進めていく自覚と目的意識が必要になります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 千代崎	オリエンテーション・映像資料鑑賞 ワークシート ノートについて	予習：映像作品のリサーチ 復習：機材・環境・備品等の使用方法について	60分
2回 千代崎	撮影・編集演習「カメラワーク」「ビデオ編集」	復習：著作権表示・クレジットの表記について	60分
3回 千代崎	グループディスカッション・役割分担・スケジューリング	復習：プライバシー・人権について	60分
4回 千代崎	撮影演習「カメラワーク」ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
5回 千代崎	編集演習「ビデオ編集」サウンド・音声・録音	復習：データ整理・管理	55分
6回 千代崎	試写(経過プレゼン)プランニング・ノート制作の経過確認	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
7回 千代崎	撮影実習 編集実習 ワークシート	復習：作業内容の確認	60分
8回 千代崎	プレゼン(進捗状況)撮影実習 編集実習	復習：スケジュールの再確認	60分
9回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
10回 千代崎	撮影実習 編集実習 ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
11回 千代崎	試写(全グループ)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認	30分
12回 千代崎	試写(グループ単位)撮影実習 編集実習	復習：試写を終ての検討・確認 ワークシート	60分
13回 千代崎	編集実習 映像作品完成 ワークシート	復習：作業内容の確認	30分
14回 千代崎	作品データ提出 ノート制作・資料作成「象徴的10カット」	復習：データフォーマットについて	30分
15回 千代崎	「上映」プレゼンテーション 講評 まとめ 片付け	復習：ワークシート「制作ノート」提出のための準備	50分

基礎デザイン（平面）

桐山 征士

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 演習）

授業の方針・概要

オリジナルの服のデザインを考察し、エスキースのトレーニングを行い、デザイン画を描く授業。
 デザインに不可欠な「思考の密度を上げる」訓練と「独自の視点とその体現」を目指す。
 色彩演習の授業をベースとした、コンセプトに見合った色彩の選択を学ぶ。(バリエーションの出し方を含む)
 ドローイングをベースとした、それぞれ自由な表現スタイルのデザイン画(レンダリング)を学ぶ。
 ニーズ(needs)な商品をデザインと呼ぶ時代は終わっている。ウォンツ(wants)もしくはシーズ(seeds)なデザインを学ぶ。

到達目標（学修成果）

デザインプロセスやコンセプトの構想法を身に着ける。教員とディスカッションすることで、言葉とビジュアルのコミュニケーション能力が養える。

思考の密度が上がる。独自の視点とその体現が可能となる。

積極的にディスカッションすることで、今社会で求められている積極性と忍耐力を育む。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目。全ての造形に関わる授業に必要な構想力・ディスカッション・プレゼンテーション、ドローイングの基礎力を身につける。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業外でも随時相談に乗る。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

適宜資料をデータで配布(留学生が簡単に翻訳できるようにするため。また、紙資源の削減のため)

オフィスアワー・研究室

4006工芸室

備考

15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桐山	美術家兼デザイナーの担当教員による、デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義	講義の復習・確認	30分
2回 桐山	既存のブランドテーマの分析	既存のブランドテーマの分析	30分
3回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成	既存のブランドテーマの分析	30分
4回 桐山	各自、ブランドを選んで、テーマの分析・資料作成・提出	既存のブランドテーマを仕上げて提出	30分
5回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
6回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
7回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	ブランドコンセプトの立案 思考の密度を上げるための情報収集分析。ディスカッション。	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	エスキース(量) *制作の素案という意味。 デザインのアイデアを描き出し検討するプランニングのこと。	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
12回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
13回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
14回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
15回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分

基礎デザイン（平面）

桐山 征士

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 演習）

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	エスキース(量) ディスカッション。(コンセプトと形状の確認含む)	エスキースのバリエーションを増やす。 デザイン画用の資料を集める。	30分
17回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
18回 桐山	エスキース(質) 複数のエスキースからひとつ選び、ブラッシュアップ。	エスキースのブラッシュアップ。	30分
19回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
20回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
21回 桐山	下書き。	下書きの密度を上げる。	30分
22回 桐山	下書き完成。	下書きを仕上げる。 デザイン画に必要な道具の準備。	30分
23回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
24回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
25回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
26回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
27回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
28回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
29回 桐山	デザイン画を描く。	表現のトレーニング・実験	30分
30回 桐山	デザイン画を描く。 完成。	デザイン画を完成させ提出。 授業の資料をまとめる。	30分

基礎デザイン（立体）

桐山 征士

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 演習）

授業の方針・概要

金属を用いたアクセサリーをデザインし、制作する。ただし、金属を加工してアクセサリーをつくるのが目的ではない。「思考の密度を上げる」、「独自の視点とその体現」、デザインのプロセスの理解とコンセプトの構築法の学習が目的である。かっこいい(かわいい)カタチを考えるのがデザイン行為ではない。コンセプトとカタチが合致する根拠を導き出すトレーニングを行う。その思考プロセスをプレゼンテーションできるように、随時ディスカッションのトレーニングを行う。技術は重要ではない。技術は後からついてくるものだ。それが造形的な思考である。足りない技術は教員がカバーする。

到達目標（学修成果）

デザインの思考（「思考の密度」を上げる・「独自の視点とその体現」）を育てる。コンセプトから素材・カタチの根拠を導き、造形する能力を身に付ける。

デザイン(コンセプト・カタチ・素材etc)には根拠が必要であるという意識が身に付く。そのための情報収集や分析、プレゼンテーション能力が養える。A1では身につかない、デザインの本質を体験する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

特に無し

*デザイン能力が身に付く。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業外でも随時相談に乗る。3003工芸室を開放する。制作補助も行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーの時間は初回の授業で指示する。研究室：3003工芸室

備考

15回の授業。

初回から10回までの授業はPC教室にて。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
2回 桐山	デザインとアートの違い・デザインプロセスの講義(美術家兼デザイナーの担当教員) ジュエリーの講義	講義の復習	30分
3回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
4回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
5回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
6回 桐山	情報収集 幅広い情報を集めイメージの幅を広げる。既成概念の払拭。	情報収集	30分
7回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
8回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
9回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
10回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
11回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
12回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
13回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	練習問題の見直し。(復習) 教科書の関連頁熟読。(復習)	30分
14回 桐山	コンセプトの設定・カタチの考察(エスキース) 担当教員と個別ディスカッション	ディスカッションの準備	30分
15回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分

基礎デザイン（立体）

桐山 征士

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 演習）

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 桐山	エスキース仕上げ	エスキース	30分
17回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
18回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
19回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
20回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
21回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
22回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
23回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
24回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
25回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
26回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
27回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
28回 桐山	制作 金属加工	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
29回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネート」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	空き時間を利用して3003工芸室で制作 コンセプトの確認	30分
30回 桐山	課題10「ファッションイメージとカラーコーディネート」 テイストに合わせた配色を習得する。(2級対策)	写真撮影。提出。 資料をまとめる。	30分

ファッション販売論上級

五十嵐 朝美、田中 康寛

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションビジネスにおける高度な販売技術の論理的な理解と現代的な接客アプローチや接客ホスピタリティ等のプロフェッショナルスキルの学習を実施。グループワークやチームプレゼン等によるアクティブラーニングを通じた相互学習、その他演習形式の現代的接客アプローチ技術の体験型学習を行うハイブリッドで実践型の授業です。尚、本科目は実務経験のある担当教員の長年の知見(販売オペレーション、販売接客、CRM、販売教育、店舗運営等)を活かした授業運営となります。またファッション販売能力検定2級の取得を目指す学習構成にもなっています。

到達目標(学修成果)

ファッション販売能力検定2級のテキストを活用しながら、現代のファッションビジネスに対応できる高度なプロフェッショナルスキルを身に付け、ファッションアドバイザーとなる高度な接客販売技術やコミュニケーション能力や対人対応力や店舗運営技術を習得する事を目指す実践型授業です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目となります。ディプロマシー(学位授与の方針)については専門コースに関わらず選択する事が出来、ファッション業界で活躍出来る専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

レポートのフィードバックは学校内システムを活用し、個別に送信。成果の確認や課題設定を行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

ファッション販売能力検定試験2級公式テキスト 改訂版(一般財団法人 日本ファッション教育振興協会)

参考文献

適宜示していきます

オフィスアワー・研究室

出講日：第三校舎 4階(3402教室) 授業時間前後30分

備考

- 教科書及び配布資料は必ず毎回持参のこと
- 本科目では消費者目線を通じたファッション販売の在り方やその実践的な解釈を学びます。
- 授業では講義形式による現代的な販売論全般の理解を深めます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	オリエンテーション、ファッション販売知識 顧客作り、ファッション販売技術	予習：シラバスの確認・教科書の確認 復習：配布資料の振り返り	40分
2回 田中	商品関連知識学習、売場づくり 素材、配色(色相とトーン)、副資材、サイズ	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	30分
3回 田中	マーケティング関連知識学習 マーチャндаイとマーケティング、オムニチャネル	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	30分
4回 田中	店舗関連知識学習 運営管理の基礎、計数管理、コンプライアンス、VMD戦略、	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	30分
5回 田中	総合演習・全体の振り返り アクティブラーニング・ディベート	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
6回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識実践 笑顔、立ち居振る舞い、言葉遣い...接客演習	予習：教科書の該当箇所確認 復習：配布資料の振り返り	40分
7回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 言葉の引き出し、言葉遣い...接客演習	授業を受けてのレポート作成	30分
8回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習・アプローチ 商品のカラー・素材別アプローチ...接客演習	授業を受けてのレポート作成 挨拶トーク作成	30分
9回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習・アプローチ ~ の振り返り、ニーズ把握、お客様との会話...演習	授業を受けてのレポート作成 ニーズを把握するための質問作成	30分
10回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 ひきつけるプレゼンテーション、アクティブラーニング	授業を受けてのレポート作成 アプローチトーク作成	30分
11回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 商品提案・再提案の仕方、商品知識を高める...演習	授業を受けてのレポート作成	30分
12回 五十嵐	販売員の基礎 販売関連知識学習 デメリット質問への対応 、根拠のある商品提案の仕方...演習	授業を受けてのレポート作成 メリット・デメリットの作成	30分
13回 五十嵐	ココロのイロ、販売関連知識学習 4つの行動スタイルを知る、アクティブラーニング	授業を受けて感じたこと、学んだことに対して のレポート作成	30分
14回 五十嵐	販売関連知識学習 現場事例・クレーム対応・接客	授業を受けて感じたこと、学んだことに対して のレポート作成	30分
15回 田/五	総合演習・全体の振り返り アクティブラーニング	授業を受けてのレポート作成 (気づき・チャレンジ目標設定)	40分

色彩実践学

武田 里美

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、ファッションコンテンツにおいて重要な「色」を多角的に学びます。色彩学として色を捉える、トレンドとの接点を理解する、この2点を中心に、講義・演習により実践で活用できる知識や技能を学習します。日本流行色協会で実務経験を積んだ講師より、色彩の基礎から応用まで網羅し、色彩を活用する手法をお伝えします。必要に応じて検定のポイント学習も行います。

到達目標(学修成果)

色彩の基本的な知識、色の持つファッション上の役割や機能を理解・習得する事が出来るようになります。配色技法の学習では演習手法も取り入れ、自分で考えながら配色を行うことで、実践に活かせる知識や技能が身につきます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は選択科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業後のミニテスト および ワーク課題の提出、授業内の発表にて評価します。ミニテストの出題・解答はCampus Magicを使用し、解説は次の授業の冒頭に行います。授業の持ち物や連絡も、Campus Magicを使用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

色彩実践学オリジナルテキスト(¥1,500程度、初回授業で販売します)
JIS対応ベーシックカラー140 B5

参考文献

季刊「流行色」 一般社団法人日本流行色協会

オフィスアワー・研究室

出講日:金曜日 第3校舎講師控室(第3校舎1階)

備考

授業の進行状況等により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 武田	カリキュラムのガイダンス:スケジュール、内容、演習内容 流行色とは、流行色が決まるまで	予習:シラバスの確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
2回 武田	色はなぜ見えるのか、色と光(1):光の種類、色温度、演色性	予習:テキスト「色と光」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
3回 武田	色と光(2):物体色、分光反射率、光の現象と色	予習:テキスト「色と光」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
4回 武田	色と眼:目の構造、視細胞、順応、色の見えの変化	予習:テキスト「色と眼」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
5回 武田	色の伝達:色の精度、色名、カラーオーダーシステム(マンセルシステム、PCCS)、混色系	予習:テキスト「色の伝達」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
6回 武田	混色:加法混色、減法混色、中間混色 色の感情効果(1):錯視、対比、同化	予習:テキスト「混色」「色の感情効果」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
7回 武田	色の感情効果(2):面積効果、色の心理的現象、恒常性 色のイメージ:色記憶/記憶色、色の連想	予習:テキスト「色の感情効果・イメージ」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
8回 武田	配色1(ワーク):色相・トーンに基づいた配色、自然な色の見え、配色演習	予習:テキスト「配色」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
9回 武田	配色2(ワーク):一般的な配色技法、配色演習	予習:テキスト「配色」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
10回 武田	配色3(ワーク):身の回りのカラー分析(ワーク)	予習:分析素材の準備 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
11回 武田	商品カラーの設計、トレンドカラー解説	予習:テキスト「商品カラーの設計」確認 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
12回 武田	カラーパレット制作1(グループワーク):1年先のカラーパレットを考える	予習:パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
13回 武田	カラーパレット制作2(グループワーク):1年先のカラーパレットを考える	予習:パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
14回 武田	カラーパレット制作3(グループワーク):1年先のカラーパレットを考える	予習:パレット制作の準備(調査・素材準備) 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分
15回 武田	カラーパレット制作4(グループワーク):発表、講師講評 全体の振り返り・まとめ	予習:パレット発表の準備 復習:ミニテストへの解答(Campus Magic)	30分

ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾学科 2年 通年(前期) 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

到達目標(学修成果)

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

制作した作品について、提出後学生ポータルサイトにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

「ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

参考文献

必要に応じて適時紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

備考

初回授業時に検定試験日をお知らせします。日程及び内容は変更があります。
検定料が25,000円(教科書代、受験料、認定証書代を含む)がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として13,000円、材料費(ペール制作、コサージュ制作)に1,000円が別途がかかります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	1.オリエンテーション:ブライダル協会の活動と業界の現状を学ぶ 2.結婚式の種類:挙式のスタイルを学ぶ	予習:シラバスを読む コンテンツ1,2を読む	30分
2回 井口	2.結婚式の種類:挙式のスタイルを学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
3回 井口	3.日本の婚礼の歴史:古来~現代の婚礼スタイルに至るまでの歴史を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
4回 井口	3.日本の婚礼の歴史(継続)4.結納・婚約の現状:結納・婚約から結婚式までの流れを学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
5回 井口	5.セレモニー・レセプションの現状とトレンド:多様化するセレモニー・レセプションの現状とトレンドを学ぶ 小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
6回 井口	6.カラーコーディネート:演出として「色」を活用できるように色彩の基礎を学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
7回 井口	7.フラワーコーディネート:空間演出をする会場装花やウェディングブーケ・ブートニアについて学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
8回 井口	8.婚礼衣装の基本コーディネート:ウェディングドレスの必須アイテムとそのコーディネート方法を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
9回 井口	9.フォーマルファッション:ルールブックを用いて、フォーマルウェアのドレスコードを学ぶ 小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
10回 井口	10.和装コーディネート:和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
11回 井口	10.和装コーディネート(継続):和装の各部名称と身に付ける小物の意味や使用している素材について学ぶ。	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む。	30分
12回 井口	婚礼に関する衣装やアクセサリーなどの見学、グループワーク(着装体験)とディスカッション	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
13回 井口	小試験解説11.フォトスタイリング:花嫁を美しく撮影するための基礎知識を学ぶ。小試験	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
14回 井口	12.ブライダルアテンドの方法:カップルの身の回りの世話やスケジュールを管理するアテンダントの役割を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分
15回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:次のコンテンツを読む	30分

ブライダルファッションプランニングゼミ

井口 多恵子

服飾学科 2年 通年(後期) 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

1年次に学んだ服飾造形の基礎、社会人基礎や配色の知識を活かし、全日本ブライダル協会認定のカリキュラムに沿ってブライダルに関する基礎知識を修得します。

到達目標(学修成果)

全日本ブライダル協会のブライダルファッションプランナーの資格取得の試験に合格する。
ブライダル業界についての理解が深まり、将来のキャリア選択の視野が広がる。
資格取得後は、さらなる上位の資格を目指す一歩になる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件の専門選択科目です。ブライダル業界で活躍できる基礎的な知識の修得に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

制作した作品について、提出後manabaにてコメントし、返却する。模擬試験、検定試験について試験実施後に解説を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

ブライダルの基礎知識」全日本ブライダル協会発行
「フォーマルウェア・ルールブック」日本フォーマル協会発行

参考文献

必要に応じて適時紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業時にお知らせします。

備考

授業計画3回、4回、5回は時間割配当表の通常時間外に実施する計画になります。日程及び内容は変更があります。
検定料が25,000円(教科書代、受験料、認定証書代を含む)がかかります。なお、見学及びテーブルマナー実習費として13,000円、材料費(ペール制作、コサージュ制作)に1,000円が別途がかかります。(通年科目により、前期納入)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
2回 井口	フラワーコーディネート実習:コサージュ制作 婚礼衣装アイテム実習:ペール制作	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
3回 井口	和装と洋装衣装見学	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
4回 井口	セレモニー・レセプション会場見学	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
5回 井口	マナー実習	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
6回 井口	13.接客の知識:お客様に満足してもらえる物やサービスが提供できる知識を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
7回 井口	14.基本のマナー(名刺交換・訪問・食事等):人と交際するうえで必要なマナー(礼儀作法)を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
8回 井口	15.専門用語:式場で使う用語、宝飾(ジュエリー)用語を学ぶ	復習:授業範囲を読み返す 予習:関連コンテンツを読む	30分
9回 井口	試験対策1:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:授業範囲を読み返す	30分
10回 井口	試験対策2:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
11回 井口	試験対策3:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
12回 井口	試験対策4:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
13回 井口	試験対策5:過去の検定試験問題を参考にテスト形式で出題し、回答、答え合わせ 提出	復習:学習範囲を読み返す	30分
14回 井口	模擬試験:検定試験を想定して行う	復習:すべての単元に目を通す	30分
15回 井口	まとめ 検定試験の解説	復習:検定試験の問題に目を通す	30分

ビューティー・メイクアップ術A

中島 由起子

服飾学科 2年 前期 選択 (1単位 講義)

授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します

参考文献

授業内に適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

ビューティー・メイクアップ術B

中島 由起子

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (1単位 講義)

授業の方針・概要

大学生として身に付けるべき美容メイク術の基本として、スキンケアからナチュラルメイクを学びます
実践的に行うことで、メイクの基本を身に付けることができます

到達目標(学修成果)

美容メイクの基本を身に付け活用できることで、社会人としての自信と生活を健康で豊かにする技術を身に付けることができます

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の単位となります

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業の中でレポート提出と改善などを解説します

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を配布します

参考文献

授業内に適宜紹介します

オフィスアワー・研究室

講師控え室、それ以外の時間帯は教務にまでご連絡ください

備考

必要な教材等は授業でお知らせいたしますので、適宜ご持参ください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身で、準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
2回 中島	オリエンテーション 使用するメイク道具の説明	ご自身でご準備いただくメイク道具の説明を具体的にしていきます	60分
3回 中島	スキンケア、化粧水、乳液、保湿日焼け止めまでの1連の使い方を実際にやっていきます	ご自身で化粧水、乳液、保湿類日焼け止めまでご準備ください	60分
4回 中島	メイク下地 プルベ、イエベなどの確認。実際に下地を使ってより良い肌に仕上げる	メイク下地ご準備ください。悩んだ時は色の付いていない下地をご準備ください。	60分
5回 中島	ファンデーション、様々なファンデーションの個性をお伝えしていきます。	実際にファンデーションを塗るため、ファンデーションのご準備をお願いいたします。	60分
6回 中島	コンシーラー くすみ、クマ、赤みの対処法をお伝えします	コンシーラーもお持ちの方は授業でも使用していきます。	60分
7回 中島	チーク 中顔面を狭く見せるやり方などお伝えします	ハイライトの入れ方などもこちらでお伝えしていきます。	60分
8回 中島	前半の授業の振り返り、デモンストレーションを交えながら、前半の授業をまとめていきます	メイク道具お持ち下さい。次週からアイメイクの準備をしてください	60分
9回 中島	アイメイク 上まぶた基本的なアイシャドーの塗り方アイラインのひき方マスカラの付け方お伝えしていきます	アイメイクを完成させるために、アイシャドーアイライナーマスカラなどをご持参ください	60分
10回 中島	アイメイク下まぶた 涙袋など目が大きく見える。ポイントお伝えしていきます。	実際に使ってみたい色味のアイシャドーをお持ちください	60分
11回 中島	アイブロー 基本的な眉毛の書き方、眉カットの仕方などお伝えしていきます	使いやすい、アイブローのメイク道具をお持ちください	60分
12回 中島	口紅、リップを可愛く塗る方法、きちんと見える塗り方などお伝えしていきます	使用しているリップがある方はお持ちください	60分
13回 中島	メイク後半の授業の振り返り、実際に質問などをお受けしながらデモンストレーションなども加えて進めていきます	授業内でメイクしていきますので、ご自身のメイク道具もお持ちください	60分
14回 中島	実際にご自身でメイクをする	予習 実際にご自身で使うメイク道具の準備授業にご持参いただきます	60分
15回 中島	実際にご自身でメイクをしてレポートを提出	メイク道具を忘れずに全てお持ちください	60分

インターンシップ

笹部 小百合

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ(就労体験)を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標(学修成果)

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室(第3校舎2階 3211)

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み(評価は前期少し遅れて反映)または2・3年生春休み(評価は後期少し遅れて反映)で10日以上~12日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方(グループワーク)	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り(グループワーク) 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション(学修成果と得られた技術を含む)および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

長期インターンシップ

笹部 小百合

服飾学科 2年 前期 選択 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

専門コースの選択により明確になった将来目標を踏まえ、これまでの学修成果を実社会で試し、自身の適性や能力を客観的に把握する機会とする。産学連携協定に基づく企業を含む専門分野関連企業においてインターンシップ（就労体験）を実施し、実務を体験・学修することで実務能力の向上を図る。企業で求められる資質や姿勢を理解し、卒業後の進路意識を高めるとともに、今後の学修への主体的な取り組みにつなげる。実務経験を基にした振り返り指導を行い、社会で活躍できる人材としての意識形成を目指す。

到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を通して、社会人としての基礎的なマナーやビジネス姿勢を身に付ける。さらに、自身の適性を理解し、将来の進路選択や就職活動に生かすことのできる判断力と実践的能力を養うことを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は専門選択科目における卒業要件科目である。将来の就職および職業理解を深め、専門分野における実践的能力と社会適応力の修得を目的とする科目として位置付ける。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

研修日誌の提出内容に対する企業研修先からの講評、グループワークや課題、最終報告書および報告会に対する講評を行う。授業内での口頭指導に加え、メールおよび学内ポータルサイト等を活用してフィードバックを実施する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

社会人常識マナー検定テキスト 2・3級 株式会社エディプレス 清水書院

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：インダストリアルパターン研究室（第3校舎2階 3211）

備考

実務時期、期間：2・3年生夏休み（評価は前期少し遅れて反映）または2・3年生春休み（評価は後期少し遅れて反映）で20日以上～24日以内。研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。成績評価：事前授業や事後報告10%、研修日誌や報告書20%、報告会プレゼン20%、企業での就労態度や実務評価50%

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1回	オリエンテーション：カリキュラムとスケジュール、目的、内容説明、研修について、履歴書の書き方（グループワーク）	予習：企業や研修先について研究する 自己紹介を考える	90分
2回 2回	面談：研修先企業や職種についての面談及び自己表現・履歴書作成	予習：履歴書を作成する	60分
3回 3回	事前授業：研修の心得とマナー等について	復習：講義について振り返る	30分
4回 4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
5回 5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
6回 6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
7回 7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
8回 8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
9回 9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
10回 10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
11回 11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
12回 12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
13回 13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く	30分
14回 14回	事後授業：企業研修の振り返り（グループワーク） 報告会に向けてのプレゼンテーション資料準備	復習：報告書作成と報告会に向けての準備	90分
15回 15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会でのプレゼンテーション（学修成果と得られた技術を含む）および講評	復習：報告会での講評を振り返り、今後の学修に役立てる	30分

家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む)

阿部 睦子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

社会生活の基本単位としての家庭を経営する視点から、家族や家庭を巡る諸現象の考察を通して、よりよい生活設計のあり方を探ります。授業形態は講義・演習を基本としますが、授業の展開は学生が主体的に取り組めるようにし、今後、教職の学習指導に活かすことができるとともに、学生自身の生活にいかすことを目指します。

到達目標 (学修成果)

今日的生活スタイルの特徴を理解し、 家族関係・家族心理について、 衣食住の運営について、 家庭経済について、 家庭管理についてなどの視点から家庭経営について系統的に考え理解できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、選択科目として卒業要件科目となります。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

- ・基本的に授業の前後どちらかに振り返りの時間を設けます。
- ・ナラティブなど記述することで、学修者の自己研鑽の機会を設定します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

- ・生きる力をつける学習-未来をひらく家庭科- 望月 一枝 著者代表 教育実務センター

参考文献

- ・現代家族を読み解く12章 日本家政学会編 丸善出版
- ・持続可能な社会と人の暮らし 持続可能な生活研究会 建帛社
- ・オフィスアワー・研究室
- ・授業終了後30分程度・第3校舎講師控え室(第3校舎1階)、その他何かあれば教務室経由で対応します。

備考

評価においては、授業姿勢(欠席・遅刻も含む)及び日常課題を重要視します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 阿部	オリエンテーション: 授業計画、生活構造の概要を知り、家庭生活の本質について考える。	予習: シラバスをよく読む。 復習: 配布資料を見直す。	30分
2回 阿部	家族の形成と変遷: 家族とは何か、家族の形成を中心とした人間生活の成り立ちについて歴史を辿ることで考える。	復習: 配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
3回 阿部	家族や家族関係をめぐる現代の諸現象と問題: 現代の家族や家族関係の問題と改善案を考える。	復習: 配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
4回 阿部	自分らしく生きるための生活設計: 生涯を見通す長期、中期、短期の設計など、ライフプランについて考える。	予習: 将来をイメージしてくる。 復習: 配布資料を見直す。	60分
5回 阿部	生活時間の実態と分類: 生活時間からワークライフバランスについて考える。	復習: 配布資料を見直し、重要項目の理解を深める。	30分
6回 阿部	「食べる」: 家庭経営を具現化するために、食生活の実践を通して考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、食生活について理解を深める。	60分
7回 阿部	「着る」: 家庭経営を具現化するために、衣生活の実践を通して考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、衣生活について理解を深める。	60分
8回 阿部	「住まう」: 家庭経営を具現化するために、住生活の実践を通して考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、住生活に理解を深める。	60分
9回 阿部	「育つ・育てる」: 子どもを育てる視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、子どもの成長に関する理解を深める。	60分
10回 阿部	「高齢社会」: 高齢者の視点から家族心理と家庭内の人間関係を考え、よりよい家庭経営の方向を考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、高齢者についての理解を深める。	60分
11回 阿部	「買う」: ライフステージ別の家計の具体例を通して家計の実態を知り、家庭経済と家庭管理について考える。	予習: 発表者は準備。復習: 社会とつながる家庭経済についての理解を深める。	60分
12回 阿部	「ジェンダー」: 男女共同参画社会をベースに、よりよい家事労働の在り方について考える。	予習: 発表者は準備。復習: 配布資料を見直し、ジェンダーについての理解を深める。	60分
13回 阿部	「持続可能な社会」: ESD・SDGsを通して、循環型社会を創る消費者のライフスキルについて考える。	予習: 発表者は準備。復習: 持続可能な社会の形成についての理解を深める。	60分
14回 阿部	「シチズンシップ」: 家庭経営と協働・共生生活を拓くライフスキルについて考える。	予習: 発表者は準備。復習: シチズンシップ教育の広がりについて理解を深める。	60分
15回 阿部	まとめ: 課題のフィードバックを行い、家庭経営についての理解を深める。	予習: これまでの学習を振り返る。 復習: 今後の生活課題を設定する。	60分

食物学 (実践栄養学)

外川 恵

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本授業では、栄養学の基礎知識を習得し、ライフステージの特徴や健康課題を理解するとともに、健康の保持・増進およびウェルビーイングの実現に向けた食生活を実践する力を養うことを目的とする。栄養素の種類・はたらき、消化・吸収、健康との関連を学び、栄養の役割について総合的に理解する。授業は講義を中心とし、事例検討や演習を取り入れることで、知識の理解に留まらず、その活用を図る。

到達目標 (学修成果)

1. 栄養学の基礎知識、ライフステージの特徴、健康課題を理解し、説明できる。
2. 健康の保持・増進、ウェルビーイングの実現に向けた食生活を理解し、実践できる。
3. 教職課程履修者においては、家庭科の食生活分野に生かすことができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業認定における専門選択単位 (ライフスタイル関係) であり、学位授与の方針として、専門コースに関わらず選択することが可能である。また、教員免許取得のための教職課程必修科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

各講義のはじめに前回のワークシート等の解説を通して内容の振り返りを行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

イラスト「栄養学入門-栄養の世界を探る-」 著者 田村明 ほか 東京教学社

参考文献

「栄養素の通になる」第5版 著者 上西一弘 女子栄養大学出版部

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業にて連絡する。調理研究室：第3校舎 3002

備考

課題やワークシートの作成にChatGPTなどの生成系AIやWikipedia等の文章等を (ほとんど) そのまま用いることは認めない。使用の際は、教員の指示を受けること。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 外川	栄養学への導入：食・健康の現状と課題	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
2回 外川	食物と栄養摂取：食事の基本要素	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
3回 外川	食物と栄養摂取：食物の階層構造，食事バランスガイド	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
4回 外川	食物と栄養摂取：日本人の食事摂取基準	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
5回 外川	食物と栄養摂取：エネルギー・水	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
6回 外川	栄養素の性質とはたらき：炭水化物	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
7回 外川	栄養素の性質とはたらき：たんぱく質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
8回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂質	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
9回 外川	栄養素の性質とはたらき：脂溶性ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
10回 外川	栄養素の性質とはたらき：水溶性ビタミン	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
11回 外川	栄養素の性質とはたらき：多量ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
12回 外川	栄養素の性質とはたらき：微量ミネラル	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
13回 外川	食物と栄養摂取：各ライフステージの食・栄養摂取の特徴と健康課題	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
14回 外川	食事計画と献立作成	事前学習：教科書の該当箇所を確認する 事後学習：授業で得た知識を整理する	45分
15回 外川	授業内試験とまとめ	事前学習：これまでの授業内容を確認する 事後学習：試験内容を振り返る	45分

キャリアプランニング

平松 隆司

服飾学科 2年 前期又は後期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

就職活動は単に会社を探し仕事に就くといったことの作業をすることではなく、自分自身と向き合い、社会情勢をきちんと理解し、将来どのようなキャリアを形成していくかについて考え行動することである。短期的視点ではなく、将来にわたって自分の目指すゴールがどこにあるのか、自分がやりたいことは何なのか、そしてどんな人生にしたいのか、長期的に考えていくことがある。且つ必要なことである。キャリアデザインの基本的な考え方や就職活動の流れを理解し、より良い職業選択ができるように学習する。

到達目標(学修成果)

キャリアプランニングとは何かを知り理解する。

雇用環境の現状を理解し、自己分析を通じて自らのキャリアをデザインする力を身につけることができる。

社会人、卒業生の体験を聞くことを通じて将来像を描ける能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目の単位となります。全学生の共通必修で、社会人基礎力の向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業課題(レポートなど)については授業内にフィードバックする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

授業で必要とする資料は適宜小冊子やプリント等を配付する。

参考文献

適宜

オフィスアワー・研究室

10:00~17:00(水曜日除く)本校舎1階就職部

備考

この科目では、原則として遅刻は認めません。授業中に次のことはしてはいけません。離席、私語、飲食、メールなど授業に関係のないこと。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 平松	イントロダクション; ノート, アンケート, 採点基準, 講義概要, ハンドアウト(印刷物)の配付	予習: シラパスを読む	60分
2回 平松	【業界・企業研究】雇用と労働市場 新卒の雇用と労働市場を理解し社会が求める人材について考える	予習: 社会人に求められることについて考えてくる	30分
3回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(デザイナーの仕事)	予習: 将来、目指している仕事について考える 復習: 産業と職業に関するレポート	30分
4回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(小売業アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
5回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(ECビジネスの制作現場について)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
6回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(スタイリストについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
7回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(小売業アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
8回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(総合アパレルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
9回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(新スタイルのビジネスモデルについて)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
10回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(縫製工場について)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
11回 平松	【業界・企業研究の基本】・新卒人材について考える・(各企業の人事部からの説明)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
12回 平松	【業界・企業研究の基本】・業界・企業を研究するための情報収集・(副資材・付属品について学ぶ)	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
13回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
14回 平松	新卒の雇用と労働市場を理解し、求める人材について考える就職活動の流れについて	復習: 資料、ノートを読み直し、理解を深める 予習: 次回の項目を読む	30分
15回 平松	【まとめ】期末試験	14回返に配付した資料を復習してくる 学んだことを元に就職活動を準備する	30分

心理学 A

手島 陽介

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるよう幅広い領域の理論について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、ディスカッションなど、体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

到達目標 (学修成果)

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Aのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか (編) 『人間関係の心理学』 福村出版
二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室 後期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟 1階 6015)

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の入り口をのぞいてみる (心理学の定義・研究分野・意識と無意識)	予習：心理学という学問についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	30分
2回 手島	「心」って何だろう？ 心理学の広がりや歴史的に紐解く	復習：プリントを振り返り、日常の心理現象について考える	30分
3回 手島	わたしの性格はどうできている？ 性格の心理学 (パーソナリティ理論・遺伝と環境・性格心理テスト体験)	復習：パーソナリティテストの結果を見て、自身の現在の状況について振り返る	30分
4回 手島	人はどうやって成長するのか？ (子ども編) 発達段階理論・乳幼児期～児童期	予習：誕生してから現在までどのような発達経過を辿ってきたのかを考えてくる	30分
5回 手島	「自分らしさ」はいつできるのか？ (思春期・青年期編) 青年期の発達課題・アイデンティティ	復習：エリクソンの発達段階説をもとに現在の自分の課題について考える	30分
6回 手島	やる気のスイッチはどこにある？ モチベーションの心理学 (内発、外発的動機づけ・ストレス社会との関係)	復習：自身の身の回りのストレスについて考えコーピング方法を検討する	30分
7回 手島	うまく伝わらないのはなぜ？ コミュニケーションの心理学	復習：非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
8回 手島	どうして覚えられない？ どうして忘れる？ 記憶の構造・学習理論・記憶の歪み	復習：本日の資料と教科書を振り返り、学習の心理を復習し理解する。	30分
9回 手島	「感情」はどこから生まれるのか？ 感情理論・感情の分類と表出	予習：ここ最近に感じる感情について、出来事との関連を考えてくる	30分
10回 手島	イライラは悪いこと？ 欲求不満とこころの防衛 (ストレス理論・欲求・自我防衛機制)	復習：身の回りのストレスについて考え、コーピングを試してみる	30分
11回 手島	集団の中のわたしたち 集団心理学・社会的促進・リーダーシップ	復習：集団の心理的現象について振り返り日常の中での影響について考える	30分
12回 手島	「色」はなぜ心を動かすのか？ 色彩心理学と服飾分野 (色の心理的影響・視覚・服飾との関係)	復習：インテリアや服など周りの色を観察し、心理的影響について考察する	30分
13回 手島	自分の「強み」ってどう見つける？ 自己理解の心理学 (自己概念・無意識・自己一致と不一致)	復習：授業プリントを振り返り、再度自分の強みについて振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Aの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

心理学 B

手島 陽介

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

基礎心理学を中心に概説した「心理学A」から、本講義「心理学B」では応用心理学を中心に概説する。ディスカッションを通して体験的に学び、心理学的な知見がどのように社会場面に活かされているのかを学習していく。心理学に親しみながら、知識を身につけるとともに、自己理解、他者理解を深めていく。

到達目標 (学修成果)

本講義を通し、論理的な思考力を養い、さまざまな見方や柔軟な行動ができるようになることを目指していく。また、学習したことを、日常生活や社会場面の中で具体的に活用できるようになることが到達目標である。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の選択科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培う。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

15回目に課題についての解説と小テストの返却をし、心理学Bのまとめをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

進行に合わせて毎時間プリントを配布する。

参考文献

蓮見将敏ほか (編) 『人間関係の心理学』 福村出版
 二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社
オフィスアワー・研究室

前期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室 後期：水曜日 (12 : 00-15 : 00) 研究室

【連絡研究室】心理学研究室 (研究棟 1階 6 0 1 5)

備考

毎時間、ファイルに入れたプリントを持参してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 手島	第一印象はなぜ決まる？ (心理学とは何か) 対人認知・印象形成・意識と無意識	予習：身近な心理的な現象について考えてくる	30分
2回 手島	「好き」はどのように生まれるのか？ (心理学とは何か) 対人魅力・恋愛心理学・推し活・人間関係の心理学	復習：プリントを振り返り、対人認知の心理について理解する	30分
3回 手島	人はなぜ影響されるのか？ 社会的影響・説得・交渉・CMや広告	習：他者からの影響を受けた経験について振り返り要因を探る	30分
4回 手島	「買いたくなる」のはなぜ？ 消費者心理・購買の心理学・ビジネス場面の影響理論	復習：実際のCMや広告などでメディアによる心理的影響について考える	30分
5回 手島	私たちは本当に正しく「見えている」のか？ 知覚の心理学・感覚器官のしくみ・錯視	復習：教科書とプリントより、錯視や幾何学図形を見て知覚を振り返る	30分
6回 手島	音楽はなぜ心と行動を変えるのか？ 音楽心理学・脳と音の関係・音楽療法を体験	予習：身の回りの音楽や店舗のBGM、環境音などについて調べてくる	30分
7回 手島	「考える」って何だろう？ (思考の心理学) 思考の心理学・問題解決・思考プロセス	予習：問題を解決した、乗り越えた場面について考えてくる	60分
8回 手島	創造性は才能？それとも努力？ (思考の心理学) 創造性理論・創造的パーソナリティ・創造の段階	復習：創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	30分
9回 手島	犯罪はなぜ起こるのか？ 犯罪心理学・サイコパス・法と心理学・事件を読み解く	復習：配布プリントを振り返り、犯罪心理学の定義やデータについて確認する	30分
10回 手島	「こころが健康」ってどういう状態？ 精神的健康・ウェルビーイング	予習：現在の自分の健康状態について考えてくる	30分
11回 手島	心と身体はつながっている？ 心身相関・認知・感情・行動の相互作用	復習：心のモデルに、様々な状況を当てはめて考える	30分
12回 手島	整える力を身につける (健康心理学) ストレス理論・呼吸法・睡眠とメンタルヘルス	復習：呼吸について、日常で体験をする	30分
13回 手島	幸せはどこから生まれるのか？ 主観的幸福感・文化差・人間関係	復習：世界の幸福感についてのデータを振り返る	30分
14回 手島	これまでの学びを整理する まとめ課題と小テスト	予習：配布資料、教科書を読み、復習する。	90分
15回 手島	心理学で「自分」を見直す時間 心理学Bの振り返りとフィードバック	復習：返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

憲法

東島 日出夫

服飾学科 2年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

この科目では、憲法について学ぶことを主としつつ、法学の入門的位置づけともなるよう工夫しながら授業を進めていきます。授業計画に掲げている様々な項目はもとより、近年話題を集めるトピックなどで、憲法学と関連し得る内容について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深められるようにします。関連する条文および解釈に関する知識を身につけつつ、法的な思考が養えることを目的とします。

到達目標(学修成果)

「憲法」や「法学」というと、堅苦しくて難しいものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした印象を払拭すべく、身近に起きている様々な事件などを素材に、法的にどのように理解したらよいか、わかりやすく説明します。また、自らも考えることで、能力、資質の向上をも目指し、将来社会人として生活していくうえで、役に立つような法的知識が得られることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目です。なお、教員免許状取得を目指す人にとっては、教職課程必修科目となります。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

14回目に試験、15回目に試験の解説をします。また、毎回リアクションペーパーの提出を求めますが、そこに書かれた質問等に回答します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

毎回資料を配布します。

参考文献

- ・ 芦部信喜『憲法(第8版)』(岩波書店、2023年)・初宿正典、大沢秀介他『目で見る憲法(第5版)』(有斐閣、2018年)
- ・ 渋谷秀樹、赤坂正浩『憲法1 人権(第8版)』(有斐閣、2022年)・『憲法2 統治(第8版)』(有斐閣、2022年)

オフィスアワー・研究室

連絡先: 教務課(本校舎) 出講日: 金曜日

備考

10回以上出席することを必須とします(10回以上の出席がないと試験を受けても不合格となります)。成績評価は、試験の結果を主としますが、授業態度・姿勢、リアクションペーパーの記載内容等も加味します。授業内容の理解を深めるため、授業資料をもとに必ず予習、復習をしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 東島	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	シラバスの確認、憲法条文の印刷 (電子政府e-Govサイトで無償入手可)	30分
2回 東島	立憲主義、国民主権、平和主義	授業資料の予習と復習	45分
3回 東島	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	授業資料の予習と復習	45分
4回 東島	基本的人権の限界	授業資料の予習と復習	45分
5回 東島	生命・自由・幸福追求権	授業資料の予習と復習	45分
6回 東島	法の下での平等	授業資料の予習と復習	45分
7回 東島	経済的自由権	授業資料の予習と復習	45分
8回 東島	精神的自由権 ・ 内心の自由・	授業資料の予習と復習	45分
9回 東島	精神的自由権 ・ 表現の自由・	授業資料の予習と復習	45分
10回 東島	人身の自由 ・ 刑事手続き・	授業資料の予習と復習	45分
11回 東島	人身の自由 ・ 裁判を受ける権利・	授業資料の予習と復習	45分
12回 東島	社会権 ・ 生存権、教育権・	授業資料の予習と復習	45分
13回 東島	社会権 ・ 勤労権、労働基本権・	授業資料の復習	45分
14回 東島	試験	授業資料の復習	90分
15回 東島	試験の解説、補論	試験問題の振り返り	45分

英語（総合）A

草場 千紘

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

英語（総合）Aの授業では、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、長文読解の演習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けることができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Aは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、必要に応じて“Campus Magic”を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Off to the World! Adventures in Language and Life ことばと文化の冒険旅行（金星堂）

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 草場	【Unit 1 Hitchhiking Around the World】	【復習】Unit 1の長文・単語の復習	30分
3回 草場	【Unit 2 Olympic Spirit!】	【復習】Unit 2の長文・単語の復習	30分
4回 草場	【Unit 3 The Power of Greetings】	【復習】Unit 3の長文・単語の復習	30分
5回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
6回 草場	【Unit 4 Where's My Hotel?】	【復習】Unit 4の長文・単語の復習	30分
7回 草場	【Unit 5 Our Global Connections】	【復習】Unit 5の長文・単語の復習	30分
8回 草場	【Unit 6 Welcome Home!】	【復習】Unit 6の長文・単語の復習	30分
9回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
10回 草場	【Unit 7 The Secret of Life】	【復習】Unit 7の長文・単語の復習	30分
11回 草場	【Unit 8 Is This Seat Taken?】	【復習】Unit 8の長文・単語の復習	30分
12回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 草場	まとめテスト・前期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

英語（総合）B

草場 千紘

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

前期英語（総合）Aに引き続き、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4つのスキルを伸ばしていくことを目的とし、さまざまなトピックについて英語で学びます。授業内では、長文読解の演習に加え、発音についても知識を深め、英語を使うための力を身につけていきます。また個々の活動に加え、ペアワークやグループワーク、プレゼンテーションを通して自分の興味関心について表現する力を養います。

到達目標（学修成果）

日常生活においてコミュニケーションで用いられる語彙や表現を知り、場面に応じて使い分けができるようになる。必要な情報を英語で正確に聞き取り、その内容が理解ができるようになる。自分の意見を適切に表現することができるようになる。以上の3点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての英語（総合）Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内での解説、また適宜“Campus Magic”を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Off to the World! Adventures in Language and Life ことばと文化の冒険旅行（金星堂）

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

すべての英語レベルの学生が履修可能です。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明	シラバスを読む。	30分
2回 草場	【Unit 1~8】	【復習】Unit 1~8の重要単語の復習	30分
3回 草場	【Unit 9 Exploring World Religions】	【復習】Unit 9の長文・単語の復習	30分
4回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション 準備	30分
5回 草場	【Unit 10 Let's Study Abroad!】	【復習】Unit 10の長文・単語の復習	30分
6回 草場	【Unit 11 What's the Most Difficult Language?】	【復習】Unit 11の長文・単語の復習	30分
7回 草場	【Unit 12 A Crowded Planet!】	【復習】Unit 12の長文・単語の復習	30分
8回 草場	ミニプレゼンテーション	【予習】ミニプレゼンテーション の準備	30分
9回 草場	【Unit 13 Vocabulary Roadblocks】	【復習】Unit 13の長文・単語の復習	30分
10回 服部	【Unit 14 Beware of Landmines!】	【復習】Unit 14の長文・単語の復習	30分
11回 草場	【Unit 15 World Citizenship】	【復習】Unit 15の長文・単語の復習	30分
12回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーションの準備について	【予習・復習】 テスト・プレゼンテーション準備	30分
13回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
14回 草場	まとめテスト・後期末プレゼンテーション	【予習】テスト・プレゼンテーション準備	30分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】まとめ	30分

ワールド・カルチャー A

草場 千紘

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

到達目標 (学修成果)

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係)・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーAは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures (金星堂)

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック(国)が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 草場	Chapter 1 INDIA	【予習】 Chapter 1を読む	30分
3回 草場	Chapter 1 INDIA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 草場	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 2を読む	30分
5回 草場	Chapter 2 PHILIPPINES	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 草場	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 3を読む	30分
7回 草場	Chapter 3 THAILAND	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 草場	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 4を読む	30分
9回 草場	Chapter 4 VIETNAM	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 草場	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 5を読む	30分
11回 草場	Chapter 5 KOREA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 草場	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 6を読む	30分
13回 草場	Chapter 6 FRANCE	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 草場	前期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

ワールド・カルチャー B

草場 千紘

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

前期「ワールド・カルチャーA」に引き続き、各国について一般的な知識を深めるとともに、その国で話されている言語や英語に目を向けることで、英語がいわゆる英語圏のものだけではなく、それぞれの国の言語文化背景が反映されたものであることを理解していきます。テキストはすべて英語になっていますが、グループプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、他の学生とコミュニケーションを取りながら理解を深めることができます。また、本文の読解や動画の視聴などは主にリスニングとリーディングのスキルを高めることが期待できます。

到達目標(学修成果)

諸外国の社会文化事情及びその国で話されている「英語」やその他の言語について理解できるようになる。また英語のポキャブラリー、リスニング、ライティング、リーディングの継続的なスキルアップをする。以上の2点が到達目標です。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目(国際関係)・選択科目です。教養選択科目(一般・体育・国際関係)16単位は卒業要件です。教養科目としてのワールド・カルチャーBは国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

毎回"Campus Magic"上で提出してもらリアクションペーパーは、授業内でフィードバックを行い、出来栄によってクラスで共有します。その他についても、授業内で解説を行い必要に応じて"Campus Magic"を活用します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

Scott Berlin、小林めぐみ 著 World Adventures (金星堂)

参考文献

必要に応じて提示します。

オフィスアワー・研究室

【出講日】木曜日

【連絡先】本校舎1階教務課

備考

「ワールド・カルチャーA」と「ワールド・カルチャーB」は授業の概要・目的はほぼ同じですが、扱うトピック(国)が異なります。初回授業内にて、グループプレゼンテーションのためのグループ分けを予定しています。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション、授業の説明、グループ分け	シラバスを読む	30分
2回 草場	Chapter 7 ITALY	【予習】 Chapter 7を読む	30分
3回 草場	Chapter 7 ITALY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
4回 草場	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 8を読む	30分
5回 草場	Chapter 8 DENMARK	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
6回 草場	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 9を読む	30分
7回 草場	Chapter 9 PORTUGAL	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
8回 草場	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 10を読む	30分
9回 草場	Chapter 10 TURKEY	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
10回 草場	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 11を読む	30分
11回 草場	Chapter 11 EGYPT	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
12回 草場	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 Chapter 12を読む	30分
13回 草場	Chapter 12 SOUTH AFRICA	【予習】 プレゼン用資料作成 国についてリサーチする	30分
14回 草場	後期末まとめテスト	【予習】 テスト準備	90分
15回 草場	まとめ、フィードバック	【復習】 総復習	30分

実用英語 A

Kim Collins 園子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

到達目標 (学修成果)

本授業を履修することにより、食事の注文、道案内、アドバイス、様々なトピックについての会話、プレゼンテーションなど、日常的な場面で英語でのコミュニケーションができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養 (国際関係) 選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

特になし

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【出講日】金曜日 (英語研究室に連絡してください。)

備考

ハンドアウトはA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	イントロダクション	【予習】シラバスを読む	30分
2回 各自	インテリア - 単数/複数、前置詞	【復習】クラスルーム・イングリッシュクイズ	30分
3回 各自	地図 - 道を教える、尋ねる	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	食べ物 - 料理の注文	【復習】フレーズワークシート	30分
6回 各自	レストランの話	【復習】クイズ	30分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
8回 各自	中間発表テスト	【予習】テスト	30分
9回 各自	日常生活 - スケジュール	【復習】ジャーナル準備	30分
10回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
11回 各自	ショッピング - 比べる	【復習】フレーズワークシート	30分
12回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】クイズ	30分
13回 各自	最終テストのプレゼンテーション準備	【復習】スピーキングテスト準備	60分
14回 各自	最終テストのプレゼンテーション	【復習】テスト	30分
15回 各自	最終テストのプレゼンテーションフィードバック	【復習】テストの復習	30分

実用英語 B

Kim Collins 園子

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

日常会話や仕事の場面での英語でのコミュニケーション方法を学びます。

到達目標 (学修成果)

本授業を履修することにより、映画やお祭り、伝統について話したり、さまざまなトピックについて話したり、プレゼンテーションを行ったりするなど、日常的な場面で英語でコミュニケーションをとることができるようになります。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養 (国際関係) 選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としての実用英語Bは、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

小テストや課題は次回の授業で返却・解説します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

【研究室】英語研究室 (研究棟3階)

【出講日】金曜日 (英語研究室に連絡してください。)

備考

ハンドアウト、テスト、プレゼンの準備はA4のファイルに綴じてください。期末に確認します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	コース紹介と夏休みについての会話	【予習】シラバスを読む 【復習】ワークシート	30分
2回 各自	夏休みについてショー・アンド・テル	【復習】夏休みについてのレポート	30分
3回 各自	好み 好き嫌い - 提案	【復習】ジャーナル準備	30分
4回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
5回 各自	Moviesムービーpt1	【復習】ワークシート	30分
6回 各自	Moviesムービーpt 2	【復習】クイズ	60分
7回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】中間テストに向けて復習	30分
8回 各自	中間発表テスト	【復習】中間テスト復習	30分
9回 各自	マインドマップ	【復習】ワークシート	30分
10回 各自	祭りと伝統	【復習】ジャーナル準備	30分
11回 各自	ジャーナル (あらゆるテーマでのライティングやスピーキング)	【復習】ジャーナル	30分
12回 各自	祭りと伝統	【復習】クイズ	30分
13回 各自	プレゼンテーションスキルと準備	【復習】プレゼンテーション準備	60分
14回 各自	最終プレゼンテーション	【予習】プレゼンテーション	30分
15回 各自	フィードバック	まとめ	30分

ファッション英語 A

草場 千紘

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

到達目標 (学修成果)

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 A は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて指示します。

オフィスアワー・研究室

英語研究室 (研究棟3階6034) 第 1 回目の授業で提示します。

備考

テキストは、プリントを用意します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	服飾関連記事の読解 (1) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 草場	服飾関連記事の読解 (2) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 草場	服飾関連記事の読解 (3) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 草場	服飾関連記事の読解 (4) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 草場	服飾関連記事の読解 (5) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 草場	服飾関連記事の読解 (6) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 草場	服飾関連記事の読解 (7) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 草場	服飾関連記事の読解 (8) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 草場	服飾関連記事の読解 (9) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 草場	服飾関連記事の読解 (10) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 草場	服飾関連記事の読解 (11) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 草場	服飾関連記事の読解 (12) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 草場	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 草場	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る	50分

ファッション英語 B

草場 千紘

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッションに関する英語語彙・表現の習得、英文記事の内容を速く正確に理解する力を身につけファッション業界の最新事情に精通することを目指します。ネットニュースなどのファッション関連記事を扱い、語学としての英語と、服飾関連の知識の両方にフォーカスします。毎回の授業では、記事の内容把握に関する問題に取り組んでもらいます。また、ファッションに関連する動画を視聴しリスニングの練習も行います。

到達目標 (学修成果)

英語で書かれた記事の内容を理解し自分の言葉で説明できるようになる。映像と関連させながら聞こえてくる英語の内容を理解できるようになる。以上を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目 (国際関係) ・選択科目です。教養選択科目 (一般・体育・国際関係) 16単位は卒業要件です。教養科目としてのファッション英語 B は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることをめざしています。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

クイズの解答はその場で提出してもらいます。解答は皆で共有し授業内でフィードバックを行います。まとめのテストは採点します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

プリントを配布します。

参考文献

必要に応じて指示します。

オフィスアワー・研究室

英語研究室 (研究棟3階6034) 第 1 回目の授業で提示します。

備考

テキストは、プリントを用意します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 草場	イントロダクション 課題の詳細説明	予習: シラバスを読む。授業内容について確認する。	30分
2回 草場	服飾関連記事の読解 (1) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
3回 草場	服飾関連記事の読解 (2) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
4回 草場	服飾関連記事の読解 (3) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
5回 草場	服飾関連記事の読解 (4) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
6回 草場	服飾関連記事の読解 (5) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
7回 草場	服飾関連記事の読解 (6) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
8回 草場	服飾関連記事の読解 (7) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
9回 草場	服飾関連記事の読解 (8) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
10回 草場	服飾関連記事の読解 (9) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
11回 草場	服飾関連記事の読解 (10) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
12回 草場	服飾関連記事の読解 (11) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
13回 草場	服飾関連記事の読解 (12) 関連動画の視聴と書き取り 記事・動画の内容確認およびディスカッション	予習: クイズの準備 復習: クイズの解答に関する部分の振り返り	50分
14回 草場	まとめ	予習: これまでの授業内容を振り返る	60分
15回 草場	講評	復習: これまでの授業内容を振り返る	50分

フランス語（総合）A

福本 しのぶ

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

フランス語の歴史を追いながら、フランス文化を学び、フランスのエスプリを感じ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	フランス語の歴史 発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	フランスの今	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
6回 6	フランス映画を見る	復習：映画の概要資料を見る	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
8回 8	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	フランスの生活	復習：講義メモ整理	30分
10回 10	フランス語基礎会話	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
11回 11	フランスの文化	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す 予習：フランスらしさ、とは何か。	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

フランス語（総合）B

福本 しのぶ

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランスの歴史、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランス語の楽しさを実感できます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス語未習者も選択可能です。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、生きたフランス語を学びましょう。

到達目標（学修成果）

フランス語への抵抗感をなくし、日常会話、ファッション関連のフランス語を身につけ、基本的な文章の理解・作成ができ、Web辞書、Web翻訳を使いながら、フランス語サイトなど検索できるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。服飾業界で活躍するための資質・能力を養い、広く深い教養と総合的判断力を培うことを目指しています。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業開始時に、前回内容の復習/理解の確認を行い、最後にレポート提出か発表をしてもらう。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書等お持ちの方は持参してください。

参考文献

大学図書館に豊富に備えられているフランス語の書籍やDVD

オフィスアワー・研究室

木曜日（12：20～12：50）第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	発音の決まり / 基本のあいさつ	復習：講義メモ整理	30分
2回 2	発音の決まり	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
4回 4	発音の決まり 基本単語	復習：講義メモ整理	30分
5回 5	フランスの過去	復習：講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	フランスの現在	復習：講義メモ整理	30分
7回 7	フランス映画を見る	復習：講義メモ整理	30分
8回 8	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す 予習：映画の中のフランスらしさ、とは何か。	30分
9回 9	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
10回 10	映画のセリフを考える	復習：見た映画を思い出す	30分
11回 11	フランスの芸術	復習：講義メモ整理	30分
12回 12	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
13回 13	フランス映画を見る	復習：見た映画を思い出す	30分
14回 14	映画についてディスカッション	復習：見た映画を思い出す	30分
15回 15	まとめ	復習：講義メモ整理	30分

ファッションフランス語 A

福本 しのぶ

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

フランス語の初級文法、簡単な会話を学びながら、基本的なファッション用語を身につける。映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。フランス生まれ育ちの授業担当者による経験を活かし、一步フランス人に近づきましょう。

到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

随時コピー配布。
仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。
仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

オフィスアワー・研究室

木曜日 (12:20~12:50) 第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。
希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。
言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1	フランスを知る 日本との違い 基本的なあいさつ	予習 : シラバスを読む	30分
2回 2	アルファベ・筆記体・発音の決まり・つづり字	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	衣服の名称 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	数字 (0~60) 発音練習 ものの大きさ サイズ表現	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
5回 5	数字 (70~100) 発音練習 フランス人が好きなファッション (ビデオ)	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
6回 6	衣服の名称 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	映画	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	映画	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	ディスカッション 言葉と発音	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
10回 10	色、フランス独自の色 名詞 (男・女)	復習 : 資料を読む	30分
11回 11	大学図書館のフランス語資料 ファッション用語探し	復習 : 資料を読む	30分
12回 12	生地素材、柄 発音練習	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
13回 13	映画	復習 : 資料まとめ	30分
14回 14	映画	復習 : 資料まとめ	30分
15回 15	まとめ	復習 : 資料のファイリング	30分

ファッションフランス語 B

福本 しのぶ

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

映像などを見ながら、フランス・ファッション、フランス文化、芸術、社会背景に触れ、フランスのファッションの在り方を見ていきます。映像、資料を見ながら解説をし、次の授業では語彙の説明、発音をし、理解を深めていきます。フランス語の「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけ、最後には発表できるようにします。

到達目標 (学修成果)

フランス旅行する時、フランスでアトリエ現場研修する時などに役立つ表現を覚え使えるようになり、基本的なファッション用語が聞き取れるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養選択科目として卒業要件となります。現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

最後にフランス人デザイナーに関するレポートを提出。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。

仏和辞書、フランス語教科書をお持ちの方は持参してください。仏和辞典を購入希望の場合は要相談。

参考文献

大学図書館に豊富にあるフランス語の書籍・DVDやフランス語サイト。

オフィスアワー・研究室

木曜日 (12 : 20 ~ 12 : 50) 第3校舎講師控室

備考

フランス人との交流を試みるので、授業内容が変更することもある。

希望者には、毎年6・11月に学内で実施予定の実用フランス語検定試験の受験希望者対象に随時補習を行う。

言語は話さないと上達しませんので、積極的に声をだしてください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 1	ファッションフランス語A 簡単な復習 基本的な挨拶 発音の決まり	予習 : シラバスを読む	30分
2回 2	発音の練習 フランス語の単語	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
3回 3	フランスのファッション・デザイナーについて フランスのファッションの多様性	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
4回 4	映画	復習 : 映画を思い出す	30分
5回 5	映画	復習 : 映画を思い出す	30分
6回 6	映画に使われていた言葉 映画についてのディスカッション	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
7回 7	フランスのファッション・デザイナーについて あなたにとってのファッションとは?	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
8回 8	モードとフランス フランス文化庁の関わり合い グループディスカッション	復習 : 講義メモ整理・発音練習	30分
9回 9	最終レポートに関して 大学図書館にてレポートの資料あつめ	復習 : レポート資料整理	30分
10回 10	ファッション・ドキュメンタリー	復習 : 資料を読む	30分
11回 11	ファッション・ドキュメンタリー	復習 : 資料を読む	30分
12回 12	フランスのファッション学校	復習 : 講義メモ整理	30分
13回 13	レポート仕上げ	復習 : 資料のまとめ 予習 : プレゼンテーションまとめ	30分
14回 14	レポート発表	復習 : 資料のまとめ 予習 : プレゼンテーションまとめ	30分
15回 15	レポート発表 まとめ	復習 : 資料のまとめ	30分

中国語（総合）A

盧 繁華

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

一年生の総合 と の内容をレベルアップした中国語文の構築や品詞の働きなどを充実させる。特殊な文法文型を深めながら中国語作文を自由に活用できるように授業を進める。

到達目標（学修成果）

中国語の聞く、話す、書く、読む総合力を高めることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）A】は教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内と授業外で完成した平常小テストを学期末に返して総合まとめとセルフチェックをする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『2冊めの中国語・購読クラス 改訂版』 劉穎 等 著（白水社）

参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏ネットニュースやTVドラマを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	中国語の構文論、単文の復習	復習：所定1年めの既習文型文法の練習問題	35分
2回 盧	1.主述文、2.特殊な動詞述語文、3.「是」の構文、4.比較文	予習：第1課「自我介绍」の読解文	35分
3回 盧	中国語の構文論、複文	復習：第1課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
4回 盧	1.等位複文、2.偏正複文、3.多重複文	予習：第2課「我的家庭」の読解文	35分
5回 盧	等位複文の類型：並列表現文、選択表現文、累加表現文	復習：第2課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
6回 盧	偏正複文の類型：因果表現文、条件表現文、譲歩表現文	予習：第3課「互联网」の読解文	35分
7回 盧	“比”の構文、比較文の表し方	復習：第3課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
8回 盧	特定条件複文	予習：第4課「逛街」の読解文	35分
9回 盧	常用疑問詞の呼応表現	復習：第4課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
10回 盧	常用副詞の応用規則	予習：第5課「温泉旅游」の読解文	35分
11回 盧	補語の種類と重要な働き	復習：第5課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
12回 盧	方向補語	予習：第6課「我的爱好」の読解文	35分
13回 盧	特殊な存現文の伝達機能	復習：第6課のポイントまとめ、ペーパー練習	45分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	所定のまとめペーパー練習	60分
15回 盧	前期内容の総合まとめ	セルフチェック	60分

中国語（総合）B

盧 繁華

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

既習の内容を実践に応用できるようにする。教材文を使うと同時に中国語圏のニュース記事などの新鮮な話題を取り入れた模範文に合わせて勉強し、文章翻訳をも新たに拡張する。

到達目標（学修成果）

大学二年生の中国語レベルに達成し中国語の文章力を身につけることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語（総合）B】は【中国語（総合）A】と併せて教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな言語表現力を磨く必要な科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回の授業内授業外で完成した平常小テストを学期末に返して、総合まとめと期末テストの基本になる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『2冊めの中国語 購読クラス(改訂版)』 劉穎 等 著（白水社）

参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、前期既習の文法文型をチェック	復習：前期第1課～6課までの所定練習問題	50分
2回 盧	特殊文“是...的”応用	予習：第7課「交朋友」の単語やフレーズ	30分
3回 盧	中国語文の補語、1. 様態補語	復習：第7課の読解練習問題	45分
4回 盧	2. 可能補語	予習：第8課「聚餐」の単語やフレーズ	30分
5回 盧	常用疑問詞の不定用法	復習：第8課の読解練習問題	45分
6回 盧	選択複文の特徴	予習：第9課「闹钟」の単語やフレーズ	30分
7回 盧	受身文「被」の構文	復習：第9課の読解練習問題	45分
8回 盧	転折複文の常用	予習：第10課「打工」の単語やフレーズ	30分
9回 盧	動量補語の使い方	復習：第10課の読解練習問題	45分
10回 盧	使役文	予習：第11課「寒假」の単語やフレーズ	30分
11回 盧	連動文の構造	復習：第11課の読解練習問題	45分
12回 盧	「把」の文構成特徴	予習：第12課「留学」の単語やフレーズ	30分
13回 盧	常用副詞“就”、“都”の応用	復習：第12課の読解練習問題	45分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	後期内容の所定まとめ練習	60分
15回 盧	後期内容のセルフチェック	セルフチェック	60分

中国語（会話）A

盧 繁華

服飾学科 2年 前期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

今まで慣れてきたリスニング・シャドーイングの発話練習の拡張をはかり、教材文中の日常臨場感がある言葉内容を会話題材にして授業を進める。

到達目標（学修成果）

中国語の発話能力を高め、有用性のある言葉を身につけてコミュニケーションができることをめざす。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)A】は教養科目中の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の発話表現力を磨く必要な科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回行う授業内授業外の平常小テストを学期末にまとめて返し、期末の会話テストに参考する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『しゃべくり 中国語 ～場面による中国語会話～』 内田慶市 等著（金星堂）

参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	ウォーミングアップ、一年めの既習内容をチェックする	復習:1年め「中文課本」の会話読み練習問題	45分
2回 盧	名前、年齢、職業などの聞き方と答え方	予習:第一課「自我介绍」の単語とフレーズ	30分
3回 盧	初対面の時に使う挨拶言葉	復習:第一課教科書ページの練習と読み練習	40分
4回 盧	移動手段、乗り物名称などの聞き方と答え方	予習:第二課「上学」の単語とフレーズ	30分
5回 盧	距離、所要時間の言い方	復習:第二課教科書ページの練習と読み練習	40分
6回 盧	趣味の聞き方と答え方	予習:第三課「愛好」の単語とフレーズ	30分
7回 盧	三大助動詞：「会」、「能」、	復習:第三課教科書ページの練習と読み練習	40分
8回 盧	排除（～以外）や添加（さらに）の文	予習:第四課「打工」の単語とフレーズ	30分
9回 盧	伝聞、所在、比較などの表現	復習:教科書ページの練習と読み練習	40分
10回 盧	予定を尋ねる、相手を誘う時の表現	予習:第五課「日程安排」の単語とフレーズ	30分
11回 盧	招待する、約束する時の表現	復習:第五課教科書ページの練習と読み練習	40分
12回 盧	介詞の（～把）の文	予習:第六課「点菜」の単語とフレーズ	30分
13回 盧	料理を注文する、お願いする時の表現	復習:第六課教科書ページの練習と読み練習	40分
14回 盧	前期内容の総合まとめ	復習:プリントまとめの会話音声練習	60分
15回 盧	前期内容の総合まとめ	セルフチェック	60分

中国語（会話）B

盧 繁華

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

語彙やフレーズを確実に把握した上で会話の応用範囲を深める。教材文のほかに中国の衣食住文化に触れる実践的な表現語の内容を新たに勉強する。

到達目標（学修成果）

聞き取れる内容を正確に伝えられ、自分の意思でフリートークができることをめざす。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

【中国語(会話)B】は【中国語(会話)A】と併せて教養科目の一般選択科目であるが卒業認定総単位数に含まれている。将来の社会人として持つべき豊かな中国語の表現力を磨く必要な科目である。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業内授業外の課題を学期末にまとめて返す、期末テストの基本になる。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『しゃべくり 中国語 ～場面による中国語会話～』 内田慶市 等 著（金星堂）

参考文献

学校附属図書館にある週刊新聞『中文導報』、中華圏のネットニュースやTVドラマを利用する。

オフィスアワー・研究室

月曜日 14:30～17:00 研究棟6036室

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 盧	前期の内容をチェック	復習:既習の語彙やフレーズの所定問題練習	50分
2回 盧	病院での表現、	予習:第七課「看病」の語彙やフレーズの調べ	40分
3回 盧	すでに起こったことについて聞く	復習:第七課の教科書ページの音声練習	40分
4回 盧	値切る時の表現	予習:第八課「购物」の語彙やフレーズの調べ	40分
5回 盧	相手の意見を求める、サイズや様子がちょうど良い	復習:第八課の教科書ページの音声練習	40分
6回 盧	褒める、謙遜する表現	予習:第九課「旅行」の語彙やフレーズの調べ	40分
7回 盧	物の比較表現、比較の否定形と肯定形	復習:第九課の教科書ページの音声練習	40分
8回 盧	使役文、動作の結果表現	予習:第十課「美发」の語彙やフレーズの調べ	40分
9回 盧	反語文	復習:第十課の教科書ページの音声練習	40分
10回 盧	現在進行形（動作の進行）	予習:第十一課「时装」の語彙やフレーズ調べ	40分
11回 盧	服スタイル及び服の言い方	復習:第十一課の教科書ページの音声練習	40分
12回 盧	現在進行形、条件を追加する	予習:第十二課「住宿」の語彙やフレーズ調べ	40分
13回 盧	ホテルで役立つ表現のまとめ	復習:第十二課の教科書ページの音声練習	40分
14回 盧	後期内容の総合まとめ	復習:後期内容のまとめ会話練習	60分
15回 盧	後期内容の総合まとめ	セルフチェック	60分

教育原理

柄越 祥子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本講義は、教職課程の授業であることから、教師になることを前提として、「教育とは何か」という根本的な問いについて考え、さらに学校で教育が行われていることの意味について議論しようとするものです。授業は、講義が中心になりますが、ある程度の時間をとって、数人のグループに分かれ、授業内容の確認のためのディスカッションをしていただきます。また、毎回の授業の終わりには、質問票の提出が求められます。

到達目標 (学修成果)

自分の言葉で「教育」を定義し、今日の教育目的について理解できるようになることと、学校の発達について知り、学校の現代的な課題を理解できるようになることの二つを到達目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目ではありません。教員免許状取得のための教職課程必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内でのまとめや学内システムを利用して試験のフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

村井実著『新訂 教育からの見直し』東洋館出版社、1996年。

参考文献

ルソー著、今野一雄訳『エミール』(上)岩波文庫ほか、適宜授業で指示します。

オフィスアワー・研究室

土曜日、教務課

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 柄越	オリエンテーション・自身の「教育」のイメージについて考える。	復習: 「教育」のイメージに関する問の答えを考える。	30分
2回 柄越	教育の定義(1) 「教育」のイメージを探る(グループワーク)	復習: 授業内で聞いた他者の意見も参考に、自分自身の「教育」のイメージを見直す。	30分
3回 柄越	教育の定義(2) 広辞苑を手がかりに	復習: プリントを読みなおし、時代による変遷を理解する。	30分
4回 柄越	教育の定義(3) 教育学小辞典を手がかりに	復習: プリントの取り上げた箇所を読んで、教育の定義を確認する。	30分
5回 柄越	教育の定義(4) 教育学大辞典を手がかりに	復習: プリントの取り上げた箇所を読んで、ここまでのイメージや定義を見直す。	30分
6回 柄越	教育の三つのモデル 手細工モデル・農耕モデル・生産モデル	復習: プリントを参考に三つの教育モデルについて確認をする。	30分
7回 柄越	教育の新しいモデルの探求 一元論を越えたモデルを求めて(グループワーク)	復習: グループワークの内容も踏まえて教育のモデルについてまとめる。	30分
8回 柄越	「教える」と教育の違い・教育のパラドックス	復習: 教科書の指摘した箇所を読んで、教育の定義についてまとめる。	70分
9回 柄越	教師を取り巻く環境 教師と子ども・教師と教師・教師と保護者・教師と国家	復習: 教科書の指摘した箇所を読んで教師の環境について確認する。	30分
10回 柄越	学校とは何か(動画視聴)	復習: 授業内容を踏まえてレポートを作成する。	90分
11回 柄越	学校の歴史(1) 学校はどのように発達してきたか	復習: 学校の発達についてまとめる。	30分
12回 柄越	学校の歴史(2) 複線型学校体系と単線型学校体系	復習: 学校の体系についてまとめる。	30分
13回 柄越	学校の歴史(3) 現代社会における教育課題	復習: 歴史的な視点で現代の教育課題についてまとめる。	30分
14回 柄越	学校と法 教育基本法・学校教育法を中心に	復習: 教科書の指摘した箇所を読み、授業の内容も踏まえて関係法規について復習する。	30分
15回 柄越	授業内容のまとめ	予習: 半期の授業内容をまとめる。	90分

教育課程論

白井 勝美

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

1年生の「教育制度論」を引き継ぎ、学校教育の制度・行政・課程について「学習指導要領」に視点を当てて考察して行く。概要は授業計画に記す。尚、介護等オリエンテーション(評価も含む)も本授業内容に含める。

到達目標(学修成果)

「学習指導要領」の歴史の変遷を知る。これまでの「学習指導要領」の総則の主眼内容を知る。高等学校の「家庭」の指導内容を知る。家庭科必修漢字を習得する。介護等体験の事前学習内容を知る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

試験について授業時にポイントを解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『中学校学習指導要領解説 技術・家庭編』 『中学校学習指導要領解説 総則編』 『高等学校学習指導要領解説 家庭編』 『高等学校学習指導要領解説 総則編』

参考文献

授業時に指示する。

オフィスアワー・研究室

前期・後期 水曜日(11時00分~14時00分 教務課)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 白井	オリエン 教育課程(カリキュラム)編成の基本原則 教員採用試験について 家庭科教員必修漢字1	復習:家庭科教員必修漢字1の復習	30分
2回 白井	教育課程編成と「学習指導要領」 介護等体験 家庭 科教員必修漢字2 Active Learning	復習:家庭科教員必修漢字2の復習 介護等体験の必要性について整理する。	30分
3回 白井	「学習指導要領」と教育課程の改訂について 家庭科教員必 修漢字3 Active Learningディスカッション	復習:家庭科教員必修漢字3の復習 テキ ストを読み返す。	30分
4回 白井	「学習指導要領」の歴史の変遷と改訂内容1(性格・位置づ け他)について 家庭科教員必修漢字4	復習:家庭科教員必修漢字4の復習 学習指導 要領の歴史について整理する。	30分
5回 白井	「学習指導要領」の歴史の変遷と改訂内容2(社会的背景他)について 家庭科教員必修漢字5	復習:家庭科教員必修漢字5の復習 予習:中間漢字テストの準備	30分
6回 白井	「学習指導要領」の歴史の変遷と改訂内容3(役割)につい て 中間漢字テスト	復習:学習指導要領の推移をまとめる	30分
7回 白井	平成30年の「学習指導要領」の改訂と教育課程について 家庭科修漢字6	復習:家庭科教員必修漢字6の復習 「生きる 力」について簡潔に説明	30分
8回 白井	中学校学習指導要領1 家庭科教員必修漢字7	復習:家庭科教員必修漢字7の復習 「中学校 学習指導要領 総則編」復習	30分
9回 白井	中学校学習指導要領2 家庭科教員必修漢字8	復習:家庭科教員必修漢字8の復習 「中学校学 習指導要領 総則編」復習	30分
10回 白井	中学校学習指導要領3 家庭科教員必修漢字9 介護等 オリエンテーション	復習:家庭科教員必修漢字9の復習 介護等体験活動の準備内容の整理	30分
11回 白井	高等学校学習指導要領1 家庭科教員必修漢字10	復習:家庭科教員必修漢字10の復習 「高等学 校学習指導要領」の復習	30分
12回 白井	高等学校学習指導要領2(カリキュラム・マネジメント) 家庭科教員必修漢字小テスト	復習:家庭科教員必修漢字10の復習 カリキュ ラムマネジメントの復習	30分
13回 白井	高等学校学習指導要領3(学力とカリキュラム評価の視点に ついて)	復習:授業資料の再確認 「高等学校学習指導要領」の復習	30分
14回 白井	前期内容の整理とまとめ	復習:前期授業資料の再確認	30分
15回 白井	授業の総括(学習指導要領、教育課程、カリキュラムマネジ メント)	復習:授業資料をすべて振り返る。	30分

特別支援教育概論

工藤 康弘

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとするさまざまな障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を学ぶ。

到達目標 (学修成果)

1. インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組み、発達障害、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上、生活上の困難さ、心理的特性が理解できる。
2. 発達障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を知る。
3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上、生活上の困難とその対応を知る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目ではないが、教職履修者必修の教職課程科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内でのレポート、小課題については、その都度、ポイントを解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

改訂版 教員と教員になりたい人のための特別支援教育のテキスト (Gakken)

参考文献

授業時に適宜、指示する。

オフィスアワー・研究室

教務課に問い合わせのこと。

備考

特別な配慮の必要な幼児、児童、及び生徒の配慮や支援の方法を理解するための授業を展開します。積極的な参加を期待します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 工藤	特別支援教育の理念と成り立ち 共生社会とインクルーシブ教育システム	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
2回 工藤	特別支援教育の歴史 障害児教育の歴史 / 特殊教育から特別支援教育への転換	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
3回 工藤	障害のある人の理解 医学モデルと社会モデル / ICF (グループワーク)	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
4回 工藤	障害のある子どもの就学 就学相談 / 合理的配慮	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
5回 工藤	特別新教育の推進 個別の教育支援計画 / 個別の指導計画の作成と運用	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
6回 工藤	特別支援学校の役割 地域における特別支援学校のセンター的役割	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
7回 工藤	特別支援学校の校内支援体制 特別支援教育コーディネーターの役割	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
8回 工藤	特別支援学校の教育課程 自立活動の位置付け / 交流及び共同学習 (グループワーク)	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
9回 工藤	通級指導と特別支援学級 通級における支援 / 特別支援学級の役割	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
10回 工藤	障害のある子どもの支援 1 発達障害の子どもの理解 / 学習障害の子どもの理解	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
11回 工藤	障害のある子どもの支援 2 情緒障害の子どもの理解 / 言語障害の子どもの理解	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
12回 工藤	障害のある子どもの支援 3 視覚障害の子どもの理解 / 聴覚障害の子どもの理解	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
13回 工藤	障害のある子どもの支援 4 知的障害の子どもの理解 / 肢体不自由の子どもの理解	複数：授業内のキーワードについて確認	30分
14回 工藤	医療的ケアの理解 / 特別支援教育のまとめと今後の課題 (グループワーク)	予習：まとめのテストの予習	60分
15回 工藤	前期のまとめのテスト	復習：今までの授業内容を再確認する	60分

道徳の指導法

柄越 祥子

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

特別の教科「道徳」は、それまでの「道徳」と何が違うのでしょうか。そもそも、学校で扱う「道徳」とは何で、それを教科として学校の課程に設置することにどのような意味があるのか、そして実際にどのように授業を行っていけばいいのかとということ、歴史や現在の社会状況を踏まえて検討していきます。また実際の授業を構成展開していくために、模擬授業やグループワークを通して考えていきます。

到達目標(学修成果)

道徳教育の歴史的背景を理解する。 中学校の「道徳」の学習指導案を作成する基礎知識を習得する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、教員免許状取得のための教職課程必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内でのまとめ及び学内システムを利用して試験のフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

中学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」(最新版)文部科学省

参考文献

授業中に適宜紹介します。

オフィスアワー・研究室

金曜日・土曜日(教務課)

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 柄越	ガイダンス及び自身の道徳教育経験の振り返り	復習:授業内での話し合いを参考に自身の経験を振り返る。	30分
2回 柄越	学校体験の中での「道徳」と特別の教科「道徳」	復習:道徳が教科になるとこれまでとどう違うのか確認する。	30分
3回 柄越	道徳の歴史 明治期の道徳教育	復習:プリントを参考に、道徳教育の始まりについて確認をする。	30分
4回 柄越	道徳の歴史 教育勅語の発布と影響	復習:プリントを参考に、教育勅語について確認をする。	30分
5回 柄越	道徳の歴史 教科書の歴史と徳目主義	復習:授業内容をまとめ徳目主義について考える。	60分
6回 柄越	道徳の歴史 戦後の道徳教育	復習:プリントを参考に、戦後の道徳の道徳教育について確認をする。	30分
7回 柄越	現代における道徳教育の課題	復習:徳目主義の問題点について確認をする。	30分
8回 柄越	特別の教科「道徳」の意義と学習指導要領の検討	復習:学習指導要領解説をよく読んで寿魚内容を確認する。	30分
9回 柄越	学校教育活動全体の中での道徳教育と道徳性の発達	復習:学習指導要領解説をよく読んで授業内容を確認する	30分
10回 柄越	道徳科の特性を活かした指導方法	復習:授業内容を参考に模擬授業の準備を進める	90分
11回 柄越	学習指導案の作成と学習評価	復習:学習指導案の書き方を確認し、作成する。	100分
12回 柄越	模擬授業と振り返り 道徳の授業のねらい(アクティブ・ラーニング)	復習:模擬授業の振り返りと担当者へコメントをする。	30分
13回 柄越	模擬授業と振り返り 道徳の授業の構成(アクティブ・ラーニング)	復習:模擬授業の振り返りと担当者へコメントをする。	30分
14回 柄越	模擬授業と振り返り 道徳教材や板書の活用(アクティブ・ラーニング)	復習:模擬授業の振り返りと担当者へコメントをする。	30分
15回 柄越	まとめ 課題(試験やレポート等)のフィードバック	予習:授業内容のまとめ	90分

生徒指導論（進路指導を含む）

佐藤 太

服飾学科 2年 後期 選択（2単位 講義）

授業の方針・概要

本科目は、学校の二大教育機能の1つである「生徒指導」と、生徒の生き方・あり方に関わる「進路指導・キャリア教育」の指導法を学習するものである。その意義や原理を理解した上で、生徒全体への指導方法（ガイダンス）、個別の課題を抱える生徒の指導方法（カウンセリング）の基礎をそれぞれ理解し、その具体的な対応方法を実践的に検討する。

到達目標（学修成果）

組織的に生徒指導を進め、生徒の自己指導能力を育成するために必要な知識・技術を指導実践に活用できるようになる。
 進路指導、キャリア教育についての実践指導、教育活動計画ができるようになる。
 生徒指導、進路指導・キャリア教育の視点に立った各授業等の構成、評価による指導改善の推進、ガイダンスとカウンセリングの充実、組織的体制に関わるに必要な知識を指導実践に活用できるようになる。
卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連
 この科目は教職課程履修者必修科目であり、卒業要件科目ではない。ただし、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となるものである。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題や試験の内容について、ポイントを解説する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

生徒指導・進路指導論（建帛社）

参考文献

文部科学省『生徒指導提要』令和4年

オフィスアワー・研究室

研究室 授業終了後、教務課（本校舎）に申し出てください。

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1回	生徒指導・進路指導とは何か 基礎的概念を理解する	予習：生徒指導の概念を考える 復習：基礎概念の言葉を整理する	120分
2回 2回	生徒指導と教育課程 全体計画と指導体制	予習：教育課程における生徒指導を検討 復習：指導体制についてまとめる	120分
3回 3回	生徒理解の基礎と方法・活用 事例から考える	予習：よい教師の条件を考える 復習：本時の内容を整理する	120分
4回 4回	生徒指導の方法的基礎 教師のあり方と共感的理解、ガイダンスとカウンセリング	予習：教師はどうあるべきか考える 復習：事例を踏まえ本時を整理する。	120分
5回 5回	チーム学校による生徒指導体制と教育相談 組織的対応と連携	予習：チーム学校や健全育成機関を調べる 復習：本時の内容を整理する	120分
6回 6回	生徒指導の課題とその指導 1 日常生活の指導、集団活動の指導、規範意識の醸成	予習：日常生活の指導を振り返る 復習：集団活動のあり方について整理する	120分
7回 7回	生徒指導の課題とその指導 2 理想的生徒指導・管理的生徒指導と法律	予習：校則の内容について振り返る 復習：本時の内容の意見をまとめる	120分
8回 8回	生徒指導の課題とその指導 3 いじめ問題への対応	予習：いじめ事件をネット等で調べる 復習：対応策を自身なりにまとめる	120分
9回 9回	生徒指導の課題とその指導 4 不登校生徒への対応	予習：不登校について調べる 復習：不登校対応策を自身なりにまとめる	120分
10回 10回	生徒指導の課題とその指導 5 インターネットと生徒	予習：自身のネット利用を振り返る 復習：本時の課題について検討する	120分
11回 11回	生徒指導の課題とその指導 6 暴力行為・児童虐待・性に関する課題	予習：個別の今日的な課題を調べる 復習：対応策を自身なりにまとめる	120分
12回 12回	進路指導・キャリア教育の教育的意義とその内容 教育課程における位置付けと全体計画	予習：自身のこれまでの進路選択を振り返る 復習：予習内容と本時の内容を比較	120分
13回 13回	進路指導・キャリア教育を通して自分の将来を考える ガイダンス機能、カウンセリング機能による指導のあり方	予習：自身のキャリア形成を振り返る 復習：ガイダンスの計画を立てる	120分
14回 14回	職場体験とキャリア教育 教育課程にどう位置付けるのか	予習：職場体験を振り返る 復習：過去の経験と本時の内容を比較	120分
15回 15回	まとめ これから求められる教育と生徒指導・キャリア教育の意義	予習：全体の復習 復習：本科目の意義をまとめる	120分

博物館経営論

丸山 憲子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館の経営について学習する。多様化する博物館の経営体制について認識を深め、今日の博物館経営をめぐる諸相を把握し、今、博物館に何が求められているのか、また博物館本来の存在意義について学習する。

到達目標(学修成果)

- ・博物館の適切な機能や経営体制の把握
- ・ミュージアムマネジメントについての基礎的事項の理解
- ・現代博物館を多角的な視点で考察できることを目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館経営論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	ミュージアムマネジメントの意義について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	博物館法について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	独立行政法人立等、設立母体 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
5回 丸山	指定管理者等、設立母体 について学習する。 設立母体についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	博物館評価について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
7回 丸山	博物館の館内組織・館外組織について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	博物館の施設・設備について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
9回 丸山	博物館におけるマーケティングについて学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	ミュージアムショップやレストラン等アメニティという側面から学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	今日の社会状況を踏まえた博物館の課題について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。振り返りをしておくこと。	60分
12回 丸山	まとめ(小テスト)及びプレゼンテーションのための説明。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。プレゼンテーション準備。	30分
13回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	予習: プレゼンテーション準備 復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
14回 丸山	実在する博物館を挙げて経営論の観点よりプレゼンテーション・ディスカッション	復習: 配布資料の読み返し、授業の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分

博物館資料論

丸山 憲子

服飾学科 2年 前期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館において資料は必要不可欠な存在です。どんな博物館でも「資料」を有し、コレクションをなしています。今日の博物館のコレクションは多種多様であり、一口で「博物館」と言ってもその範囲は極めて大きい。本講では現代博物館が扱う資料(コレクション)について、博物館の歴史とともに体系的に学習する。また、資料収集・整理保管・調査研究・教育普及という4つの博物館機能(活動)を通して、いわゆる実物(1次資料)から2次資料が発生していくことを理解し、それぞれの機能(活動)における1次資料・2次資料の特性・役割を学習する。

到達目標(学修成果)

博物館資料の様々な特性を理解し、博物館活動にとって必要なもの・ことを認識できるようにする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員になるための資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得するとともに得られる資格)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき科目の一つ。卒業要件科目ではありません。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

小テスト・試験後の解説

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

授業時に指示します。

参考文献

随時、紹介します。

課題内容に即した資料プリントを配布します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

備考

博物館に関する時事問題を随時取り上げます。

学生の興味・関心に応じて弾力的に対応します。

普段から博物館見学、博物館に関する情報収集等積極的に行いましょう。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 丸山	オリエンテーション(博物館資料論の概要の説明・授業計画)	予習: シラバス(学芸員課程部分)を読んでおくこと。	30分
2回 丸山	博物館の成立背景に見られる資料についての事例を挙げ、博物館=資料の存在を認識する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
3回 丸山	1次資料と2次資料の博物館活動における役割、及び資料の価値について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
4回 丸山	1次製作資料として分類される実物製作資料と情報製作資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
5回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
6回 丸山	1次標本資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
7回 丸山	1次資料についてのまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
8回 丸山	2次資料 について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
9回 丸山	2次複合製作資料について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
10回 丸山	博物館機能を再確認する。 資料の収集について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
11回 丸山	資料の整理保管について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
12回 丸山	資料の調査研究活動について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。	30分
13回 丸山	教育普及という観点から、資料のもつ意味とその効果について学習する。	復習: 配布資料の読み返し。語句を整理しておくこと。振り返りをしておくこと。	60分
14回 丸山	資料の取り扱い、及び運搬という観点から学習する。 博物館機能のまとめ(小テスト)	復習: 配布資料の読み返し。全体の振り返り	60分
15回 丸山	総まとめ	復習: 全体の振り返り	60分

博物館資料保存論

梶淵 彰太郎

服飾学科 2年 後期 選択 (2単位 講義)

授業の方針・概要

博物館資料論を基礎として、博物館資料の保存の意義、目的、資料保存の前提としての劣化原因とその対策、資料の材質に応じた劣化対策、保存技術等について、論理的に授業を進めます。

到達目標(学修成果)

学芸員が日常的に取り扱う博物館資料について、収集、保管、調査研究、展示他の活用といった博物館機能の各局面において、資料保存の理論と実践法を習得し、時代に適応できる博物館学芸員としての資質を得られるようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、学芸員資格取得のための必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業時間中に小試験を実施し、出題の意図及び模範回答等について解説し、理解・習得の促進をサポートします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

本田光子・森田 聡 『博物館資料保存論』、青木 豊 編 『人文系博物館資料保存論』

オフィスアワー・研究室

土曜日(講義時間 14:40~16:10)

備考

授業への取組みは、出欠状況を中心に受講態度、取組状況等評価します。授業内試験を実施し、講義内容の理解度を測定し、成績判定に活用します。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 梶淵	博物館資料保存の意義、目的	予習 シラバスを事前に目を通す。	30分
2回 梶淵	博物館資料の種類と特性	復習 博物館資料の種類と種類ごとの特性について確認する。	30分
3回 梶淵	文化財保護と博物館資料1	復習 文化財と博物館資料の関係について確認する。	30分
4回 梶淵	文化財保護と博物館資料2	復習 博物館資料と文化財保護の関係について確認する。	30分
5回 梶淵	博物館史にみる資料保存の方法	復習 博物館史上の伝統的保管方法について確認する。	30分
6回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策1 瞬間的・破壊的な劣化(人災・天災)	復習 人災や天災による瞬間的・破壊的な劣化と対策について確認する。	30分
7回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策2 緩慢、確実に進行する劣化(温湿度、大気等)	復習 温湿度の変化、大気中の粉塵等の影響・対策について確認する。	30分
8回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策3 緩慢、確実に進行する劣化(汚染物質、薬品類、光等)	復習 大気中の汚染物質及び薬品類、光等の影響・対策について確認する。	30分
9回 梶淵	博物館資料の材質による劣化と対策4 緩慢、確実に進行する劣化(虫害、黴菌類等)	復習 虫害及び黴菌類等の影響・対策について確認する。	30分
10回 梶淵	博物館資料の修理と修復	復習 博物館資料の修理・修復の必要性とその方法について確認する。	30分
11回 梶淵	博物館資料の保存環境(収蔵施設・展示施設等)	復習 博物館資料の保管・展示に適した施設の条件について確認する。	30分
12回 梶淵	博物館資料保存のための科学技術1	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
13回 梶淵	博物館資料保存のための科学技術2	復習 博物館資料の保存科学技術について確認する。	30分
14回 梶淵	博物館資料の取扱い1(資料取扱い上の留意点等)	復習 博物館活動の様々な局面における資料取扱い上の留意点を再確認する。	45分
15回 梶淵	博物館資料の取扱い2(展示ほかの活用等)	復習 展示他の活用の局面での資料保存を前提とする取扱い法を確認する。	45分